

第六十九回帝國議會
衆議院

不穩文書等取締法案委員會會議錄(速記)第六回

會議

昭和十一年五月二十一日(木曜日)午前十一時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 熊谷 直太君

理事 小山倉之助君 理事 川崎末五郎君

理事 齋藤 直橋君 理事 犬養 健君

岡本實太郎君 服部 英明君

勝田 永吉君 一宮房治郎君

堀内 良平君 中村 又一君

淺沼稻次郎君 松田 正一君

松村 光三君 木村 正義君

本多貞次郎君 砂田 重政君

加藤鐵五郎君 宮澤 裕君

田尻 生五君 渡邊 泰邦君

福田 耕君 山口 久吉君

塚本 重藏君 田万 清臣君

藏原 敏捷君 飯塚春太郎君

鶴澤 宇八君

五月二十日委員飯塚春太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ一宮房治郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日委員堀内良平君及一宮房治郎君辭任ニ

付其ノ補闕トシテ鶴澤宇八君及飯塚春太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

陸軍大臣 伯爵 寺内 壽一君

司法大臣 林 頼三郎君

鐵道大臣 前田 米藏君

內務大臣 潮 惠之輔君

商工大臣 小川郷太郎君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 次田大三郎君

內務參與官 肝付 兼英君

內務省警保局長 萱場 軍藏君

社會局長官 廣瀬 久忠君

社會局部長 赤松 小寅君

社會局部長 山崎 巖君

陸軍次官 梅津美治郎君

陸軍省法務局長 大山 文雄君

海軍參與官 永田善三郎君

海軍中將 豐田 副武君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

退職積立金及退職手當法案(政府提出)

不穩文書等取締法案(政府提出)

○熊谷委員長 ソレデハ是カラ開會致シマ

ス、中村又一君ニ發言ヲ許シマス

○中村委員 極ク簡單ニ御尋ヲ致シマス、

總則ノ第一條ニ於キマスル「三十人以上ノ

勞働者ヲ使用スルモノニ之ヲ適用ス」ト云

フ第一ノ「工場法ノ適用ヲ受クル工場」ニ

鑛業法ノ適用ヲ受クル事業」ト云フニツガ

原則トシテ明記セラレテ居ルノデアリマス

ルガ、私ノ考ヘル所ニ依リマスと云フト、

此地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受ケル事

業ト云フヤウナモノハ、何故此原則法ニ明

記サレテ居ナイノデアラウカト云フ一ツノ

疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ今一

ツハ此自治團體ニ屬シマス所ノ勞働者使用

ノ場合ニ於ケル關係ニ於テ、何故ニ之ヲ除

外シテアルカ、所謂官業ト同ジク自治團體

ノ公法人ノ場合モ除外シテ居ルト云フ説明

ヲ私ハ聽イテ居ルノデアリマスガ、其場合

ヲ何故ニ除外シテアルカ、ソレハ何故私ト

シテ不思議ニ感ズルカト申シマスと云フ

ト、此自治團體ノ場合ニ於キマシテハ、ヤ

ハリ私設ノ場合以上ニ必要ト云フコトヲ感

ズル場合ガ實際ニモ能クアルノデアリマ

ス、ソレデ此自治團體ト云フヤウナ場合ノ

付託議案

不穩文書等取締法案(政府提出)
總動員秘密保護法案(政府提出)
退職積立金及退職手當法案(政府提出)

公法人ニ對シマシテモ、御當局トシマシテ

ハ此第一條ノ適用ヲ御研究ニナッタコトガ

アルカ、又之ニ對シマシテドウ云フ風ナ方

針ヲ御持チニナッテ居ルカト云フコトヲ第

一點ニ聞イテ見タイト思フ

○廣瀬政府委員 第一條ニ付テ、三十人以

上ヲ使用スル工場法ノ適用ヲ受ケテ居ル工

場竝ニ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ダケニ

限ッテ居リマスノハ、手當ノ制度ハ工場鑛

山ニ發達致シマシタノデ、先ヅ工場ト鑛山

ニ付テ適用ヲスルヤウニ致サウ、斯ウ云フ

立前デアリマス、此前モ色々御議論ガアリ

マシテ、地方鐵道トカ、色々他ノ事業ノコ

トモアリマシタケレドモ、是等ノコトハ後

ノ問題トシテ、先ヅ工場鑛山デ契約制度ガ

發達シタノデアルカラ、先ヅ之ヲ先ニ法律

化シテ行カウト云フ譯デアリマス、將來ノ

問題ハ又將來ノ問題トシテ、十分ニ研究ヲ

致シタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ自治團

體ノ事業ニ付テハ本法ヲ直チニハ適用致シ

マセスガ、本法ノ適用ニ付テハ勅令ヲ以テ

別段ノ規定ヲ置クコトガ出來ルト云フコト

ニ致シテ置キマシテ、勅令ノ規定デ以テ困

ラナイヤウニシテ行カウト云フ積リデアリマス、勿論此自治團體ニ付キマシテハ、積立ヲサセルト云フ必要ハ私共ハ認メテ居ラナイノデアリマシテ、手當金ノ支拂ニ付テハ自治團體ハ豫算ヲ以テ支拂ヒ得ルノデアリマスカラ、ヤハリ政府ト同ジヤウニ信用上ノ力強イモノデアリマス、是ハ積立ヲサセルト云フ必要ハ私共考ヘテ居リマセヌガ、併シ勅令ノ規定ヲ以テ別段ノ定メヲ爲ス場合ニ於テハ、此手當ノ支給ニ關シテハヤハリ一定ノ準則ヲ決メマシテ、或ル場合ニハ許可承認等モ與ヘマシテ、而シテ本法トノ鈞合ヲ得ルヤウニ十分ナ考慮ヲ拂ハウ、斯ウ思フテ居ルノデアリマス

○中村委員 只今ノ御説ヲ聽キマスト云フト、此工場法及ビ鑛業法ハ適當ニ訓練ガ出來上ッテ居ルカラ、先ヅ此方面ニノミ適用致スノデアルト云フヤウニ私ハ承リマシタガ、地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受ケテ居ル所ノ此方面ノ關係ハ、ヤハリ同様ニ整頓シ且ツ常態トシマシテモ、適用スベキ關係ニ十分相成ッテ居ルノデアリマス、殊ニ最近ニ於ケル東京附近ノ此軌道法及ビ鐵道法ノ適用ヲ受ケテ居ル所ノ會社ノ勞働狀態ナドヲ見マシテモ、殆ド會社ハ配當モ行ハレヌト云フヤウナ支離滅裂ナ會社ガアリマシ

テ、多數ノ従業員諸君ノ中ニ於テモ、折角此恩典ニ浴シナケレバナラヌノニモ拘ラズ、サウ云フモノヲ除外サレルト云フコトニナルト云フト、甚ダ不公平ナ法律ノ御取扱ニナルノデヤナイカ、之ヲ一ツ私ハ御考ノ程度ヲ再ビ聽イテ見タイト思フ、ソレカラ自治團體ノ方面ニ於テハ、所謂官業方面ト同ジク基礎ガハッキリシテ居ルカラシテ、保障ノ必要ハアルマイト云フヤウナ御説ノヤウデアリマスガ、私ハ一ツ他ノ方面カラ疑フ持ッテ居リマスノハ、今回ノ此法案ニ依リマスト云フト、積立金ニ對シテハ權利ノ讓渡モ差押モ出來ナイト云フヤウナ風デ、民事訴訟法ノ働キサヘモ制限シテ居ルト云フヤウナ立派ナ保障ガアルノデアリマス、然ルニ東京地方ヲ初メ、各自治團體ノ積立金ノ如キニ於キマシテハ、今日執達吏ガヤッテ來テ、ドン／＼之ヲ差押ヘテ宜イト云フ立前ニナッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ立前ニ付キマシテモ御研究ニナッテ居ルカドウカ、一ツ御尋ラシテ見タイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 地方鐵道ニ關シテ重ネテノ御質問デアリマスガ、此點ニ關シテハ將來ノ問題ト致シマシテ、御意見ノ次第ハ十分ニ研究致シタイト思ヒマス、先ヅ本法ハ

全ク新シイ制度デモアリマスルシ、從來カラ因縁ノアル所ノ工場鑛山ト云フモノカラ手ヲ著ケマシテ、之ヲ先ヅ對象トシテ、進ンデ將來ノ問題ハ漸ヲ追ウテ研究致シタイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○中村委員 第一條ハ先ニ申シマスルヤウニ、三十人以上ノ勞働者ヲ使用スルモノニ之ヲ適用スト云フ原則ニナッテ居リマスルガ、此三十人ト云フノハ曩ニ同僚ヨリモ屢、質問ニナッテ居ルノデアリマスルガ、私ガ聽イタ時ニハ、五十人ヲ適當トスルト云フヤウナ意見ヲ三十人ト云フ風ニ決マッタト云フヤウナ説ト、十人ト云フヤウナ案ガ繰上ニナッテ、眞中ヲ探ッテ三十人ニナッタカ、色々私ハ聽イテ居ルノデアリマスガ、取敢ヘズ之ヲ試ニスルト云フヤウナコトニナッタト致シマスルナラバ、寧ロ三十人ト云フヤウナ無標準ナコトヨリモ、現在施行サレテ居リマス所ノ工場法ノ條文ノ中ニモ人數ヲ常時五十人云々ト云フヤウナ文句ヲ使ッテ條文ガ幾ラモアル、サウ云フ立前カラ見マスルト云フト、三十人ト云フコトヨリモ、是ハ寧ロ五十人ト云フ方ガ法律ノ基礎上取敢ヘズ行フ案トシテ宜カッタノデヤナイカ、工場法施行令ノ第二十七條ニ於キ

マシテ「常時五十人以上ノ職工ヲ使用スル工場ノ工業主ハ遲滯ナク就業規則ヲ作成シ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ」ト云フ文句モアルノデアリマス、其第二項ニハ「賃金支拂方法及時期ニ關スル事項」トナッテ居リマシテ、又工場法施行規則ノ第二十四條ハ「常時五十人以上ノ職工ヲ使用スル工場ニ於ケル職工ノ疾病、負傷又ハ死亡ニ付テハ工業主ハ様式第三號ノ定ムル所ニ依リ毎月取纏メ翌月二十日迄ニ地方長官ニ届出ツヘシ」ト云フ規則ニ相成ッテ居ルノデアリマス、是カラ見マシテモ、五十人ヲ常時使用スル所ノ傭主、事業主ト云フモノハ今日迄聊カ規則式ニ出來テ居テ總テノ動キガ制限セラレテ居ッタト云フヤウニモ見エルノデアリマス、併シ五十人以下ノ使用者ヲ使フ所ノ事業主ト云フモノハ、ヤハリ日本ノ今日マデノ家族主義トデモ申シマセウカ、家庭工業主義トデモ申シマセウカ、此醇風美俗ノ中ニ於テ御互ニ豐カナ、所謂人情のナ主從關係のナ氣持ヲ以テヤッテ居ッタカラ、法律デ縛ッテマデモソナコトラスル必要ガナイノデアルト云フ所ニ、常時五十人以上ト云フ、是ハ強イ文句ヲ挾ンダモノト思フ、斯ウ云フ立場カラ見マスルト云フト、是ハ三十人ト漠然ト御決メニナルヨリモ、五十人

ト云フ、今マデ使用サレタ文句ノ上カラ見
テモ、五十人ガ適當デナカラウカト思フ
ガ、三十人ト定メラレル根據ト云フモノヲ
少シハッキリ御伺シテ見タイト思フ

○廣瀬政府委員 工場法ノ上ニ五十人ト云
フモノヲ標準ニシマシテ、サウシテ色々規
定ノアルコトハ只今御話ノ通りデアリマス
ガ、併シ又御承知ノヤウニ、工場法ノ適用、
工場原則ト云フコトガ、十人以上ノ工場ニ
重大ナ義務ガ多ク掛ケラレテ居ルノデアリ
マシテ、工場ノ適用ハヤハリ十人以上ト云
フコトニナッテ居ルヤウナ次第デアリマス、
ソコデ此職工保護ト云フヤウナ見地カラ見
マスルト云フト、本法ノヤウナ保護ヲ與ヘ
ルノハヤハリ工場法ノ適用工場、即チ十人
以上ノ工場全部ニヤッタラドウカト云フ意
見ガ強カッタノデアリマス、其點ニ付テハ御
手許ニ差上ゲテアリマス所ノ、失業對策委
員會ニ於テ決議セラレマシタ退職手當金法
ノ要綱ノ參考書類ノ中ニ入ッテ居リマス、當
初八十人ト云フ案デ相當ニ研究ヲサレマシ
タ、ソレガ段々ニ上リマシテ三十人ニナリ
マシタ、其理由ハ是モ前ニモ申シタコトデ
アリマスガ、其理由ハ職工保護ノ見地カラ
言ヘバ、下ノ方ニ行ッテ、成ベク十人位ノ所
カラスルノガ結構デアルガ、併ナガラヤハ

リ産業ノ成立、産業ノ繁榮ト云フコトモ考
ヘナケレバナラス、サウ云フヤウナ點カラ、
兩々併セテ考ヘテ見マスルト、三十人ノ所
ガ先ヅ妥當デアラウト云フコトニ相成ツタ
譯デアリマス、三十人ト致シマシタコトニ
付テハ、尙ホ其外ニ三十人ト云フコトニナ
リマス、十人或ハ十五人、二十人ト云フヤ
ウナ種類ノ工場ト餘程面目ヲ異ニシテ居ル
場合ガアル、即チ家族従業員ナドノ數ニ於
テモ、統計的ニ見テ三十人ノ工場ニナル
ト、其數ガ餘程減ジテ居ル、其外或ハ資本
金ノ關係デアルトカ、或ハ使用動力ノ關係
デアルトカ云フヤウナ見地カラ見テモ、三
十人ト云フヤウナ工場ハ、相當他ノ二十人
三十人ノ工場ニ比ベテ組織的ニナッテ居ル
ヤウニ統計上モナッテ居ルノデアリマス、ソ
レデ先ヅ三十人ノ工場ヲ以テ本法ノ適用ヲ
受ケル最下限ノ工場トスルコトガ職工保護
ノ見地——産業ノ耐ヘ得ル範圍内ニ於テ職
工ヲ保護スルト云フ見地カラ見テ妥當ナリ
ト云フコトヲ信ジマシテ、本案ノヤウニ致
シタ譯デアリマス

○中村委員 サウ致シマス三十人ノ勞働
者ト云フモノ、解釋ハ、家族従業員及徒弟
ト云フヤウナモノハ含マレテ居ルノデゴザ
イマセウカ

○赤松政府委員 徒弟ハ含ミマスガ、家族
ハ含ミマセヌ、工場法ニ於キマスル職工ノ
解釋ト同様ニ解釋致シマシテ、職工ノ數ニ
依ッテ三十人デアルヤ否ヤヲ決メマス

○熊谷委員長 ドウデスカ中村サン、今迄
此點ニ付テハ隨分質問モアッタノデスガ成
ベク簡單ニ……

○中村委員 ソレデヤ簡單ニ御尋致シマス
——昭和八年ノ六月三十日ノ東京市内ノ調
査ニ依リマスルト、工場數ト云フモノハ九
萬一千十一ト云フコトニナッテ居リマス、其
平均ノ従業員者ハ一工場五十四人デアッテ、其
五十四人ノ中ニ於テ家族従業員ト、徒弟ノ
數ガ割合ニ非常ナ大キナ率ヲ示シテ居ルト
云フヤウナ狀況デアッタノデアリマスルガ、
本法ヲ適用スルニ當リマシテハ、サウ云フ風
ノ勞働者ノ數ヲハッキリ決定サレルノニハ
ドウ云フ方法デ爲サルノデゴザイマセウカ

○赤松政府委員 本法ハ工場法ノ適用ヲ受
ケマス工場ニ適用致スノデアリマス、工場法
ニ於キマシテハ職工ニ付テ職工名簿ヲ設ケ
テ居リマス、其職工名簿ニ依リマシテ三十
人デアルヤ否ヤガ直チニ分ル譯デアリマス

○中村委員 職工名簿ニハ家族従業員或ハ
徒弟ト云フ風ニハッキリ區別ニナッテ登錄サ
レテ居リマセウカ

○赤松政府委員 家族ノ従業員ハ職工デア
リマセヌカラ、職工名簿ニハ記載致シテ居
リマセヌ、併ナガラ徒弟ト稱シマス者モ職
工ノ一ツデアリマスノデ、勿論職工名簿ニ
ハ記載サレテ居リマス

○中村委員 本法施行ノ場合——是ハ面白
イツノ例デアリマスガ、東京市ガ昨年女
中稅ト云フモノヲヤッタノデアリマス、ソレ
ハ女中ヲ二人以上使ヘバ幾ラ、三人以上使
ヘバ幾ラ、四人以上使ヘバ幾ラト云フ風ニ女
中ノ數ニ依ッテ、課稅ノ率ヲ變ヘテ行ッタノ
デアリマス、サウ致シマス今迄二人使ッテ
居ッタ所ハ一人ト云フ届出ニナリ、三人使ッ
テ居ッタ所ハ二人ト云フヤウナ届出ニナッテ、
結局東京市ノ稅金ハ稅金ヲ取立テル吏員ノ
俸給ニナッテシマッテ、此女中稅ト云フモノ
ノ成績ハ全然擧ガラナカッタト云フヤウナ
結果ニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ
又一面ニ於キマシテハ昨日モ同僚カラノ質
問ノ中ニアッタヤウデアリマスガ、女中ノ
給料ト云フモノガ一割モ二割モ下リ、甚シ
キハ解雇サル、爲ニ、女中ノ失業者ト云フ
モノモ大分出來タト云フコトモ耳ニ致シ
テ居ルノデアリマスルガ、本法ノ適用サレ
ルニ當リマシテハ、丁度東京市ノ女中稅
ガ行ハレタ當時ノ如ク、今日ノ職工名簿ノ

登録ニ對スル五十名或ハ三十名ト云フヤウナモノガ、家族ノ届出トナリ、或ハ其他臨時工ノ届出ニ變更サレルト云フヤウナ結果ニナリハセヌカト云フコトヲ一面ニ考ヘルノデアリマスガ、實際カラ申シマス、サウ云フ結果ノ現ハレルト云フヤウナ豫想ハ全然御見込ニナッテ居ナイノデアリマセウカ、東京市ハ一ツノ實例ヲ示シテ居ル、働キ損ノ草臥レ儲ニ現在終ッテシマッテ居ルノデアリマスガ……

○赤松政府委員 本法施行ノ爲ニ三十人前後ノ所ガ三十人以下ニ減リハセヌカト云フ御疑問デアリマスルガ、或ハ稀ニハサウ云フコトモ起リ得ルカト考ヘマスルガ、女中ノ場合トハ大分違ヒマシテ、御承知ノ如ク工場經營ヲ致シテ居リマス上ニ於キマシテハ、必要ノ最小限度ノ人間ヲ使ッテ今日既ニ經營致シテ居リマス、女中ハ多少ソコニ餘裕ノアリマス階級ガ、何ト申シマス、贅澤ト云ッテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ意味ノモノモ相當アリマス、隨ヒマシテ女中税ノ影響ガ直チニ女中ノ人員ノ減少ニ現ハレテ來ルト云フ傾向ハ、本法施行ノ爲ニ勞働者數ガ減ル場合トハ餘程性質ガ違ッテ居リマスノデ、本法施行ノ爲ニ工場ノ規模ガ小サクナッテ行クト云フヤウ

ナ憂ハ大ナルモノデハナイト信ジテ居ルノデアリマス

○中村委員 是ハ他ノ方面ノ人ノ意見デアッタノデアリマスガ、第一條ニハ撚絲——是ハ専門語ダカラ私ニハ能ク分リマセヌガ、此撚絲ト云フ事業ニ對シテハ此適用ハ原則的ニナッテ居リマセウカ、或ハ勅令ニ基ク關係ニ依ッテ御認ニナルヤウナ事業ニナッテ居リマセウカ

○赤松政府委員 マダ確定のナコトハ申上ゲラレマセヌガ、相當考慮ノ餘地アル業態ト考ヘテ居リマス

○中村委員 少シク質問ヲ縮メル爲ニ飛バシマシテ、第十一條ノ第二項ノ「災害其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキハ事業主ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ拘ラズ積立ヲ爲サズ又ハ減額シテ積立ツルコトヲ得」ト云フ規定ニナッテ居リマスガ、昨日同僚ノ質問カラハ客觀的事情デナケレバイカヌト云フヤウナ御説明ガアッタと思ヒマス、所ガ是ハ常識的ニ考ヘマシテ、撚絲ヲ只今申上ゲマシタカラ考ヘ及ブ所デゴザイマスガ、今日長野縣ト云ハズ、或ハ上州地帶ト云ハズ、養蠶地アタリニ參リマス、職工ノ給料ヲ其儘借リテ辛ウジテ雇主ガ事業ヲ經營シテ居ル狀況ダサウデアリマス、サ

ウ致シマスルト客觀的ノ場合デナケレバ積立ハ免除減額ガ出來ヌト仰ッシヤルケレドモ、無イ袖ハ振ラレヌト云フ昔ノ譬デ、共ニ勞働者モ生キ資本家モ生キルト云フヤウナ立場カラ、資本家ガアッテ勞働者ガアルンデヤナイカ、又資本家ハ勞働者ノ勞力デ事業ヲシテ行クト言ハレマスガ、其通り、ドウシテモ勞働者ガナケレバ資本家ハ其日カラ仕事ハ出來ヌ、サレド資本家ガ倒レタ場合ハ、勞働者ハ其日カラ自己ノ生活ヲ離レナケレバナラヌト云フ狀況デアルノデアリマスガ、サウ云フ主觀的ノ場合デモ此適用ガナイト仰シヤルンデスカ

○赤松政府委員 勞働者ノ金デアリマスノデ、サウ云フ場合ニ於キマシテモ、是ハ勞働者ノ積立ヲ減ラシマスヤウナコトハ致シマセヌ積リデアリマス

○中村委員 サウシマス、事業主ノ積立テル部分ハ、主觀的ノ事情ノ場合ニモ其積立金ナラバ出來ル譯デスカ

○赤松政府委員 十六條第二項ノ場合ニ於キマシテモ、是ハ災害ニ類シマスル客觀的ノ場合デナケレバ、退職積立金ノ減額若クハ積立ラシナイ場合ヲ認メナイ考デアリマス

押ヲ受ケタト云フヤウナ實際ノ場合ハ議論デヤナイト私ハ思ヒマスガ、サウ云フ場合デモ出來ナイト云フ御考デセウカ

○赤松政府委員 事業ガ存立致シテ居リマス限りハ、積立ノ義務ノ免除ハゴザイマセヌ

○中村委員 只今政府委員ヨリノ御説明ノヤウナ左様ナ嚴格ナル積立ノ、法ノ精神デアリマスニモ拘ラズ、行政官廳ノ許可ヲ得テ、積立金ノ運用ガ出來ルト云フヤウナコトハ、此法ノ精神ト少シ矛盾ヲ致シハシマセヌカ、之ヲ一寸御尋致シマス

○赤松政府委員 別段矛盾ハ致シテ居ラヌ積リデアリマス、危イモノニ付キマシテハ許可ヲ致シマセヌ場合モアリマセウシ、又第二項以下ニ運用ノ場合ニ於ケル國債供託ノ方法モ開イテ居リマシテ、危險ヲ防グ途モ設ケテ居リマスカラ、矛盾ハ致シテ居リマセヌ積リデアリマス

○中村委員 此場合、行政官廳ノ許可ヲ受ケルトアリマスガ、其行政官廳ハ何ヲ意味スルンデスカ、工場法ナドニハ地方長官ノ許可ヲ受ケルト云フコトニ、ハッキリナッテ居リマスガ、此場合ノ行政官廳ハ誰デスカ

○赤松政府委員 工場ニ關シマシテハ地方長官デアリマス、鑛山ニ付キマシテハ鑛山

監督局長ヲ指シテ居リマス

○中村委員 本法案ノ中ニ退職金審査會ト云フモノガアリマスガ、此審査會ハドンナモノニ依ッテ組織サレルノデアリマセウカ

○赤松政府委員 昨日御手許ニ御廻シ致シマシタ施行ニ關シマスル省令、勅令ノ草案ノ中、第三十二條ニ關シマスルモノヲ御覽下サイマスト、詳細分明致シマスガ、大體此退職金審査會ノ會長ハ地方長官ヲ以テ充テマシテ、其外ニ民間カラ事業主ノ利益ヲ代表スル者及ビ労働者ノ利益ヲ代表スルト認メマス者、竝ニ官吏及ビ學識經驗アル者は等ノ者ヲ適宜六名乃至九名ヲ以チマシテ組織致ス豫定ニナッテ居リマス

○中村委員 只今政府委員ノ御説明ノ如キ陣容ニ依ッテ組織セラル、ト致シマスナラバ、退職金積立ニ關シマシテノ免除、運用ト云フヤウナコトハ、行政官廳ノ許可デアリマセヌデ、退職金審査會ノ決議ニ依ッテ爲サル、ト云フヤウナコトガ適當デアルト云フ御考ハアリマスマイカ

○赤松政府委員 日常頻繁ニ出デ参リマス所ノ事務ニ關スル事情デアリマスノデ、實情ニ副ヒマス爲ニ却テ是ハ地方長官ノ判斷ニ委セタ方ガ色々手續ヲ履ムヨリモ、簡便適切ニ参ルト信ジテ審査會ハ別個ノ組織

ニ致ス積リデアリマス

○中村委員 サウ致シマスルト、是ハ同僚ノ質問中ニモアリマシタガ、罰則ニ關係シマスカラ繰返シマスガ、地方長官ノ決定ニ依リ積立ノ免除或ハ運用ヲ許サレタ場合ニ、罰則ノ適用ガアルヤウナ犯罪事情ガ生レタト云フ場合ニ非常ナ責任ガソコニ想像サレテ來ルヤウナ氣持ガ致シマスガ、サウ云フ運用ヲ許シタ場合ニハ其結果ト致シマシテ、労働者ノ利益ガ失ハレタト云フヤウナ實際的ノ場合ガ生ジタ時ニ、運用ヲ許シタ人ノ責任ハドウナッテ來 マスカ

○赤松政府委員 運用ヲ許シマシタ上ニ於テ、ソレガ若シ返却出來ナイト云フヤウナ狀況ニ相成リマスルナラバ、運用ヲ許サレタ所ノ事業主ハ返却ノ民事上ノ責任ヲ負ヒマス、地方長官ハ別段法律上ノ責任ヲ負フ譯デハアリマセヌ、隨テ是ガ許可ニ付テハ實際問題トシテ慎重ナル態度ヲ以テ過チノナイヤウニ致シテ行ク心得デ居リマス

○中村委員 サウ致シマス地方長官ハ場合ニ依ッテ犯罪人ヲ作り、場合ニ依ッテハ犯罪人ヲ作ラヌ——作ラヌト云ッテハ變ナ説明デアリマスガ、此積立金ノ性質ニ鑑ミマシテ、ソレノ違反ガ出來タト云フヤウナ場合ニ於テ、其運用ヲ許シタト云フ其原因ニ

對シテ、唯民事上ノ責任ガ其運用ヲ許サレタ事業主ニ起ッテ來ルダケダト云フコトニナリマス、唯一般ノ事業主ガサウ云フ同一ナ事情ニ置カレテ懲役三年以下ト云フ重大ナル刑罰ヲ受ケナケレバナラスト云フ場合ニ、地方長官カラ許シテ受ケタ爲ニ、同一ノ事情ニアッタ場合ニ民事上ノ責任ダケデ責任ヲ逃レルト云フコトニナリマス、其場合ニ於テハ地方長官ハ罪ヲ宥シ得ルト云フヤウナコトニナリマスガ、サウ云ウ關係ハドウ云フ風ニナッテ参リマセウカ

○赤松政府委員 三十三條ノ罰則ハ許可ナクシテ之ヲ事業主ガ處分シタ場合デアリマス、即チ自己ノ爲ニ費消シテシマッタ場合ヲ言フノデアリマシテ、一旦許可ヲ受ケテ正當ナル手續ノ下ニ運用致シマシタ場合ニハ、三十三條ニハ全然關係ガゴザイマセヌ、隨テ民事上ノ責任ノミガ殘ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ、地方長官ノ運用許可ハ非常ニ重大ナル責任アルコトガ分リマスノデ、是ガ運用ヲ許シマス場合ニ於テハ、確實ヲ期スル爲ニ擔保ヲ提供サセマス、國債ノ供託ヲ命ジマス餘地モ持ッテ居リマシテ、過チナキヲ期シテ參ル豫定デアリマス

○中村委員 最後ノ罰則ニ付テ私ハ質問致

スノデアリマスガ、三十三條ノ罰則ヲ見テ見マス、内務大臣モ是ハ選擇刑ダト云フヤウナ御答辯デアッタノデアリマス、選擇刑ト云フコトニナリマス、日本ノ選擇刑ト云フモノハ成ルベク罪人ヲ作ルナ、成ルベク輕ク罰セヨト云フコトガ其精神ニナッテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シマス、仁愛主義ノ日本ノ刑罰法ハ同ジ殺人罪ヲ犯シテモ、出來ルコトナラバ是ハ死刑ニスルナ、無期懲役ニセヨ、更ニ理由ガアレバ之ヲ有期懲役、更ニ理窟ガアレバ之ヲ輕イ懲役ニシテ執行猶豫ニスル、斯ノ如ク殺人罪ニ於キマシテサヘ刑法ノ精神ト云フモノハ成ベク罪人ヲ輕ク罰スルト云フコトガ刑ノ本當ノ精神ニ相成ッテ居ルノデアリマス、此選擇刑ハ懲役刑ヨリ罰金デ成ルベク處斷セヨトノ精神デアル、然ルニ國家ノ行政目的ヲ達スル手段トシテ出來タ所ノ、本法ノ罰則規定ヲ見マスルト云フト、懲役三年又ハ千圓以下ノ罰金ニ處スト御作りニナッテ居リマスルケレドモ、純然タル行政犯ノ規定ト致シマシテハ、懲役ト云フヤウナ罰則ヲ御設ケニナルト云フヤウナ御趣旨ハ一體ドウ云フ所カラ御考ニナッテ居ルカ、之ヲ私ハ尋ネルト同時ニ、一般ノ行政犯ト同ジク政治上ノ目的ヲ達スル場

合ノ違反行爲ニ對スル法定犯ノ罰則規定ト致シマシテハ、必ズヤ輕イ懲役、若クハ禁錮又ハ罰金、時ニ科料ト云フヤウナ比較的輕イ選擇刑ノ規定デナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ本法ノ適用ノ範圍ヲ見マスルト云フト、家族主義ノ上カラ考ヘテモ洵ニ遺憾デアル、自分ガ資本ヲ出シテ使ッテヤッテ居ル所ノ、労働者ノ賃銀中ノ一部ヲ積立金トシテ預ッテ居ッタト云フ、謂ハバ主從關係ノ間デアリ、親子關係ノ間デアッテ、日本ノ刑法カラ見テ見マシテモ親子ノ場合ハ泥棒ヲシテモ犯罪ニナラナイ、不論罪ニナッテ居ルノデアリマス、之ニ近い關係ニアル所ノ、自分ガ使ッテヤッテ居ル、共ニ働イテ居ル所ノ謂ハバ親子關係デアリ、兄弟關係デアル、此間柄ニ於ケル人ノ積立金ニ充ツル所ノ金ヲ、退引ナラヌ事情ノ爲ニ使ッテ、ソレヲ懲役ニセナケレバナラヌト云フヤウナコトニナリマスルナラバ、慈愛主義ノ日本刑法ノ精神ハ何處ニアルカト私ハ考ヘル、斯ウ云フ立場カラ更ニ考ヘ比較シテ見マスル時ニ、他ノ例ヲ見マシテモ、健康保險法ノ違反ノ場合ノ如キ、工場法ノ違反罰則ノ場合ニ於キマシテモ、懲役一年以上ト云フヤウナ場合ハ何處ヲ繕イテ見マシテモナイノデアリマス、或ハ商法ニ於ケル所ノ會社

法デモ何萬、何十萬ト云フヤウナ利害關係ヲ對象トスル所ノ會社ニシテモ、胡麻化シタ登記ヲ致シテモ一年以上ノ懲役ナド云フ規定ト云フモノハナイ、其場合ニモ一年以下又ハ千圓以下ノ罰金ト云フヤウナ規定ニナッテ居ッテ、一年以上ノ懲役ヲ認メタト云フヤウナ法律ハ日本ニハナイ、何處ヲ探シテ行ッテモナイ、然ルニ最近此法定犯デボカット三年以下ト云フガ如キ罰則——外國ニ金貨ヲ持出シタト云フヤウナ、爲替管理法ノ違反ヲシタト云フヤウナ場合ニ、國家ノ目的、財政政策上已ムヲ得ヌト云フヤウナ場合ニ於ケル罰則規定ガ非常ニ重イ刑罰ノ實例デ、是レ位ノモノデアリマス、是レダケガ三年デアリマス、ソレニ本法ガ三年以下ト云フ規定ニ相成ッテ居リマスルガ、斯ウ云フ御規定ガ適當デアルカドウカ、之ヲハッキリ私ハ御説明ヲ承リタイと思フ

○廣瀨政府委員 三十三條ノ懲役ノ問題デアリマスガ、私共ハ此積立金ヲ勝手ニ、許可ヲ受ケズシテ勝手ニ積立金ヲ處分スルト云フコトハ、其性質ガ非常ニ横領ニ似テ居ルト云フヤウニ見テ居ルノデアリマス、此犯罪ハ行政犯ダトハ私共ハ見テ居ラヌノデアリマシテ、ヤハリ其實質ハ横領ニ屬スルモノデアアル、併シ御承知ノヤウニ横領罪ニ

ハ是ハナリ得ナイノデアリマスガ、横領罪ニ似テ居ルノデアリマスカラ、ヤハリ横領罪ニ對スルト同ジ種類ノ刑ヲ以テ臨ンデ居ル譯デアリマス、併シ斯ウ云フ種類ノ法律デアリマスカラ、選擇刑トシテ、三千圓ノ罰金ヲモ加ヘマシテ選擇ヲ自由ニスルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、退職手當ノ積立金ノ性質ガ多數ノ労働者ノ長イ間ノ勤績ニ對スル一ツノ手當トシテ積立テラレタル、非常ニ労働者ニ對シテ大切ナル金デアルト云フコトト、ソレカラ又其金ニ對シテ國家ハ特ニ差押ノ禁止、或ハ免稅等ノ取扱ヲモ致シテ居ル關係上、餘程是ハ重要ニ取扱ハネバナラヌノデ、斯ノ如キ刑ヲ採ッタ譯デアリマス

○中村委員 サウスルト是ハ事業主ガ自分ノ金ヲ積立金ノ中ニ繰入レテ積ンダ其金ヲ許可ナク使ッテ場合モ、同一ナ解釋ニナッテ居ルノデアリマスガ

○廣瀨政府委員 此條文ノ適用ハ本法ニ依ル積立ノ場合デアリマシテ、本法ニ依ラザル任意ノ事業主ノ積立ハ、此法律ノ關スル所デハナイノデアリマス、本法ニ依ル積立ガ此法律ニ依ッテ取締ヲ受ケル譯デアリマス

○中村委員 事業主ガ積立テル退職積立金

ハ本法ニ依ラルルモノデスカネ

○廣瀨政府委員 此退職手當積立金ト本法ニ書イテアリマス積立金ハ、本法ニ依リマシテ積立テマシタモノダケヲ申シマス、隨ヒマシテ本法ニ依ラズシテ、假令ソレガ労働者ノ爲ニヤル積リデアラウト、何デアラウト、任意ニ積立テテ居リマスモノハ本法外ノ積立デアリマス、隨テ三十三條ニ書イテアリマス「退職手當積立金又ハ準備積立金」ト云フノハ本法ノ規定ニ從ッテ積立テタ金ダケヲ申シマス

○熊谷委員長 中村君、成ベク前ノ質問トノ重複ヲ省イテ、前ニ既ニ質問ガアッタ點、又政府委員カラ答辯ガアッタ點、サウ云フ點ハ成ベク省略ヲシテ、別ノ方面、新シイ御質問ヲヤラレンコトヲ希望シマス

○中村委員 承知シマシタ——サウスルト政府委員ト致サレマシテハ此罰則ノ規定ニ對シマシテハ、一寸手續ヲ間違ヘタト云フヤウナ場合モアリ得ルト思フガ——是ハ今回ノ選舉法ノ實際ノ體驗カラ致シマシテモ、一寸立看板ノ寸法ガ間違ッテ居ッテ爲ニ、ソレガ違反ニ間ハレタト云フヤウナコトモアッタヤウデスガ、此罰則規定モ、一寸誤認シテ居ッタト云フヤウナ場合モ想像サレ得ル譯デスガ、即チ選舉法デ言フト形式犯ト

デモ申シマセウカ、ソレニ似タヤウナ場合ニ於テハ、モット輕イ所デ、科料刑ノヤウナ、選擇刑ヲ今少シ擴張サレル意思ハナイノデアリマスカ

○赤松政府委員 工場法ニ於キマシテモ皆罰金刑デヤツテ居リマス、併ナガラ成ベク斯ウ云フ種類ノモノニ付キマシテハ能ク教へ、能ク導キマシテ、違反ナカラシムルヤウナ方針デ居リマスコトハ工場法ノ施行ト同様ニ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ單ナル形式ノヤウナ場合デアリマスルナラバ、能ク注意ヲ與ヘテ之ヲ改メ、戒告ニ止メルト云フ場合モアリ得ルト思ヒマス、隨ヒマシテ之ニ科料等ノ刑ヲ設ケル必要モナイト考ヘテ居リマス

○中村委員 大分御説ヲ承リマシタガ、此積立金ト云フノハ、本當ノ本質ハ貯金ト云フヤウナ意味デゴザイマセウカ、或ハ恩惠ト云フヤウナ意味デゴザイマセウカ、或ハ報酬ト云フヤウナ意味デゴザイマセウカ、或ハ補填ト云フヤウナ意味デアリマセウカ、或ハ保險ト云フヤウナ性質ノモノデアリマセウカ、或ハ權利ト云フヤウナモノデアリマセウカ、是ノ本當ノ性質ヲ私ハ聽イテ見タイト思ヒマス

○赤松政府委員 退職手當積立金ヲ本法ニ

依リマシテ、將來勞働者ニ給與スベク——支給スベク命ゼラレタル所ノ給與金デアルト私ハ思ヒマス

○中村委員 一寸私ハ不思議ニ思ヒマシタカラ御尋致シマスガ、給與金ニ懲役ヲシナケレバナラスト云フヤウナ罰則ヲ附スルト云フコトハ、因果關係カラ考ヘテドウモ不思議ニナツテ參リマス、一寸ソレヲ御説明願ヒタイト思ヒマス、屁理窟ノヤウニナリマスケレドモ……

○赤松政府委員 退職手當積立金ノ經濟的性質ハ給與金デアリマス、併ナガラ是ハ本法ニ依リマシテ公ノ義務トシテ、將來一定ノ條件ノ成立シタト云フ時ニ於テハ、勞働者ニ支給スベク命ゼラレマシテ、之ヲ積立テ、置ク義務ヲ有ツテ居ル所ノ金デアリマス、隨ヒマシテ之ニ對シ免稅ノ取扱モ致シテ居リマスシ、先程仰セノ如ク差押禁止マデ致シマシテ保護シテ居ルモノデアリマス、隨ヒマシテ是ハ又一面他カラ見マスルナラバ、信託財産のニ類似シタヤウナ性質ヲ帶ビテ居リマス所ノモノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ自己ノ爲ニ無斷ニ消費致シマスコトハ、許サルベキ事柄デアリマセヌノデ、嚴重ニ取締ル必要ガアルノデアリマス

○中村委員 サウシマス、今一點デゴザ

イマスガ、只今ノ御説カラ考ヘマスルト、信託財産のニ所謂保護、保管ヲシテ居ルト云フヤウナ意味デアリマスガ、サウ致シマスト横領罪ト云フヤウナ説明ガアリマシタガ、横領罪ト云フモノハ、他人ノ物ヲ自己ガ預ッテ、繼續的ニ其儘渡サヌデ、ズツト保管シテ居ッテ、其儘自己ノ責任ヲ果シテ居ナイデ、其金ヲ使ヒ込シタト云フヤウナ場合デアリマスガ、此罰則ハ法律ノ規定ノ違反ダケニ依ッテ起ルヤウニナツテ居ル罰則デゴザイマセウカ、譬ヘテ申シマスルト、使ッタ金ヲ何レ何處カラカ借金シテ拂ヘバ宜イ譯デス、ソレヲ使ヒ込シタガ規則ニ違反シテ居ルノデ、直チニ同額ノ金ヲ第三者ノ某カラ融通シテ來タ金デ、結局始末ガ完了スレバ兎ニ角責任ハ金ノ性質上免レラレルト思フ、サウ云フ風ニナツテ行クノデスカ

○赤松政府委員 退職手當積立金ハ御覽ノ如ク、二十條ニ決メテアリマスヤウナ方法ニ依ッテ保管サレテ居リマスモノ、ソレ自體ガ退職手當積立金デアリマス、隨ヒマシテ退職手當積立金ハ法律デ定メマシタ目的以外ニ使フコトハ出來ナイノデアリマスカラ、之ヲ自分ノ勝手ニ使ヒマスと云フコトハ、法律ノ目的ニ反シタ行爲デアリマシテ、許スコトハ出來マセヌ、隨ヒマシテ之ヲ一旦使ッ

タ後デ餘所カラ補充スルト云フコトハ、既ニ許シ得ザル事柄デアリマス

○淺沼委員 一寸材料ノコトニ付テ申上ゲタイノデアリマス、モウ質問者モアト幾人モナイト思ヒマスガ、サウスルト此委員會モ決定シ、本會議ト云フコトニナルト思ヒマスカラ、此際全國產業團體聯合會ノ組織ト、其組織ノ中央ノ組織、地方ノ組織、竝ニ幹部ト云フヤウナモノノアレヲ出シテ戴キタイ、ト云フノハ新聞ノ傳フル所ニ依リマス、本委員ノ中ニモ、全國產業團體聯合會ノ幹部ノ方ガ入ッテ居ラレルト云コトガ載ッテ居リマスシ、又新聞ニ現レタ案ニ依リマス、全國產業團體聯合會デ決定ヲ致シマシタ修正案ト、此委員會デ決定サレウツシテ居ル修正案ト、同一ダト云フヤウナコトヲ私共同ッテ居ルノデアリマス——サウ云フ傾向ニアルト云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス、尙且ツモウ一ツ、政府ノ立法ニ對スル態度デアリマスガ、イツモ政府ハ強硬ナ態度デ以テ資本家ニ對シテ居ルカノ如ク見エルガ、イザ決定ト云フコトニナルト、之ニ應ズルヤウナ態度ニナツテ、結局勞働者ト云フコトヲ考ヘナイヤウナ結果ニナルノデアリマシテ、之ニ付テハ出來上ルデアラウト思ハレル案ト、全國產業團體

聯合會トノ關係ハ、吾々ニ取ッテ重大ナルモノガアルノデアリマスカラ、明細ナルモノヲ出シテ載キタイ、ソレニ依ッテ私共ハ政府ニ對スル、立法ニ對スル考ヘ方ヲシテ行カウト思フノデアリマス、以上

○熊谷委員長 次ハ服部英明君デアリマスカ、極ク短カケレバ此場合……三十分位デ終リマスカ

○服部委員 私ハ慎ミマシテ三十分ヨリウント短ク済ム積リデアリマス——宜シウゴザイマスカ

○熊谷委員長 宜シウゴザイマス

○服部委員 本案ニ付テノ立法上ノ趣旨竝ニ各條項ニ付テ幾多ノ質問ヲ有ッテ居リマスケレドモ、既ニ其一方面ニ對スル質問ハ、大體同僚諸君ヨリ爲サレマシタノト、其御答辯ヲ承ッテ居リマスカラ、極メテ簡單ニ二點ヲ伺フコトニ致シマス、第一條ニ勞働者ト云フコトガアリマスカ、本法ノ所謂勞働者ト云フモノハドウ云フモノデアリマスカ、三十人トカ、ソレガ多イトカ、少イトカ云フ議論ハ、大ニ拜聽致シマシタガ、本法ノ所謂勞働者ト云フモノハドウ云フモノデアリマスカ、ソレヲ一ツ定義的ニ御説明ヲ賜リタイノデアリマス、本法ノ支配ヲ受クル所ノ勞働者……

○赤松政府委員 本法ノ所謂勞働者トハ、

主トシテ事業ノ本體タル作業ニ就キマシテ、勞役ニ從事致シマス者ヲ申シマス、筋肉の勞働ニ從事致シマス者ヲ勞働者ト申シマス、而シテ今回本法ノ施行ニ當リマシテ直チニ適用ヲ受ケマス者ハ、工場法ノ適用ヲ受クル工場、鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ニ限リマスカ故ニ、工場法ニ於ケル職工、ソレカラ鑛業法ノ所謂坑夫、此二種類ニ限リマス

○服部委員 左様ニ致シマスレバ、ソレハ日給デアラウト月給デアラウト、年俸ト云フコトハ恐ラクナイデアリマセウガ、左様なコトノ區別ハ、區別ノ基礎ニハ標準ニナラナイト承ッテ宜シウゴザイマスカ、苟モ筋肉的勞務ニ就イデ居ル者ナレバ宜シイト、斯ウ云フ意味ナノデスカ

○赤松政府委員 賃銀支拂ノ形體ノ如何ハ問ヒマセヌ、社會通念上、ソレガ筋肉勞働者ト目セラレマシタ者ヲ以テ、一應勞働者ト判定致シマスノデアリマス

○服部委員 左様ニ承リマスレバ、斯ウ云フ場合ハドウ解シテ宜シウゴザイマスカ、例ヘバ月給制度デ、其月給ヲ取ッテ居ル者ガ筋肉勞働デアアルヤウデモアルシ、或ハ智能的働キヲ爲スヤウニモ思ハレル、此兩方ニ

思ハレル、例ヘバ勞働者ヲ監督シテアッチコッチ走り廻ッテ居ル者トカ云フ者ハ、相當高級ノ月給ヲ貰ッテ居ル、働キ其モノノ實體ヲ見マスレバ、筋肉勞働者ニモ屬シテ居ルヤウナ場合ガアル、或ハ頭腦的働キニ依ッテ采配ヲ振ッテ居ルヤウナ者モアル、小工場ニ於テハ特ニ左様な者ガ多イノデアリマス、左様な者ハドウテラヘ之ヲ認メルノデアリマスカ

○赤松政府委員 事實問題ニ入ラナケレバナリマセヌノデ、抽象的ニ此處デ明確ニ御答辯ヲ致シ兼ねマスガ、大體ニ於キマシテソレハ先ヅ其當人竝ニ事業主ノ判定ニ任セマスシ、又社會通念上見マシテ、ソレガ勞働者ト目スベキ狀態ニアリヤ否ヤト云フコトヲ、事實ニ付テ判定致シマセヌト、一寸困難デアラウト考ヘマス

○服部委員 其實ニ認定ニ付テ工場主、即チ事業主ト監督官廳ノ考ト違フヤウナ、一致シナイヤウナ虞ハアリマセヌカ、工場主ハ之ヲ努メテ適用ヲ免レン爲ニ、左様な者ハ勞働者ノ中ニ入レナイト云フヤウナコトヲ考ヘタ場合ニ、其認定ノ一致シナイヤウナコトモアルヤウニモ考ヘラレル、其點ノ御處置ハドウナサルノデアリマスカ

○赤松政府委員 只今モ申上ゲマシタヤウニ、本法ノ適用ヲ受ケマス勞働者ハ、只今ノ所職工、坑夫ニ限リマス、隨ヒマシテ從來ノ經驗カラ申シマシテ、工場法ノ施行ニ於テソレガ職工デアアルヤ否ヤノ疑義ヲ生ジマシタ場合ニ於キマシテハ、事實ニ付テ判定致シマシタ結果、事業主トノ間ニモ能ク諒解ガ付キマシテ、會テ兩者意見ノ差異ガアリマシテ、非常ニ困リマシタヤウナ實例モゴザイマセヌ、實行問題ト致シマシテハ、支障ナク行ハレルモノト信ジテ居リマス

○服部委員 其點諒解致シマシタ、次ニ本法ハ三十人以上ノ勞働者ヲ持ッテ居ルモノニ適用スルト云フコトデアリマスルガ、三十人前後ノモノハ謂ハハ小事業家デアリマス、近來ノ風潮ト致シマシテ中小工業者ヲ振興サスト云フ活動ガ一方ニアリ、ソレヲ助長セシメントスル時デアルノニ、本法ノ如キモノヲ適用スルノハ其政策ト矛盾シテ、却テ中小工業者ノ事業ヲ振興ヲ妨ゲルト云フ心配ガアルヤウニ思ハレマスルガ、ソレニ對スル御所見ハ如何デゴザイマスカ、今マデ左様な御答辯ガアリマシタトスレバ、省略シテモ宜シウゴザイマス、私ノ方デ速記録ヲ見マスカ……

○廣瀨政府委員 其點ニ付キマシテハ昨日

來度々申上ゲテアルノデアリマス

○服部委員

サウデスカ、私缺席シテ居ッ

場合カモ知レマセヌカラ、宜シウゴザイマ

ス、次ニ法文ノ二十條デアリマスガ「退職

手當積立金ノ積立ハ命令ノ定ムル所ニ依

リ他ノ財産ト分別シテ左ノ方法ニ依リ之

ヲ爲スベシ、一郵便貯金、二銀行ヘノ預

金、三金錢信託、四登錄國債」斯ウ云フ

風ニ分ケテアリマスガ、事業主ガ例ヘバ銀

行ニ預金ヲ致シテ、其銀行ガ不幸ニシテ破

綻ニ及ンデ支拂ガ出來ナクナッ、左様ナ場

合ハ危險ノ負擔ハ事業主デアッ、事業主ガ

辦償スベキモノデアル、斯ウ云フ立前ニナッ

テ居ルヤウニ、昨日マデノ御答辯デハ承知

致シテ居リマスルガ、私ノ思ヒマスルノニ

ハ、左様ナ結果トナリマスルト、如何ニモ

事業主ニ過大ナル負擔ヲセシメルモノデハ

アルマイカ、ソレヲ最近ノ實例ニ依ッテ見マ

スレバ、十五銀行ノ如キハ宮内省關係ノ銀

行デアリマシテ、アノ銀行ガ誰レモ破綻ス

ルト云フコトハ想像モシテ居ナクナッ、事業

主ハ十分ノ注意ヲ拂ッテ、其様ナ信用ノアル

銀行ニ預ケテ置イテ、而モ此銀行ガ破綻ニ

ナッテ支拂ガ出來ナクナッ、斯ウ云フヤウ

ナ場合ニハ若シソレヲ事業主ニ負擔賠償セ

シムルト云フコトニナリマス、事業主ハ

積立金ニ於テ失權ヲシ、又辦償金ニ於テ支

拂ハナケレバナラスト云フ、二重ノ負擔ヲ

スルト云フコトニナッ、如何ニモ酷デハナ

イカ、失火ノ如キ是ハ其例デアリマスガ、

火ヲ過ッテ出シテ家ヲ焼イタガ如キモ、失火

ニ對スル所ノ責任ハ大變制限セラレテ居

ル、民事上ニモ亦刑事上ニモ失火ノ場合ノ

責任ハ大變制限セラレテ居ル、其鈞合カラ、

サウ云フコトモ考ヘテ見マス、事業主ガ

相當ニ注意ヲ拂ヒ、相當ノ信用ノアル銀行

乃至ハ有價證券ヲ買ッテ置イタト云フ場合

ニ、偶、突發ノコトニ依ッテ、謂ハハ災難ニ

依ッテ、其保管セラレテ居ルモノヲ失ッタト云

フ場合、重ネテ事業主ニ其危險ヲ負擔セシ

ムルト云フコトハ酷デハナイカ、當ニ酷デ

ナイカト云フコトヲ心配スルバカリデハナ

イ、ソレガ爲ニ事業主ガ其事業ニ支障ヲ生

ズルト云フヤウナコトガアッテ見マスルト

云フト、其事業ハ滅亡シナケレバナラス、

斯様ナル事業主ガ積立テ、置イタ積立金ニ

依ッテ、事業主其者ガ自殺シナケレバナラ

ヌ、自滅シナケレバナラスト云フヤウナ運

命ニ至ルコトヲモ容易ニ想像スルコトガ出

來ルノデアリマス、此場合ニ尙ホ負擔セシ

ムルト云フコトハ酷デハナイカ、斯ウ私考

ヘマス、ソレデ私トシテハ其場合ノ想像ヲ

シテ、斯ウ云フヤウナ場合ニハ、労働者ノ

同意ヲ得テ、サウシテ寄託ヲスルトカ何カ

ト云フコトノ方法ニ依ッテ、サウ云フヤウナ

災難ハ是ハ其例レデ、労働者ノ損トカ、或ハ

半分々々持ツトカ、何カト云フヤウナ緩和

的ノ一ツノ方法ヲ茲ニ講ジテ置クノ必要ガ

アリハシナイカ、要スルニ私ノ心配スル所

ハ、其責任ノ重イガ爲ニ、折角ノ本家本元

デアル事業主ガ滅亡シテハ、事業ニ支障ヲ

來シ、直チニ労働者ニ影響ヲ及ボスコトニ

ナリマスカラ、其點ヲ心配スルノデアリマ

スガ、其點ニ對シテ何カ御考ハゴザイマセ

ヌノデアリマス

○赤松政府委員 御心配ノ點モ御尤デ、事

業ガ潰レマシテハ洵ニ元子モナクナリマ

スノデ困ル譯デアリマス、ソレデサウ云フ

御心配ノアリマス場合ニハ之ヲ郵便貯金ニ

デモ一ツ御預ケ置キヲ願フヤウニシテ、サ

ウ云フ危險ノナイヤウニシテ戴ク、ドウモ

其外ニ方法ガナイト思ヒマス、労働者トノ

間ニ云々ノ御話モ實際問題ト致シマシテ

ハ、或ハサウ云フ場合ガ起ルカモ知レマセ

ヌガ、ソレハ法律上ノ問題デナク取扱ヒタ

イト存ジマス

○服部委員 茲ニ郵便貯金ガ第一號ニア

リ、ソレカラ次ニ銀行ヘノ預金、金錢信託、

登錄國債トアリマスガ、郵便貯金ノ場合ニハ

私モ心配ハ聊カモ致シマセヌ、併ナガラ二號

乃至三號ノ方法ハ萬一ツハ心配ガナイト

ハ言ヘナイノデアリマス、左様デアリトスル

ナラバ、若シ此二號乃至三號ヲ削ッテシマ

テ、郵便貯金ト確定シタラドウナリマス、サウ

スレバ其心配ノ點ガオ五ニナクナル、左様ナ

コトニ付テ如何様ニ御考ニナッテ居リマス

○赤松政府委員 二十條ノ一號ヨリ四號マ

デノ間ノ各種類ノモノニ付テ、之ヲ敢テ郵

便貯金ノミニ限リマス程ノ必要モナイノデ

アリマス、此中ドレヲ御選ビニナリマシテ

モ、ソコハ事業主ノ御自由ニ委シテ置クノ

ガ却テ妥當デアルト思ヒマス、尤モ危險ナ

リト感ズル方ハ一號ノ郵便貯金ヘ保管ヲ願

ヘバ宜シイト思ヒマス

○熊谷委員長 服部君、今日ハ午後一時ヨ

リ本會議ニ於テ重要ナル決議案ガ上程サレ

マス、ソレデアナク御質問ガオ長ケレバ

此邊デ打切りタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○服部委員 ソレデハ後デ致スコトニ致シ

マシテ、是デ一時中止致シテ置キマス

○熊谷委員長 ソレデハ是デ休憩致シマシ

テ、午後二時ニ再開致シマス

午後零時二十一分休憩

午後二時三十五分開議

○熊谷委員長 是ヨリ開會致シマス——服部君

○服部委員 前會ニ引續イテ第二十條ニ付テ御尋ヲ中上ゲマス、私ノ疑問トスル所ハ、事業主ニ責任ヲ負ハシテ、ソレガ爲ニ遂ニ事業其モノガ潰レルト云フヤウナ結果ヲ生ジテハ、事業其モノ及ビ他ノ労働者ニ大變迷惑ヲ蒙ラシムルト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、此責任ヲ緩和シテ、事業主ガ豫メ労働者ノ方面トノ諒解ヲ得テ、銀行ヲ指定シテ預金ヲスルトカ、或ハ諒解ヲ得テ金錢信託乃至國債ヲ買求メタル場合ニ於テハ、其モノニ付テノ損失ハ是ハ災難ト諦メテ已ムヲ得ヌ、率直ニ一口ニ言ヘバ、是ハ労働者ノ方ノ損害トナルベキモノデアルト、サウ云フヤウナ工合ニ立法ノ趣旨ヲ變ヘルト云フ御意思ハアリマセヌカ

○赤松政府委員 労働者ノ同意ヲ條件ト致シマシテ、銀行預金、或ハ其他ノ方法ニスルコトニ依リ、損失ノ場合ニ労働者ハソレヲ負フト云フ御意見ニ對シマシテ、労働者ト雇傭主ノ間ニ於キマスル關係ヲ事實上ニ就テ考ヘテ見マスレバ、サウ云フ場合ニ於キマスル労働者ノ同意ト云フモノハ、果シテ本當ノ自由意思ヲ以テ行ハレルヤ否ヤト云

フコトニ付テ、極メテ疑問ノ點ガ多々アルノデアリマス、故ニ法制ト致シマシテハ、サウ云フ場合ニ於キマシテ、同意ヲ條件ニシテ危險負擔ヲ労働者ニモ負ハセマスト云フコトハ妥當デナイト考ヘマス、故ニ二十條ノ如ク積立金ノ積立方法ニ付キマシテ何レヲ選ブカト云フコトニ付テハ、全然事業主ノ責任ヲ以テ行フノガ妥當デアルト考ヘマス

○服部委員 ソレデハ其條文ニ付テハソレデ止メマシテ、次ニ四十三條デアリマス、是ハドナタカラモ御質問ガアリマシタガ、私ノ聞キタイト申シマスル所ハ、本法施行前ニ既ニ約束ガアッテ積立テラレテ居ル、其積立ノ條件ガ本法ヨリ多カッタ場合ハドウ云フ工合ニナリマスカ、具體的ニ此法ノ適用前ノ條件ノ方ガ労働者ニ有利ダッタ場合、サウシテ中途カラ本法ガ施行セラレタル場合ドウ云フ結果ニナルカ、此差額ヲ拂フト云フコトノ點ニ付テ……

○赤松政府委員 本法施行前ノ退職手當規程ガ本法ノ要求致シテ居リマス所ヨリモ優良デアリマス場合ニ於キマシテハ、本法施行後ニ於テハ、本法ニ依ッテ支拂ハナケレバナラナイ退職手當額ト差引キマシテ、其殘餘ダケヲ從來ノ退職手當規程ニ依ッテ支給致シマスレバ足リルノデアリマス、重複ニ

ナラヌヤウニ但書ヲ以テ其點ヲ明ニ致シテ居ル次第デアリマス

○服部委員 サウシマスト云フト、前ノ方ノ分ガ一部ト、此法ノ施行ニナッタ分ガ一部ト、兩立スル譯ニナルノデスネ、何時マデモ兩立スル、斯ウ云フ立前デスカ

○赤松政府委員 本法ニ依ッテ支給シナケレバナラナイモノト、ソレカラ從來ノ手當ニ依ル差額、是ハ竝立致シマス譯デアリマス、從來ノ規程ヲ變更致シマセヌ限りハ、サウ云フ風ニ竝立シテ參ル譯デアリマス

○服部委員 逆ニ本法施行後ノ方ガ條件ガ厚クテ、前ノ約束ガ條件ガ薄カッタ場合ニハ其差額ヲ増シテ積立テレバ宜イ、斯ウ云フ御積リデスカ

○赤松政府委員 本法施行前ノ規定ガ本法ノ要求致シマス所ヨリモ低イモノデアリマスカラ、本法ハ本法通りノ支給ヲ致ス義務ヲ本法ニ依ッテ負ウテ居ルノデアリマスカラ、隨テ本法ノ義務ヲ果シマスレバソレデ宜イ譯デアリマシテ、ソコニ差額ノ殘餘ガアリマセヌカラ、給付規定ニ依ッテ給付スル餘地ガナイ譯デアリマス

○服部委員 私ノ質問ハ之ヲ以テ終了致シマスガ、大體ニ於テ社會立法ノ趣旨ニ基イテ考ヘマスノニ、本法ハ現在ノ事業ニ影響

スル所甚ダ大ナルモノガアリマスカラ、十分慎重審議セラレマシテ、本案ノ成立ノ準備ヲサレタイノデアリマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○熊谷委員長 渡邊君

○飯塚委員 私渡邊君ノ諒解ヲ得テ居リマスカラ、其前ニ一寸……

○熊谷委員長 デハ飯塚君

○飯塚委員 私ハ皆サンノ御意見ヲ能ク承リマシテ、質問ヲシナイデモ宜イヤウニ思ヒマスガ、私ハ商工業者ノ立場カラ、商工業者ノ心持ノアル所ヲ政府當局ニモ、又諸君ニモ御聽取リヲ願ヒタイト思ッテ、其意味ニ於テ質問致シタイト思ヒマス、質問致シマス條項ハ第一條ト第十七條ニ限ッテ居リマス、本案ニ於テ政府ガ「三十人以上」ト決メマシタノハ、ドウ云フ御趣意カラデアリマセウカ

○廣瀬政府委員 一條ノ「三十人以上」ト云フコトニ決メマシタノハ、保護ヲ受ケマス所ノ労働者ノ立場カラ言ヘバ、モット低イ二十人ナリ、十五人ナリノ所モ、保護ノ必要ガアリマスガ、併シ一面本法ニ依リマスト、退職手當ノ積立ヲシナケレバナラヌ、サウ云フコトハ相當經濟上ノ負擔ニモナリマスノデ、ソコデ三十人位ノ所ナラバ、其經濟的負擔ニモ耐ヘ得ルト云フ見込ヲ以テ

茲ニ決定ヲ致シタノデアリマス、是ハ色々議論ガアリマシテ、最初八十人ト云フヤウナ議論モアリマシタガ、併シ産業ノ保護ヲモ考ヘ、同時ニ職工ノ保護ヲモ考ヘマシテ、三十人ト云フ所ナラバ、先ノ大體適當デハナイカト云フコト決定致シタノデアリマス、三十人ト申シマス、從來ノ家庭工業或ハ家内工業式ナモノヨリ餘程工場工業式ニ變テ居ルノデアリマス、隨テ色々ナ點ニ於テ家内工業ト異ツタ事情ニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ先ヅ三十人ヲ以テ適當ナリト云フコトニ認定ヲ致シマシテ、之ニ依ッテ第一條ノ第一項ヲ「三十人」ト云フコトニ限ツタノデアリマスガ、併シ尙ホ第二項ニ於キマシテハ、三十人以上デアッテモ、五十人未滿ニ付キマシテハ、特別ニ事業ノ種類等ニ依ッテ除外ラスルト云フコトニ依ッテ、尙ホ三十人以上デアッテモ事業ノ種類ニ依リマシテハ除外ヲ致スコトニシテ、サウシテ中小工業者ノ負擔ニ耐ヘ得ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○飯塚委員 私ハ兩毛デアリマシテ、桐生、足利ト云フヤウナ關東ノ織物工場ノアル所デ、而モ商工業者ノ澤山居ル所デアリマス、斯ウ云フ所デアリマスカラ、他ノ大阪トカ何トカ云フヤウナ男バカリ使フ鐵

工場ヤ何カトハ其趣ガ違ッテ居リマス、而モ其職工ト云フモノハ、結婚前ニアッテ、殆ド自分ノ「ボケ」トマネーヲ少シ溜メヨウト云フ人々ガ來ルノデ、一生職工ヲシテ生活ノ安定ヲ得ヨウト云フヤウナハ少イト思フノデアリマス、併シ職工ハ是一律一體職工トシテ差支ナイト思ヒマスガ、只今ノ御話デハ三十人以下ノ職工ハ萬已ムヲ得ナイ、是ハ本法ヲ適用シナイノデ、第三條ニ何カ其間ノ者デ手當金其他色々ナモノヲスルナラバ、許可ヲ得テシロト云フコトガアリマス、併シ法律ノ立前カラ言ヘバ、三十人以下ノモノニ對シテハ、所謂法制化シテ國家ガ之ニ保護ヲ加ヘナイト云フコトニナル譯デアル、其時ニ職工ハドウ考ヘルカ、同ジ職工デアリナガラ、大阪ノ鐵工場ヤ何カノ職工ハ國家ノ保護ヲ受ケル、同ジ國家ノ保護ナラバ、兩毛ノ小サナ機場ノ者デモ此保護ヲ受ケタイト云フノガ、是職工ノ心理ダト思フ、又工場主カラ言ヘバ、今度ハ法制化シテ是ガ一律一體ニ國家ガ保護ヲシテクレルト云フコトデアルガ、俺ノ家ノ職工ハ三十人以下デアル爲ニ——他ノ澤山職工ノ居ル所ハ保護ヲ受ケルガ、國家ノ保護ノ恩典ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトハ、如何ニモ自分ノ使ッテ居ル所ノ家族同

様ノ職工ニ、國家ノ保護ガ來ナイト言ッテマサカ喜ブ者ハアルマイ、自分ノ使ッテ居ル職工ニ對シテハ假令一人デモ二人デモ、五人デモ國家ノ保護ヲ均霑シテ受ケサシテヤリタイト云フノガ、小サイ工場主ノ考デアリマス、然ルニ三十人以下ノ者ハ保護シナイト云フヤウナコトハ決シテ工場主ハ喜ブモノデハナイ、況ヤ五十人ダケノモノヲ「オミット」スルト云フニ至ッテハ尙更デアリマス、國家ハ國民生活ノ安定ヲ得セシメルト云フコトデアリマスガ、是デハ五十人使ッテ居ル所ノ工場ノ職工ニハ生活ノ安定ヲ得サセナイト云フコトニナルノデアリマシテ、是ハ勞働者モ非常ニ不平デアリ、事業主モ非常ニ不平デアルト思ヒマスガ、サウ云フ御察シハアリマセヌカドウカ、御同致シタイ

○廣瀬政府委員 只今ノ御話ノヤウニ保護ト云フ立前カラ申シマス、三十人未滿ノ勞働者ニ付テモ、此規定ト云フモノハ完全ニ適用シテ行ッテ、保護スルト云フコトガ必要ナコトデアリマスガ、ドウモヤハリ産業負擔ト云フヤウナ方面ヲ考ヘマス、サウ云フ譯ニハ參リマセヌ、併シ先程モ御話ノヤウニ、第三條ニ於キマシテハ、三十人未滿デアッテモ、事業主ガ進ンデ積立制度ヲ

ヤルト云フヤウナ場合ニハ、此法律ニ於キマシテモ、特ニ之ヲ保護スルト云フ制度ヲ設ケテアリマスカラ、特志ノ事業主ニ於キマシテハ、出來ルダケ此第三條ヲ利用致シマシテ、サウシテ本法ノ適用ノ主ナル部分ヲ、十分ニ利用スルヤウニ致シテ貰ヒタイト思ヒマス、ドウモ全部ニ及ボスト云フ譯ニハ參リマセヌノハ、甚ダ遺憾デアリマスガ、併シ三條ヲ活用シテ戴ケバ御心配ノ點ニ付テハ、相當ニ運用ガ巧ク行クコトデアラウト私ハ思ッテ居リマス

○飯塚委員 政府ノ御方ガ立法スル時ニ左様ノ御考デアルコトハ、私ハ非常ニ驚イテ居ル、第三條ノ規定ハ——固ヨリ三十人以下ノモノノ中デモ、資力ノアル者モアリマセウ、職工ヲ優待スルヤウナ規定モアリマセウ、併シソレヲスルモノガアルナラバ許可ヲ受ケルト云フコトガアリマスガ、決シテ其モノニ付テ無理ニシロト云フヤウナコトハ法制化シテ居リマセヌ、若シ自發的ニ職工ヲ保護スルト云フヤウナ心持ガアルナラバ宜イト云フノナラ、三十人以下ノモノニ適用スルモ、三十人以上ノモノニ適用スルモ同ジコトデアリマス、此法ヲ立テル必要ハナイ、又一番困ル所ノモノハ、大キイ工場ノモノハ必ズ規則ヲ立デマス、又立デ

得ル所ノ實力ハアル、併シ三十人以下ノモノニハ、サウ云フモノガナイノデアリマス、所謂之ハ非常ナ恩惠アル所ノ——何ト言ヒマスカ、情ノアルヤウナ人が今ヤッテ居ル、ソレヲ標準ニシテ三十人以下ハサウシロト云フヤウナコトヲシテ、所謂法制化シテ居ラス、法制化スト云フコトハ、少シハ無理デモ労働者ヲ保護スルト云フ意味ニ於テ法制化スルンガラウ、故ニ斯様ナコトハ第三條ガアルカラト云フコトハ理窟ニナリマセス、唯職工ト云フモノノ心カラ言フナラバ、三十人以下ノ所ヘ使ハレテ居ル所ノ者ハ、保護ヲ受ケナイト云フコトヲ見テ、ドウシテ是ガ安心スルモノデアリマセウ、サウ云フ者ハ而モ小工業ニハ澤山アリマス、其職工ト云フモノガ若シ不平不満ヲ起シテ——政府ノ立法ナリ、議會デ協賛シタ所ノ立法ナリガ通過スルト、三十人以下ノ職工ト云フモノハ、是ハモウ不平不満デ堪マラナイト思フ、斯ウ云フコトハ私ハ御同感デアラウト思フ、出来ルナラバ三十人以下迄モシタイト云フ御考ガナクチャナラヌト思フノデアリマスガ、其御考ガアリマスカドウカ、御答辯ヲ願ヒタイ

○赤松政府委員 洵ニ労働保護ノ觀點カラ致シマスレバ、御説ノ通りデアリマシテ、私共モ同感ニ堪ヘナイ、併ナガラ又産業負擔ノコトヲ顧ミマスレバ、他ノ政府委員ヨリ申上ゲマシタ通り、事業ノ根柢ヲ覆スヤウナコトニ萬一ナリマスレバ、結局ソレハ又労働者ノ爲ニモナリマセヌデ、ソレ等ノ邊ノコトヲ考慮致シマシテ、先ヅ法制デ以テ一律ニ強制スルノハ、三十人ヲ以テ限界ト致スノガ適當デナイカト考ヘテ居リマス、唯御説ノ如ク三十人以下デモ資力豊富ナ人がアリマシテ、サウシテサウ云フ保護ヲ與ヘテヤリタイト云フ方モ、必ズ多々アルガラウト信ジテ居リマスノデ、第三條ヲ設ケマシテ、第一條第一項各號ノ事業デアッテ、本法ノ適用ヲ受ケナイモノハ、是ハ假令三十人以下ノモノデアリマシテモ、本法ニ依ルコトノ出来マス途ヲ開イテ居リマス、事業主ノ方ニ於キマシテモ、出来ルダケ第三條ヲ活用サレマシテ、本法ニ依ラレルヤウニ致シタイト云フコトヲ、切望致シテ居ル次第デアリマス

○飯塚委員 甚ダ説明ガ徹底シナイト思ヒマス、第三條ノ如キハ、三十人以上ニ適用スルト云フナラバ、三十人以下ノモノハドウ云フ恩惠ヲ施サウトモ、ドウ云フ事ヲシヨウトモ、此法律決シテ強制スルコトハ出来ナイ、三條ガアルガ爲ニ私ノ質問ニ付テノ緩和ノ點ハ一ツモ見ラレナイ、今一ツニハ若シ三十人以下ヲ使ッテ居ル所ノ工場労働者ガ不平ト云フコトデアラナラバ——不平ハアル、キツト不平デアリマス、其途ガ立タナイナラバ、其三十人以下ノ工場ト云フモノハ立チマスカ、而モ小工業ト云フモノハ日本ノ特異性ニ考ヘテ必要ナ工場デアラウ、ソレヲ職工ガ全部不平デ、其小工業ト云フモノガ立ツ譯ハアリマセヌ、潰スモ、三十人以下ノ小工業モ今日日本ノ産業上ニハ必要ダト云フ御認メガアルナラバ、ソコニ何カノ工夫ガナケレバナルマイト私ハ思フ、自然ト其工場ハ潰レテシマヒマス、ソレガ故ニ此三十人以下ノ工場主ト云フモノハ、假令資力ガアラウトモ、幾ラ金持デアッテモ、事業ノ性質上三十人以下ニスルコトモアリマセウ、サウ云フ所ノ者ハ皆不平不満デ、其國家ノ明ナル所ノ保護ヲ受ケサセナイト云フコトハ、實ニ可哀想ダ、ダニ依ッテ自分ノ金ヲ出シテ職工ノ爲ニシヨウト云フ人モアリマセウ、又三十人デ負擔ガ出来ナイカラ已ムヲ得ナイト云フコトモアリマセウ、併ナガラ三十人以上デナケレバ負擔ガ出来ナイト云フコト、職工ヲ保護シナケレバナラヌト云フコト、ハ、別問

題デアル、此立法ト云フモノハ、労働者ヲ保護スルト云フ所ノ精神ヲ貫徹シナケレバナラス、又産業ヲモソレガ爲ニ進歩ヲ妨ゲテハナラヌト云フ所ノ途ガ立ッテ居ナケレバ、此立法ト云フモノハ本當ノ途デアルマイ、併シソレハ目的、理想ハドウデアリマシテモ、今ハ斯ウスルケレドモ後ニハサウスルト云フ漸進主義デ行クノナラ仕方ガアリマセヌガ、始カラ三十人以下ノモノヲ「オミット」シテシマハウト云フヤウナ立法ノ趣意デハ、労働者ニ對シテ非常ニ立法ノ趣意ガ立タナイ、又ソレガ爲ニ労働者ダケハドウモ仕方ガナイト云フケレドモ、亦サウスルト中小工業、企業者ト云フモノハ決シテソレガ爲ニ利益ニナラナイ、企業者ハ此三十人以下ノ者デモ、是非トモ彼等ノ生活ノ安定ヲ得サセタイト云フ考デアル、是ガ本當ノ人情デアル、小工業者、企業者ノ心デアリマス、其心ヲ無視シテ立法ヲシ、議會ガ賛成スルト云フヤウナコトハ、私ハ今日決シテスベキモノデハアルマイト思フ、斯様ナ考デアリマス、又御説ノ通り三十人以下ノモノデハ企業者トシテ此法律ノ負擔ニ堪ヘラレナイト云フコトモ御尤モデアリマス、負擔ニ堪ヘラレヌ所ノモノヲ法律デ負擔サセルナラバ、小サイ工場ハ潰レ

テシマヒマセウ、ダカラ三十人以上ニシタノハハ已ムヲ得ヌカラ一時逃レニシマスガ、今一度能ク考ヘテ見ルナラバ、負擔ノ出來ナイ者ニサセレバ、小工業ハ潰レテシマフカラ負擔ハサセナイ、併シ一方ニハ勞働者モ保護シナケレバナラヌ、其負擔ノ方法ニ付テハ漸進主義デ行ク、或ハ此法律デナクテ、何カ他ノ方法、外ノ手段ニ於テ代ルベキ所ノ……此法ヲ實行スレバ、企業者ガ負擔ニ堪ヘズシテ潰レテシマフ、又サウカト言ッテ、三十人ヲ「オミット」スルナラバ、勞働者ヲ保護シナイカラ勞働者ト云フ者ハ實際ニ可哀相ダ、ノミナラズソレガ不平不滿ダト云フコトデアルナラバ、小サイ工業モ潰レテシマヒマセウ、ソレニ依ッテ三十人以下ノ者ニハ漸進主義デ他ノ方法、斯ウ云フ方法デ、或ハ條項ヲ設ケテ、ソレニ依ッテ之ヲ救済スルト云フ途ガ立ッテ居ナケレバ、此法律ト云フモノハ完全デヤナイト私ハ思フ、恐ラク社會局ト雖モ其御考ガナクテハナラヌト思フノデスガ、

アナタ方ハ、所謂企業家ニ同意シテ、負擔ニ堪ヘルダケノコトヲシテ、アトハ職工ハ構ハナイト云フカ、職工ヲ保護シテ企業ガ潰レテモ構ハヌト云フ極端ナ議論ヂヤアルマイ、必ズサウ云フ風ニサレル所ノ御意見

ガアツタニ相違ナイ、ドチラニ偏シテモイケンナイノデ、茲ニ現ハレタ方針ト云フモノハ社會局ノ御眞意ヂヤアルマイト思ヒマスガ、果シテドウデアリマスカ

○廣瀨政府委員 三十人未滿ノ職工ノ保護ト云フコトニ付キマシテモ、御説ノ通り私共モ全ク其通り考ヘテ居ルノデアリマス、但シ先程來申スヤウニ、事業主ノ負擔ト云フコトヲ考ヘマシテ、一般的ニ申スナラバ略三十人位ノ所デ切ラレテモ致方ナイト云フコトヲ——勞働者保護ノ見地カラ言ヘバ缺クル所ガアリマスケレドモ、一應三十人ト云フコトヲ以テ致シテ、適用範圍ヲ決メテ行ク、但シ尙ホ第三條ノヤウナ規定ヲ設ケテ置キマシテ、ヤハリ此種ノ施設ヲ三十人未滿ノ工場竝ニ鑛山ニモ漸次普及スルヤウナ機會ヲ作ッテ、サウシテ段々ニ是ガ一般ニ馴レテ參リマシテ、三十人未滿デモ實行シ得ルヤウニナリマスレバ、ソレハ又三十人未滿ノ工場鑛山ニモ實情ニ依ッテハ漸ヲ逐ウテ擴ゲテ行クト云フコトモ無論考ヘテ居ルノデアリマスガ、現在ノ實情ニ於キマシテ、洵ニ勞働者保護ト云フ立場カラ、遺憾デハアリマスルガ、三十人ト云フ程度デ決メルヨリ外致方ガナイト云フコトデ三十人ニ決メタノデアリマス

○飯塚委員 是ハ諄ク申スノデアリマセヌケレドモ、決メタノハ決メタデアリマセウガ、併シ御眞意ヲ聽キタイ、私ハ、三十人以上デナケレバ此法律ヲ實行スルニ付テ企業家ガ負擔ニ堪ヘナイカラ之ヲ決メタト云フコトハ、企業家ノ味方ニナッテ考ヘマスルナラバ、其通りデアリマス、而モ小工業ナラバ三十人以上デナケレバ負擔ニ堪ヘナイト云フナラバ、産業ノ見地カラ御決メニ

ナツタノハ結構デアリマスガ、併シ三十人以上ノ職工ニ付テ何處ニ考慮ヲ拂ッテアルカ、第三條ト云フモノガアリマシテモ、第三條ハ、サウ云フモノガアルナラバソレヲ許可シテヤル、若シ其人ノ爲ニナルコトナラ許可シテヤルト云フナラ、所謂日本ニ於テハ手當トカ何カヤッテ居リマス、ソレヲ其儘許可スレバ宜イ、法制化スル必要ハナイ譯デアル、法制化シテ職工ヲ保護スルト云フ意味ナラバ、此今アル所ノ條文ノ何處ニ保護スル眞意ガアリマスカ、三十人以下ノ職工ト云フモノハ見殺シニシテモ宜イト云フ御趣意ヨリ外ナイ、是ハ今日ノ仕事ヲシテ居ル所ノ所謂企業家ト云フモノハ、今新聞ナドで見マスルト、如何ニモ資本家トカ、企業家トカ云フモノハ、殘酷ナヤウニ書イテアリマス、勞働運動ヲ爲サツテ居ルオ方モ、

如何ニモ勞働者ノ意見ヲ知ラナイト言ヒマスガ、私ハ僅ナ小サイ工業ヲ營ンデ居リマス、併シ私ノ周圍ノ者ヲ、假令小工業ヲ營ンデ居ッテモ、自分ノ仕事ヲ盛ニスルノニハ、ドウシテモ自分ノ職工ヲ大事ニシテ、職工ヲ優待シテ共存共榮ノ考デ進マナケレバ、小工業ト云フモノハ成立ツモノデナイト云フコトダケハ能ク知ッテ居リマス

唯小サイモノハ負擔ノ程度ニ於テ、如何セン資力ガアリマセヌカラ、其コトヲ誠意ヲ以テ職工ニ能ク見セテ置キマスカラ、故ニ職工モ貧乏ナ所ニハ、小サイ設備ノ惡イ所ニモ、良ク服從シテ居ルノガ今日ノ實情デアリマス、其考ガナクテ何ニナル、ソコデ法制化スルナラバ、假令程度ノ點ハドウアツテモ、立法ヲ全部此通りニシナクテモ、何カソコニ職工ト云フモノニ國家ノ保護ガ及ブ所ノモノガナイト云フコトニナルト云フト、國家ガ如何ニモ三十人以下ノモノニ付テハ無慈悲ノヤウナ考ガアルト私ハ思フ、第三條ト云フモノヲ以テ決シテ是ハ救ハレマセヌ、アルナラバト云フ、アルナラバ幾ラデモ金ヲヤッデモ宜シイ、併シ少シモヤレナイモノガアッタラドウシマス、ヤレナイモノハ仕方ガナイ干死ンダラドウダ、斯ウ云フコトニナリマス、又一方ニハ小工業ト

云フモノヲサセルニ之ヲ一律ニスレバドウ
カト言ヘバ、若シ此事ヲ一律ニシマス
ルナラバ、大キイ所ノ工業家ハドンナ負擔
デモ耐ヘル、併シ小工業ト云フモノハ之ヲ
三十人ヲ十人ニスルト云フト負擔ニ耐ヘヌ
ト云フコトド潰レテシマウデセウ、ダカラハ
ハドウシデモ一律ニスルコトハ出來ナイト
云フノハ政府ノ御考ノ通りデアリマス、併
ナガラ今一ツ考究シテ貰ヒタイノハ、三十
人以下ノモノニハ此法律ノ負擔ヲ掛ケナイ
ト言ハレテ、小工業ヲ營ム所ノ企業主ガ決
シテ喜ンデ居リマセヌ、勞働者ハ勿論不平
不滿、企業主モ決シテ喜ンデ居ラス、俺ハ
三十人ダカラ肩身ガ狭クテ職工ノ前ニ頭
ガ上ラス、オ前ガ五十人ノ所ニ行ケバ國家
ノ保護ガ受ケラレル、然ルニ俺ノ所ニ居ル
爲ニ受ケラレナイト云フコトハ、氣ノ毒ダ
ト思ヒマスカラ、仕方ガナケレバ今度ハ無
理デモソレニ金ヲ出シテヤルコトモアリマ
セウ、又片方ノ職工モ、此處ニ居ルカラ保
護ヲ受ケラレナイト云フコトカラ、他ニ行
クコトニナリマス、サウスルト三十人以下
ノ小工場ト云フモノハ皆潰レテシマヒマ
ス、此實情ハ能ク……小工業ヲ營ンデ居ル
所ノ桐生、足利、伊勢崎其他製絲業ノ如キ
モノハ、工場ハ大キイケレドモ其内情ト云

フモノハソレ程デハアリマセヌ、サウシテ
職工ノ不平不滿バカリデヤナイ、職工ハ壓
迫シテモ壓迫ハ出來マセウ、ケレドモ工場
主ヲ壓迫シテモ……壓迫デヤアリマセヌケ
レドモ、ソレヲ喜ブモノデアリマセヌ、三
十人ニシテ吳レタカラ宜カッタ、五十人ニシ
テ吳レタカラ宜カッタと思フヤウナ心掛デ、
今日企業家ガ小工業ヲ營ンデ行クヤウナコ
トハ出來マセヌ、小工業ト云フモノハ性質
上三十人ガ小工業ニナルモノデハナイ、又
幾ラ資本ヲ持ッテ居デモ、性質上縮スル者
モアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、
其人ノ心持ハ、所謂資本家ノ走狗ニナッテ
居ルトカ、或ハ全產聯ノ何ダト云フヤウナ
コトヲ言ヒマスケレドモ、實際ソレハ全部
ト云フ譯デヤアリマセヌ、小工業者ノソコ
ノ所ノ思想ナリ、何ナリヲ「リード」スル所
ノ重ナル思想ト云フモノハ、決シテソナ
モノデナイト云フコトダケハ御認メニナッ
テ居リマスカ、御認メニナッテ居リマセヌカ
御話シテ願ヒマス

決メマス場合ニハ、ヤハリ先程來申上ゲタ
ヤウナ事情デ決メタノデアリマス、ケレド
モ決シテハ小工場主ノ心持ヲ私共ガ惡イ
意味ニ解釋スルト云フヤウナコトハ全然ナ
イノデアリマス、其點ハサウ云フ風ニ御酌
取ヲ願ヒタイと思ヒマス

○飯塚委員 第一條ノコトハ諄イヤウデア
リマスガ、只今サウ云フ事情デ決メタト仰
シヤイマスガ、苟モ國家ガ立法ヲシテ勞働
者ヲ保護シヨウト云フコトデアラバ、
ドウ云フ事情デアルニモセヨ、眞ニ國家ガ
勞働者ヲ保護シヨウト云フナラバ、ドウ云
フ事情デモ、其事情ト云フモノガ私ニハ分
リマセヌガ、小工場ニ居ル所ノ多クノ職工
ハ之ヲ保護シナクテモ宜イト云フ事情ハ何
處ニアリマスカ、又企業主ニ負擔力ガナイ
ト云フナラバ職工ト云フモノ、考ヲ「オミッ
ト」シテ居ルコトニナル、苟モ社會立法デア
ル此法律ニ於テハ、勞働者モ大切デアル、
又企業モ大切デアル、一般勞働者ヲ保護シ
其企業主ヲ無視スルヤウナコトガアッテハ
ナラナイ、又企業主ヲ保護スルガ爲ニ勞働
者ト云フモノヲ壓迫シテハナラナイト云フ
コトハ、是ハ同一ノモノデアリマス、然ル
ニドウ云フ事情ガアツカ知レマセヌガ、此
事業ノ方ニ重キヲ置イテ職工ノ方ニ重キヲ

置カナイト云フコトハ社會立法ノ趣意デハ
アリマスマイ、是ガ若シ株主總會カ何カナ
ラバ、別デアリマスケレドモ、苟モ内務省
ガ此社會立法ヲスル時ニハ、勞働者ト云フ
モノガ日本ニ於テ國ノ最モ中心ヲ成ス一番
大切ナモノデアルト云フコトヲ御考ニナラ
ナケレバナラヌ管デアル、之ヲ小サイ企業
家ニ屬スル勞働者ヲ何ト御考ニナッテ居ラ
レルカ、職工デアッテ職工デナイト見ルナラ
バ別デアル、私ニハドウモ分ラナイ、近頃
新聞ヲ見マスルト、如何ニモ勞働者ト云フ
モノヲ考ヘナイ者ガ資本家ダと思ッテ居ル
人多イラシイ、而モ又大キイ資本家ハ私
ハ分リマセヌ、小サイ工業ニ屬スル私ノ心
持、又兩毛ノ如キ桐生、足利、伊勢崎、其
他製絲ト云フヤウナモノニ付テハ私自身
ヤッテ居リマスガ、サウ云フ考ハアルドロ
デハナイ、職工ヲ虐ゲテ、自分ガ負擔ヲ遁
レサヘスレバ宜イト云フヤウナ考デ、今日
小工業ヲ營メルモノデヤナイ、是ハ全部ト
ハ申シマセヌ、併シ其土地ヲ「リード」スル
所ノ人ノ考ハ——ソレハ桐生デモ、足利デ
モ、伊勢崎デモ、或ハ前橋、何處デモ宜シイ、
小工業ノ盛ナ所ノ、而モ女子供ヲ澤山使ッテ
居ル所ノ工場主ノ念ト云フモノハ、ソナ
考デ事業ヲ經營シテ居ル者ハ一人モナイ、

ツシナ考デハ事業ナント云フモノハ出来マセヌ、然ルニ政府ノ立法ヲ見ルト、如何ニモ事業主ヲ重ク見テ、職工ヲ重ク見ナイト云フヤウナコトニナッテ居ルコトハ、是ハ事業主ヲ助ケル御考デアルカモ知レマセヌガ、ソレデハ事業主ヲ助ケルコトハ出来マセヌ、若シ之ヲ實行スルナラバ、小工業云フモノハ全ク絶滅シテシマフ、此小工業ガ絶滅スルト云フコトニナッテハ、三十人以下ノ職工ハ不平不満ニ堪ヘマスマイ、其不平不満ノ者ヲ自分ノ家ノ職工ニ使ッテ、其業務ヲ繁榮スルト云フコトハナイ筈デアアル、況ンヤ此企業主ト云フモノハ、金ノアル人ハ此三條ニ依ッデドウニデモスル、併シ若シ大キイモノデモ何デモ法制化シナイデ、今マデノヤウデアアルナラバ、ソレハ仕方ナイケレドモ、今日法制化シテ其保護ヲ普及サセルト云フコトノ名目ヲ取ッテ、職工ニ重キヲ置カナイト云フコトハ、私ハ不可思議ニ思フ、是ハ勞働者モ非常ニ不満デアリ、又企業主モ非常ニ不満デアアル、國家ガ小工業ヲ絶滅サセルト云フ御考デアアルナラバ、是ハ別問題デアアル、所謂大資本家ト云フノガアッテ、小工業ガ潰サレ、大工業ニ統一スルト云フ意見モアッタデアリマセウ、併シ日本ノ現状デハ小工業ハ大工業ト竝立サセナ

ケレバナラヌト云フコトガ輿論デアアルナラバ、小工業ヲ潰セ、又勞働者ガソシナ中ニ居ルカライカヌ、サツサトオ前ハ其處ヲ退職シテ、此方ヘ來イト云フコトハ言ヘバ言ヘルデアリマセウガ、私ハ其眞意ガ分リマセヌ、此法律ニ依ッテ三十人以下モ入レルコトガ出来ナイカ、其御意見ガアルカナイカ、若シ途ガアルナラバ、三十人以下ノ小工業デモ職工ヲ國家ノ力ニ依ッテ保護スル、其程度ハ色々アリマセウ、又色々ナ方法ニ依ッテヤルコトガ出来マス、ソレヲシナイト云フコトハ職工ノ不平ヲ招キ、又小工業ヲ營ム者ニ非常ナ不満ヲ懷カセルト云フ御察シガアリマスカ、其點ヲ御伺致シマス

○廣瀨政府委員 三十人未満ノ所ガ抜ケテ居リマシテ甚ダ遺憾デアリマスガ、是ハ先程來申上ゲタヤウニ、産業ノ壓迫、中小工業ニ對スル經濟的ナ壓迫ヲ避ケルト云フ爲ニ職工ノ保護、産業ノ保護トヲ相伴ハシメル、竝立サセテ行カウト云フ爲ニ、已ムヲ得ズ三十人ト云フコトニ致シタノデアリマス、斯ウ云フコトニ依ッテ却テ小工場等ガ非常ニ困ツタ事情ニナルト云フ御説デアリマスガ、其點ニ付テモ成程職工ノ不平等モアラウト思ヒマスガ、ヤハリ産業ノ保護ト云フコトヲ考ヘマスト、ドウモ已ムヲ得ナイ

ノデアリマス、工場法等ニ於キマシテモ、十人以上ノ工場ニ適用スルト云フコトニナッテ居リマシテ、ヤハリ小工場ニハ適用ガナイト云フ事情ニモナッテ居リマス、ヤハリ産業ノ經濟負擔ヲ考ヘマスト、此程度デ致スヨリドウモ方法ガナイノデアリマス、サウ云フヤウナ事情デアリマス

○飯塚委員 政府ノ答辯ハ少シモ要領ヲ得テ居リマセヌ、サウ云フ御察シガナイト云フコトヲ世間ニ發表致シマシテ、ソレデ内務省トシテ大キイ顔ガ出来マセウカ、三十人以上ノ工場ヲ保護スルト云フコトハ、企業者ヲ保護スルト云フコトデアリマス、ソレハ企業者ノ方カラ言ヘバ喜ブト云フ御考ガアルカモ知レマセヌガ、決シテ喜バナイノデアアル、苟モ國家デ法制化スル、所謂普遍的ニ保護スルト云フ法律ヲ出シナガラ、三十人以下ノ職工ヲ有シテ居ル爲ニ、自分ノ所ノ職工ガ保護サレナイト云フコトデ喜ブ企業者ガアルト思ヒマスガ、ソレデ此企業者ヲ保護スルト云フ御考ハナイノデセウ、保護ヲスルト云ッテ、不平ヲ起サセルノデハ保護ニナリマスガ、方法ハ別デアリマスガ、此方法ニ依ッテサウ云フコトハ出来ナイデアリマセウ、併シ何カノ方法ニ依ッテ勞働者モ満足スル、負擔ヲ輕クスルト云フ

考ガアルナラバ、是ハ別デアリマスガ、方法ガナクシテ、マア已ムヲ得ナイ、斯ウダスウダト云フヤウナソシナコトヲ言ッテ居テハ、此法律ハ要ラナイ、法制化スル、普遍化スルト云フコトニナラナイ、法制化スルト云フノハ最低ノ限度デ致シテ置クナラバ、私ハ宜イダラウト思フ、ソレナラバ宜シイ、工場法トハ違ヒマス、工場法ト云フモノハ、全ク若イ職工ヲ保護スルト云フ規定ナノデアリマス、又工場主ノ負擔モアリマセウ、漸ヲ追ウテ此處マデ來タ歴史モアリマセウ、併シ工場法ヲ施行シタ時ト今度トハ全ク事情ガ違ッテ居リマス、工場法ヲ初メテ施行シテカラ、其後二十年經ッテ居ル、ソレヲ今日ヤハリアノ法ガト云フコトデヤルト云フコトハ、アレハ若イ子供トカ、何トカ云フヤウナモノヲ保護スルモノデアリマス、所謂幼年職工ト云フヤウナ、第二ノ國民タル者ノ衛生其他ノコトヲ考ヘ、第二ノ國民ヲ傷ケテハナラヌト云フノガ本當ノ趣意デアルト思フ、故ニ衛生設備、或ハ危険防止ト云フコトニ重キヲ置イテ居ル、是ハ老後ノ退職手當、退職金ト云フヤウナモノデ全ク性質ノ違ッタモノデアアル、工場法デヤッテ居ルカラト言ッテ、違ッテ居ルモノヲ是

デヤル、モウ既ニ今日ノ時代ニ於テハ職工
ト云フモノハ國家産業上重ンズベキモノデ
アッデ、彼等ノ生活ノ安定ヲサシタイト云フ
ノデ此法ヲ出シタノデハナイカ、ソレナラ
バ今日ハ之ヲ法制化シテ日本ノ職工ハ一人
タリトモ其所ヲ得セシメナイヤウナコトノ
ナイヤウニスルノガ、私ハ立法ノ理想デア
ルト思ヒマス、然ルニ三十人ト云フモノ
ヲ出シテ——先日内務省カラ出シタモノデ
ハ是ダケノモノハ五十人ニナル、五十人ニ
スルト云フコトデ私共ガ喜ブト思ヒマス
カ、ソレハ此法律ニアリマスガ、主務大臣
ガ事業ノ種類ニ依ッテ之ヲ適用シナイト云
フコトハ分ッテ居リマス、ソレヲ私ハ問フノ
デハナイ、唯範圍ヲ決メルト云フコトハ三
十人ヲ五十人ニスル、百人ニスルト云フコ
トハ、今ノ説明カラ見マス、企業者ノ負
擔力、負擔ニ堪ヘラレナイカラ、段々縮小
セシメルノダト言フガ、縮小シタコトガ是
ガ日本ノ労働者及ビ産業ノドチラカニ利益
ヲ齎スト考ヘテ居レバソレハ大變ナ間違デ
アル、職工ハ三十人デモ不平デス、五十人
ニナッたら尙ホ不平デス、サウ云フコトハ私
ハ説明ヲシマセヌケレドモ、能ク御察シガ
アルコトダト思フガ、サウ云フ御察シガナ
イカラ、私ノ地方ノヤウナ小工業ニ從事シ

テ居ル者ハ大變ナ不平デス、桐生、足利ノ
者ハ——此法ノ適用ヲ受ケナイカラト言ッ
テ、兩毛地方ノ職工ト云フモノハ満足ヲ致
シテ居リマセヌ、尙ホ企業家ガ満足シテ居
ルカト言ヘバ、企業家モ満足シテ居リマセ
ヌ

〔委員長退席、齋藤委員長代理著席〕

セメテ自分ハ國家ノ保護ヲ受ケル所ノ工場
主ニナリタイ、コンナ小サイ事業デ恥シイ
ト云フノダラウガ、苟モ小サイ工業デモ大
キイ工業デモ決シテ恥シクナイ、ソレカラ
負擔ガ出來ナイカラト云フコトヲ御察シニ
ナッデ、之ヲ「オミット」シテシマフト云フコ
トハ非常ニ宜クナイト考ヘテ居ル、若シ負
擔ガ出來ナイナラバ、ソレハ他ノ方法ニ依ッ
テ負擔スルト云フコトモ私ハ御考ニナラナ
ケレバナラスト思フ、此處ニハ労働問題ニ
付テ非常ニ熱心ナ方ガアリ、又産業ノ立場
ニ立ッテ居ル御方モ居ラレマスガ、私ノ所
論ニ反對デハアルマイト思フ、全國津浦
浦ノ職工、工場主ト云フモノハ全部サウ云
フ考ヲ持ッテ居ルト思フ、ソレガ今日日本ノ
民意デアル、此法ニ於テハ其御考ガアルカ
ナイカト云フコトヲ伺ヒタイ、誠意ヲ以テ
御答辯ヲ願ヒタイ

○赤松政府委員 縷々御意見ヲ拜聴致シマ

シテ、洵ニ御尤ト存ズルノデアリマス、本
案ノ立前ガ事業主ト労働者トノ協力ニ依リ
マシテ、彼等ノ生活ノ安定ヲ出來ルダケ求
メ、ソレニ依ッテ産業ノ健全ナル發達ヲ圖
ラウト云フ根本ノ立前カラ出發致シテ居ル
ノデ、隨ヒマシテ三十人以下ノモノニ付キ
マシテハ、一應事業ノ基礎ニ影響ヲ與ヘル
ヤウナ虞ガアルカラ、其點ニ付キマシテハ、
労働者モ事業ヲ盛ナラシメル爲ニ協力シテ
行クト云フ根本ノ精神ノ上ヨリ一應除外致
スノモ已ムヲ得ナイ、我慢ヲシテ貰ハナケ
レバナラスト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリ
マス、是ハ御説ノ如ク他ノ方面カラ考ヘマ
スレバ労働者保護ノ爲ニハ、一人モ洩ラサ
ズ其恩典ノ行キマスヤウニ計ヒマスコト
モ、一ツノ勿論方法デアルト思ヒマスガ、
唯本案ノ立前ガ事業主、労働者ノ協力ニ依ッ
テ是等ノ労働者ノ生活ノ安定ヲ圖ラウト欲
スル一ツノ方法ヲ執ッテ居リマス、隨ヒマ
シテ事業主ノ事業其モノノ負擔能力ト云フ
コトモ考ヘマシテ、三十人ヲ以テ一應打切ッ
タ譯デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○飯塚委員 イヤ此案ニ付テノ説明ヲ聽イ

コトガアルカト云フコトガ第一ノ問題デス、
ソレデアリマスカラ私ハ幾度モ言ヒマス、
此案デハ出來ナイデアラウ、此案デハ三十
人以下トシナケレバ小工業ハ負擔ニ堪ヘラ
レナイデアラウ、斯ウ御認メニナッタノダ
ラウト思ヒマス、ソレモ能ク分ッテ居リマ
ス、又三十人以下ハ已ムヲ得ナイト云フコ
トモ能ク分ッテ居リマス、併シソレガ正鵠ヲ
得テ居ルカ居ナイカト云フコトヲ私ハ質問
スルノデアリマス、私ノ言フノハ、三十人
以下ノ工場ノ者ガ不平ヲ持ツト云フコ
トハ、是ハ分ッテ居リマス、他ノモノハ國家
ノ保護ヲ受ケル、三十人以下ノ工場ニ居ル
ガ爲ニ保護ヲ受ケナイト云ッたら、三十人以
下ノモノハソコニ不平ヲ持チマス、併シ職
工ノ不平ト云フモノハマダ忍ブベシ、已ム
ヲ得ナイ、斯ウ政府デ見ラレデモ、ソレデ
企業者ガ喜ブト考ヘ、負擔ガ輕クナッテ宜
カッタト思フヤウナ、ソシナ時代デハアリ
マセヌ、ソシナコトデ小工業ヲ營ムモノデ
ハアリマセヌ、今ヨリ三十年モ前ニハアッ
タカモ知レナイガ、今日ハソシナコトハア
リマセヌ、恐ラク小サイ工場デモ、金持ノ
隠居サンガヤッテ居ル工場ナラ優待シマセ
ウ、サウ云フ所モアリマスケレドモ、ソレ
ハ國家ノ保護デハアリマセヌ、法制化ノ保

護ニ依ッテヤッテ居ルノデハアリマセヌ、此第三條ハ何ノ爲ニアルカ、要ラザル御世話デアラウト思ヒマス、デスカラソレヲ言フノデアリマス、唯國家ノ保護ト云フモノガ加ハルト加ハラヌト云フノデ、其職工ト云フモノモ不平デアル、又企業主モ俺ノ所ニ居ルカラ、三十人以下ダカラ洵ニ不平不滿ガアルト察スルケレドモ、併シ職工ガ不平不滿デ、其不平不滿ノ職工ヲ使ッテ、ドウシテ工場ガ盛ニナル理由ガアルカト云フコトハ御分リデアリマセウ、一律一體ニ保護スルナラバソレハ皆宜イケレドモ、自分ノ所ニ居ル爲ニ、工場労働者ガ不平ダト云フナラバ、其不平ノ工場労働者ヲ使ッテ、ドウシテ産業ト云フモノガ盛ニナリマスカ、負擔ニ堪ヘラレナイトカ、堪ヘルト云フコトノ限度カラ言フナラバ、三十人デアリマスケレドモ、工場主ノ心ヲ察スルナラバ、ドウシテモサウ云フ不平不滿ヲ起サセテハ事業ガ繁榮シナイカラ、工場主モ此法律ヲ喜ビマセヌ、デスカラ共ニ此職工ヲ満足サセルヤウナ方法ヲ立デテ貰ハナケレバ、中小工業ノ企業家ト云フモノハ喜バナイト私ハ思フ、サウ云フ御察シヲ下サルヤウナコトハナイノデスカ、ソレハ私共ダケカモ知レマセヌガ、桐生トカ關東ノ纖維

工業、製絲工業ノ實情ト云フモノハ皆サウデアリマス、負擔ガ免レタカラ喜ブト云フ企業家ハ決シテアリマセヌ、負擔ヲ免レテ一時ハソレデ済ミマスガ、ソレガ小工業ト云フモノヲ永遠ニ盛ニスルモノデナイト云フコトダケハ、政府ノ賢明ナル御方ハ御分リデアラウト思フ、私ハ此觀念ト云フモノハ、労働運動ヲ爲サル方デモダナタデモ一致シタ考デアラウト思フ、今日労働者ヲ犠牲ニシテ負擔ガ輕クナッタカラト云ッテ喜ンデ居ル人ハ決シテアリマセヌ、ソコヲ法制化スルナラバ、能ク今日ノ事情ヲ察シテヤルナラバ、私ハ何々ノ事情デ已ムヲ得ズナドト云フコトハアル筈ハナイト思フ、已ムヲ得ズト云フコトデアルナラバ、一人二人デハ是ハ家族ニナッテ居ルカ、或ハ職工ニナッテ居ルカ分ラヌガ、苟モ工場トシテ職工ト認メラルル程度ノモノニ至ッテハ、全國一般ニ其御考ガ普遍的ニ行ッテ居ナケレバナラヌ、保護ノ程度ハ別デアリマス、此保護デヤレト言フコトハ出來マセヌケレドモ、其考デ立案シテヤラナケレバナラヌ、此法デハ三十人以上ニシタ、併シ三十人以下ノ職工ハ斯ウ云フ途ニ依ッテ保護ノ普遍ヲ圖ル積リダト云フナラバ、私ハソレデモ宜シイ、三十人以下ノ職工ヲ使ッテ居ルモ

ノハ、ソレハドウモ仕方ガナイ、斯ウ云フコトニスルト云フコトハ、苟モ内務省邊リデハ御考ガ違フノデハナイカト思フ、況ヤ實際ノ實業界ニ於キマシテハ、中小工業ノ盛ナ兩毛地方ノ企業家ハ、ソナ頭ハ決シテアリマセヌ、若シソナ頭ガアルナラバ、アノ地方ニ於テ中小工業ト云フモノヲ盛ニスルコトハ出來ナイ筈デアリマス、自分サヘ良ケレバ宜イト云フヤウナ考デ、職工ノコトヲ考ヘナイ者ハナイ、職工ノコトヲ考ヘルト云フノハドウ云フコトデアルカ、職工ヲ能ク優待シ、能ク保護ヲ與ヘテヤルト云フコトガ自分ノ企業ガ盛ニナル所以デアル、共存共榮デナケレバナラヌト云フコトハ、今日デハ能ク知ッテ居ル、ソレデアルカラ今日盛ニナッテ居ル、然ルニ片方ハ仕方ガナイ、負擔ガ輕クナッタカラ喜ブナドト云フヤウナ、共存共榮ニ反スルヤウナ精神ヲ小工業者ガ持ッテ居ルト御考ニナッタ大變違ヒマス、此立法ハソレデ宜シイト御考デアリマスカ、社會局ニ於テハ今日ノ事情カラドウ御考ニナッテ居リマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 私共モヤハリ事業主ガ皆労働者ト共ニ共存共榮ノコトヲ考ヘテ居ラレルト云フコトハ、能ク承知シテ居リマス、隨ヒマシテ三十人以下ダカラ適用以外ニナリマシタコトヲ、事業主ガ負擔ヲ免レタカラ喜ブト云フ工合ニハ考ヘテ居リマセヌ、唯立法致シマス上ニ於テ産業保護ト職工保護、此兩者ノ見地カラ見テモ三十人ト云フコトニ決メルヨリ致シ方アリマセヌノデ、三十人ト云フコトニ決メタ譯デアリマス

○飯塚委員 是ハ執拗イヤウデアリマスケレドモ大問題ダト思ヒマス、是ガ爲ニ日本ノ中小工業ガ潰滅ヲ來スヤウナコトガアリマシタラ、由々シキ大事デアルト私ハ思フ、アナタ方ハ已ムヲ得ズト言ハレル、第三條デ共存共榮ノ實ヲ舉ゲル、是ハ法制化デハアリマセヌ、今日サウ云フコトガナクテモ共存共榮ノ實ヲ出來ルダケ學ガテ居ル、ソレヲ法制化スルト云フニハ普遍的ニシナケレバナラヌ、苟モ職工タルモノニ付テハ——或ル事業、或ルモノニ依ッテハ所謂普遍的ニ行キマスマイ、例ヘバ第十七條ノ如キ利益ノアルモノハ澤山貰フ、利益ノナイ者ハ少クスル、是モ已ムヲ得マスマイ、併シ法制ハドウシテモ私ハ普遍的ニヤラナケレバナラヌト思フ、然ルニ事業主ノ喜バナイヤウナコトヲシテ、ソレヲ喜ブダラウト御考ニナッテ居ルノガ間違デアル、何トナレバ

先日配付サレタ所ノ一部適用ヲ免レルト云フモノハ、誰ガ五十人以下ニサレテ織物業者ガ喜ブデアラウカ、製絲業者ガ喜ブデアラウカ、決シテ喜ビマセヌ、保護ヲ受ケナイノニ、負擔ヲ免レタト云フテ喜ブノハ、ソレハ馬鹿ノ企業家デアル、今日大多數ノ企業家ト云フモノハソナコトデ喜ブモノデアリマセヌ、小工業ニ従事スル者ダカラ馬鹿バカリ居ルト云フ譯デハアリマセヌ、我利々々屋バカリ居ルト云フ譯デハアリマセヌ、其土地ノ事情ガ商工業ヲ以テ立ツナラバ、其土地ノ商工業ヲ盛ナラシメル、ソコヲ「リード」スルニハサウ云フ頭デ「リード」スル、我利々々デスル譯デハアリマセヌ、ソレデスカラ負擔ヲ輕カラシメルト云フコトガ非常ニ惡イ、アナタ方ノ色々ノ御相談ノ結果、ソレヨリ仕方ガナカッタト云フコトハ私認メル、相談ノ結果アチラモ反對、コチラモ反對デ、ドウモ仕方ガナイカラ中ヲ採ッテ三十人ニ已ムヲ得ズヤッタト云フコトハ分リマス、併シ今日モ本會議デ庶政一新ト云フコトヲ言ヒマスガ、サウ云フ風ニ妥協ヲシテ、洵ニ仕方ガナイカラ半分ニシテヤレト云フコトデ勞働立法ヲ決メルコトハ甚ダイカヌト思フ、其案ヲ能クアナタ方ノ頭デドウシタラ宜イ、三十人ニシ

ナケレバ負擔ガ困ル、又負擔ニ構ハナイナラバ職工ヲ保護スル、之ヲ調和スルノ途ハドウシタラ宜イダラウト云フ考ハ何デアルカ、何デモナイ事業主ト職工ダケデ以テ、前ニドナタカラカ言ハレマシタガ、其他ノ者ニハ少シモ金ヲ出サセナイデ、二人ノ間デヤラセルニドウシタラ宜イカト言ヘバ、一方ヲ立テレバ片方ガ立タズ、双方立テレバ案ガ立タナクナッデシマフ、斯ウ云フコトデ稍々双方ヲ立テテアルガ、併ナガラ將來ヲ考ヘルト私ノ言フヤウナコトニシナケレバナラヌト思フ、今日ノハ職工ヲ立テヨウトスレバ企業家ガ潰レル、企業家ヲ立テヨウトスレバ職工ガ立タナイ、斯ウ云フ案デアリマス、ソナ案ナラバ誰ニモ私ハ出來ララウト思フ、今日賢明ナル諸君ニ、依ッテ此案ガ出來ナイト云フコトハナイダラウト思フ、何か其他ノ方法デ双方納得スル所ノ案ガ立タナケレバナラヌ、而モ漸進主義デ宜シイ、一概ニ此法ヲ適用シナクテモ、漸進主義デソコマデ保護ノ手ガ及ンデ居ルト云フ所ノ案ガ出來ナケレバ、私ハ之ヲ普遍化スルノ、法制化スルノト云フヤウナ宣言ト相反スルト思フ、アナタ方ハ是デ遺憾ノ點ハナイノデスカ、遺憾ノ點ガアッテモ萬已ムヲ得ナイト御考デアリマスカ、

其點ダケ伺ッテ置キマス

○廣瀨政府委員 三十人未滿ノ職工ニ對シマシテモ、出來ルコトナラサウ云フ風ニ保護シタイノデアリマスガ、先程來申シマシタヤウナ産業保護ト職工保護ノ兩者ノ立前カラ、斯ノ如キ三十人ト云フ所ニ決定致シタノデアリマスガ、併シ段々第三條ノ規定等ノ普及ニ依リマシテ、是ガ三十人未滿ノ工場ノ方ニ迄行テ參ルヤウニ努力モシテ見タイト思ッテ居リマス、隨ヒマシテ現在三十人未滿ノ方ニ及ンデ行カナイノハ遺憾ト思ッテ居リマスケレドモ、今別ニ之ニ對シテ斯ウ云フ方法ト云フコトヲ申上ゲル譯ニ參ラスノデアリマス

○飯塚委員 私ハ此點ニ付テ深く申シマセヌガ、併シ段々ノ御返答デ此案ハ職工ニ對シテハ遺憾ダト云フコトノ御言明ガアッタノデアリマス、併シテ今ノ所持合セノ案ガナイト云フコトデアリマス、今一ツニハ私ハ産業保護ト云フコトヲ力説シマス、三十人以上ノモノニ範圍ヲ制限シタト云フコトハ、産業保護ニナラヌト云フコトヲ申シマス、其點若シ御納得ガナケレバ私ハ何處マデモ力説シマス、其點ニ付デアナタ方ハ御察シ願ヘルカ願ヘナイカト云フコトヲ聞キタイ、三十人以下ヲ除外シテモ、五十人ニ

シテモ何レニシテモ事業主ハ喜バナイト私ハ申シタ、ソナコトデ不平未滿ノ職工ヲ使ッテ居テ業務ト云フモノガ發達スルト思ッテ居ナイノハ明カデアリマス、此保護ノナイ不平未滿ノ職工ヲ使ッテ喜ブ企業家ハナイ、其不平ガアルト云フ點ニ付テ當局ハ遺憾ニ思ッテ居ルカ居ナイカ、其事ヲ最後ニ伺ヒタイ

○赤松政府委員 事業主ニ於テモ、勞働者ニ於テモ、サウ云フ場合ニ於テハ満足致サナイダラウト思ヒマス、併ナガラ兩者相共ニ力ヲ合セテ事業ノ發展シテ行クヤウニシタイト希望シテ居リマス

○飯塚委員 甚シイコトデアリマス、大キイ企業家ハ緒テ措イデ、小サイ企業家、國家デ保護シナケレバナラナイ者ハ御互ニ共存共榮ヲ圖レト言ッタ所デ圖レナイノガ今日ノ實情デアリマセウ、大キイモノバカリヲ保護シテ、小サイモノハ御互ニ共存共榮ヲ圖レト言ヒマスガ、ソレハ金ノアル大キイ工場ニハ出來ルデセウガ、小サイモノニハ出來ルモノデヤナイ、小サイモノノ中ニハ職工ヲ虐使シテモ宜イト思ッテ居ルモノガアリマス、サウ云フヤウナモノガアルカラ、尙更ニハ立法化、法制化サレナケレバナナルマイト思フ、然ルニ上ハ法制デ保護シ、下

ハ協力シテ行ケト云フ、サウ云フ觀念デ律
スルコトハイカスト思ヒマス、アナタモ恐
ラク御察シハアルケレドモ、立法シテ手前
眞實ニ告白シナイト云フコトハ吾々ノ遺憾
トスル所デアリマス、殊ニ小サイ工場ヲ持ッ
テ居ル所ノ經營者モ勞働者モ不滿デス、此
不滿ナルコトヲ尙ホ抑ヘロト云フナラバ抑
ヘマセウ、併シ不平不滿ト云フコトハ、決
シテ抑ヘ切レナイモノデアルト云フコトダ
ケハ御承知願ヒタイと思ヒマス

次ニ今一ツ伺ヒタイノハ、第一條第二項デ

アリマス「主務大臣ハ事業ノ種類又ハ規模
ヲ限リ本法ノ適用ヲ除外スルコトヲ得」ト
アリマスガ、規模ヲ限ルト云フコトニ付テ
ハ昨日御配付ニナリマシタモノニ依ッテ、製
絲トカ何トカ云フモノニ付テハ、玆ニ五十
人トアルケレドモ、此ノ五十人マデニスル
ト云フコトハ能ク分リマシタ、併シ種類ト
云フコトハドウ云フコトデアリマセウカ、
例ヘバ工場法ヲ適用スル所ノモノノ中、鐵
工所モアリマセウシ、或ハ男バカリ居ル所
モアリマセウ、其種類ニハ織物業ト云フモ
ノモアリマセウ、撚絲業ト云フモノモアリ
マセウ、アレニハ織物業トアリマスガ、サ
ウ云フ羅列ヲシナイデ、所謂「種類又ハ規
模ヲ限リ」ト云フ此種類ハドウ云フモノデ

アルカ、一々例示スル必要ハナイ、恐ラク
ソレハ一寸考ヘテ書イタノデセウガ、ソ
ナニ例示シテ出シテモ何モナラナイ、斯ウ
云フ性質ノモノハ一部範圍ヲ挾メルトカ、
或ハ擴張スルトカ云フ其原則ヲ御示ニナレ
バソレ宜シイ、ア、云フヤウニ瑣瑣鐵器
ダトカ何トカ云フコトデハ分リマセヌ、原
則的ニ言ツテ貫ヒタイと思フ

○赤松政府委員 昨日ハ御手許ニ御廻シ致

シマシタ第二項除外ノ豫定ノ產業別種類、
アレデ相當具體的ニ分ッテ居リマス積リデ
アリマスガ、例ヘバ今御尋ノ如ク織物業ト
書イデアリマス中ニハ撚絲業モ含ンデ居リ
マス、是ハ從來織物業ト申シマス、分類
ノ中ノ一ツノ名目ニナッテ居リマス、其中ニ
撚絲業モ含ンデ居ルヤウニ解釋シテ居リマ
ス

○飯塚委員 是ハ後日非常ニ問題ヲ起スコ

トデアリマス、織物業ト言ッたり、撚絲業モ
含ンデ居ルト言ッたりナサルガ、ソレデヤ整
理業ハド デスカ、政府委員ハ能ク聞イテ
居テ戴キタイ、織物業ノ中ニ撚絲業ガ入ッ
テ居ルト言フナラバ、織物ノ整理業ハドウデ
スカ、或ハ捺染業ハドウデスカ、或ハ仲買
業ハドウナッテ居ルカ、是等ハ皆織物ニ關係
シテ居ルデアリマセヌカ、例示デハ本當

ニ分ラナイ、例示ダト案外レテシマフ、
入レヨウト政府ガ思フナラバ入レルダラウ
シ、入レマイト思フナラバ、無闇ニ政府ノ
考デ抜カシテシマフ、旨ク説得スルナラバ
除外モ出來ル、サウ云フコトデハ人ガ満足
致シマセヌ、斯ウ云フ種類ノモノハ全部除
外スル、ドウ云フ種類ノモノハ其範圍ヲ挾
メル、言換ヘテ見ルナラバ性質上退職手當
金ト云フヤウナモノヲ目的トシナイ所ノ職
工ヲ多ク使ッテ居ル工場ト云フモノハ之ヲ
除クトカ、或ハ今ノ所デハ三十人デアルケ
レドモ、今ノ狀態デハ三十人デハ工場經營
ニ付テ負擔ガ多過ギルカラ、其範圍ヲ狹メ
テ五十人ニスル、サウシテ負擔力ガ付イタ
ナラバ三十人ニスルトカ云フヤウニスル、
詰リ種類ト云フコトニナルト、其性質ニ依
ルダラウト思フ、ソレデ此範圍ト云フモノ
ハ負擔力カラ御考ニナッタモノダラウト、私
ハ解釋シテ居リマスガ、サウデヤアリマセ
ヌカ

○塚本委員 一寸私モソレニ關聯シテ御伺

シタイト思ヒマス、今塚本委員カラ段々ト
御尋ガアリマシタガ、ドノ業種ヲ入レルト
カ、入レナイトカ云フコトニ付テ明瞭デナ
イト云フコトデアリマシタガ、幸ヒ其御答
ヲ戴キマセヌ前ニ、私ノ所ニ電報ガ參リマ

シテ、是ハ名古屋地方ニ於ケル陶磁器工ノ
勞働者諸君デアリマスガ、退職資金法案ニ
付テハ吾々業者モ是非トモ其適用ノ範圍ニ
入レテ戴キヤウニ御願シタイト云フ電報ガ
參ッテ居リマスカラ、御考慮置キヲ願ッテ置
キマス

○赤松政府委員 只今私ノ御答致シマシタ

點ニ間違ヒガアリマスノデ、訂正シテ置キ
マス、昨日御手許ニ配付致シマシタ中ノ織
物業ノ中ニ撚絲業ハ別ニナッテ居リマス、織
物業ト申シマス、絹織物、綿織物、麻織
物、其他ノモノヲ含ンデ居リマシテ、ソレ
デ一應範圍ガ明確ニナッテ居ルト心得テ居
ルノデアリマス、撚絲業ニ付キマシテハ、
先程下ナタカラカ御質問ガアリマシテ、モ
ウ少シ慎重ニ考ヘサセテ戴キタイト云フコ
トヲ御答致シテ置キマシタ、是等ノ業態ニ
付キマシテハ、今日ニ於キマスル經營狀況、
其他カラシマシテ、五十人位マデハ一應適
用ノ外ニ置イタ方が實情ニ副フデアラウト
云フ見込ヲ有ッテ居ル種類ノモノデアリ
ス

○飯塚委員 ソレデスカ只今例示シタモ
ノデハ満足出來マセヌ、又例示シタ位ノコ
トデ此問題ヲ解決スルコトハ出來ナイ、唯、
原則トシテ斯ウ云フ種類ノモノハ範圍ニ適

用シナイ、斯ウ云フ種類ノモノハ業態ノ状況ニ依ッテ範圍ヲ狹メル、言ヒ換ヘテ言ヒマス、工場法ニモアルケレドモ、其中デ斯ウ云フ種類ノモノハ除外スル、茲ニ本法ヨリ除外スルコトヲ得ルトアル、除外スル必要ガナイナラバ仕方ガナイ、斯ウ云フ種類ノモノハ、三十人トシテアルノデスケレドモ、目下ノ所織物業、製絲業ト云フモノハ負擔ニ堪ヘラレナイカラ五十人以上トスルノダ、斯ウ云フコトノ例示ハ、原則ガ定ッテ居ルナラバ、私ハ言ヘルダラウト思フ、原則ガ決ラナイデ、今アナタガ製絲業モ入ッテ居リマス、ト云フヤウニ、立法シタ所ノアナタ方ガ間違ッ、タヤウナコトヲ言フ、役所ニ行ッテ聽イテ見テ……サウ云フ原則ヲ決メデ置クナラバ、果シテ原則ニ入ルカドウカト云フコトヲ自他共ニ考ヘル必要ガアル、例示ヲ以テ分ッテ居ルダラウト云フノハ違ッテ居ル、ドウ云フ種類ノモノハ除外スルコトヲ得、ドウ云フ種類ノモノハ範圍ヲ縮小スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ原則ヲ示シテ戴キタイ、例ヘバ製絲トカ——私ハ他ノ工場ハ知リマセヌガ、小サイ織物工場ト云フヤウナモノハ、是ハ他ノ工場ト性質ガ違ッテ居リマス、職工ガ來マスノニ、三年モ五年モソコニ居ルト云フヤウナ熟練職工

ハ、事實日本ノ纖維工場ニハ居リマセヌ、他ノ工場ト違ッテ、自分ノ娘ニ嫁入前ニ嫁入支度ヲサセタイ、或ハ親ニ仕送りシタイト云フノデ、何時マデモ勤ク氣持ハ少シモアリマセヌ、結婚マデハ行ッテ嫁イデ、親ニ仕送ッタリ、自分ノ「ポケットマネー」ヲ殖ヤス爲ニ働クノデアリマス、決シテソコデ一生職工トシテ働イテ、年寄ニナッテ追出サレテハ困ルト云フヤウナコトデハナイ、必ズ使フ女ハ嫁入前ノ者デ、自分ノ生活ハ嫁ニナッテ世帯ヲ持ツト云フノハ當リ前デアル、中ニハ獨身デ暮ス人モアリマスガ、大抵ハ同居デアル、サウ云フ勞働者ヲ主ニ使ッテ居ル工場ト、又假令十人以下デモ、自分ノ生活ノ基礎ヲ立テ、サウシテ老後ノ安心モ得タイト云フ所ノ職工モアリ、鐵工所ノ如キ一生職工ヲシテ、職工デ身ヲ立テタイト云フ考ノ者ガ職工ニ入ル所モアル、唯自分デ「ポケットマネー」ヲ殖ヤシテ、著物一枚著タイ——ト云フ氣持ノ爲ニ入ッテ來ル職工モアル、サウ云フモノヲ使ッテヤル所ノ工場、今日デハ製絲業トカ、纖維工業ト云フモノ、工場デハ、幾人使ッテ居ッテモ性質ガ違ッテ居ルデアラウト思ヒマス、ソレヲ一律一體ニスルト云フコトハ無理ガアル、併シソレヲ一律一體ニスルノダト云フナラバ、

是ハ職工デアリマスカラ、私ハ敢テ惡イト云フ意味デハナイケレドモ、併シ「主務大臣ハ事業ノ種類、又ハ規模」ト云フコトガアリマスカラ、ドウ云フ種類ガアルト云フコトヲ御認メニナッテ、ドウ云フ種類ガ適用シナイ種類ニ入りマスカ、規模ト云フモノハ負擔力カラ出テ居ル、三十人ト云フコトニ決メタイ、事業主ノ負擔ガ堪ヘラレヌカラト云フノデ三十人ニシタ、昨日配付サレタ五十人ト云フノモ恐ラクソレデアル、三十人デハ困ル、五十人ニスルナラバ宜カラウト云フ事業主ガアルデアラウト云フノデ、五十人ニサレタ、マルキリ今日ノ事情ヲ無視シテ居ル、實情ニ適シテ居ナイ御考デアル、此種類ト云フモノニ付テ……

○赤松政府委員 昨日御目ニ掛ケマシタノハ、事業ノ種類ニ依リマシテ致スノガ適當ナリト私共ガ只今ノ所デ見テ居ルモノデアリマス、何故ニア、云フ種類ヲ選ンダカト云フ標準ニ付テ、昨日モ質問ガアリマシタノデ、御答致シテ置キマシタノデアリマシタガ、主トシマシテ製絲業、紡績業、若クハ織物業等ヲ選ビマシタノハ、規模ト云フ點カラ申シマスレバ勿論負擔能力ト云フコトヲ考ヘマス同時ニ、其處ニ使ハレテ居リマス者ハ主トシテ婦人ガ多ウゴザイマス、隨テ勤績年數モ比較的少イ、退職手當ノ性質カラ申シマシテモ、先ヅ比較的重要性ガ——一生働イテ居リマス所ノ男子勞働者ヨリモ其意味ガ稍、輕イヤウナ意味モアリマス、サウ云フヤウナ關係等ヲ考慮致シマシテ、事業主ノ負擔能力ヲモ考慮スレバ、ソコラ邊モ除イテ宜カラウト考ヘテ、サウ云フ種類ノモノヲ除キマシタ、其他ノモノニ付キマシテハ、勿論男子ガ多ク使ハレテ居リマスモノモアリマス、併ナガラ是ハ主トシテ經濟、負擔能力ト云フ點ヲ考慮致シマシテ、五十人以下ノモノハ除カウト云フ考ヲ有ッテ居リマス、此種類ハ何レ省令ヲ以チマシテ、紡績業、織物業、製絲業、其他何々ト云フ風ニ、具體的ニ列舉致シマシテ、ソレニ依リマシテ、除外サルベキモノ、範圍ヲ明確ニ致ス積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○飯塚委員 私ノ言ヒマシタコトハ徹底シナイカモ知レマセヌガ、種類ト云フモノノデ範圍ヲ決メマスニハ、例ヘバ先刻申シマシタ通りニ、ソコニ一生職工トシテ生活ノ安定ヲ得タイト云フヤウナモノデナイ、婦女子ノヤウナ者ガ結婚前ニ行ッテチヨイト働イテ來ヨウ、越後カラ米搗ニ來ルト昔言ヒマシタガ、米搗バカリデハナイ、現在サウ云

フ所ガアリマシテ、他ノ所ハ仕事ガナイカ
ラ彼處ニ行ッテ働イテ來ヨウト云フノガ、
今日ハ纖維工業ニ多クアリマス、デアリマ
スカラ退職資金ヲ云々ト云フ考ハナイ、其
賃銀ニ依ッテ老後ノ生活ヲ安定シヨウナド

ト云フ考ノナイ職工ヲ使フ工場ト云フモノ
モアリマス、又如何ニ小サクテモ、自分ガ
鐵ノ機械工場ノ職工ニナッテ、終ヒニハ金持
ニナッテ企業主ニナラウト云フノハ別デス

ガ、併ナガラソレハ生活ノ安定ヲ得タイト
云フ者ヲ使ッテ居ル所ノ工場トハ自ラ性質
ガ違ヒマス、此工場ハ斯ウ云フ性質ガカラ

是ハ五十人ニナサルノダト仰シヤル、併シ
之ヲ五十人ニシテ、製絲工場、織物工場ガ果
シテ負擔能力ガアルカナイカト云フコトハ、

ドウシテ斷定出來マスカ、或ハ出來ルカモ
知レナイガ、大體出來ナイト御見込ミニナッ
タトスレバ、ソレナラソレデ宜シイ、併シ

範圍ト云フモノハ負擔能力デ、種類ト云フ
ノハ性質上ノ種類ダラウト思フ、其範圍ト
云フモノハ、斯ウ云フ所ノ工場デハ同ジク

適用ヲ受ケテ居ルケレドモ、三十人デヤ無
理ダ、五十人ニシナケレバ、負擔能力ガナ
イカラ範圍ヲ擴メタイト云フコトガ規模ト

云フコトニナッテ居ル、一律一體ニスルノ
ダ、負擔能力ニ依ッテ範圍ヲ決メタノダト

云フ御考デアルナラバ、此法文ハ違ッテ居
ル、ドウ云フ御考デアルカ伺ヒタイ、私ノ
間ヒガ分リマセヌカ

○赤松政府委員 除外致シマス種類、又ハ
規模ヲ考ヘマスノハ、要スルニ其處ニ使ハ

レテ居リマス勞働者ノ狀態ヲモ考慮ニ入レ
マスルシ、負擔能力ヲモ入レマス、色々ノ
考カラ色々綜合致シマシテ、退職手當法ヲ

其處ニ適用スルノヲ妥當デナイト認メタモ
ノヲ除外スル譯デアリマス

○田万委員 議事進行ニ關シテ……此度ノ
議會ニ勞働者ノ生活ニ觸レテ居ル案ト致シ

マシテハ本案ガ唯一ツノヤウニ考ヘテ居
ル、私達ノ立場カラ申シマス、本案ハ洵

ニ物足ラナイモノデアリマスケレドモ、無
イヨリハマシダト云フノデ、進行ニ對シテ

ハ餘程協力シテ來テ居ル譯デアリマス、隨
テ塚本君ニ致シマシテモ、淺沼君ニ致シマ

シテモ、質問ハ非常ニ簡單ニ致シマシテ時
間ヲ費シテ居リマセヌ、私ハ質問ヲ致シマ

センデシタ、斯ウ云フ風ニ本案ノ通過ニ對
シマシテハ非常ニ努力シテ居ル、之ハ僅カ

居ルノデ、會期ハ剩ス所僅カシカナイシ、本
案ノ運命ガドウナルカ分ラヌ、非常ニ憂慮

シテ居リマス、委員諸君ハ分リ切ッテ質問
ハセヌヤウニ、前ノ委員ガセラレタ質問ハ

速記録ヲ讀ンデ戴クコト、シ、其點ハ委員
長カラ十分ニ質問ヲ制限シテ戴キタイと思

フ、委員諸君ニ於テモ自省自戒セラレテ、
同ジコトハ聽カヌヤウニ、又聽イテモ聽カ

ヌデモ分ッテ居ルヤウナコトハ聽カヌヤウ
ニ、十分考慮シテ戴キタイと思フ(拍手)

○勝田委員 只今田万君カラ色々御議論メ
イタ御要求ガアリマシタガ、御承知ノ通り

此案ハ田万君御自身ガ仰シヤル通りニ、此
政府ガ出シマシタ唯一ノ社會立法デアリマ

ス、田万君ハ甚ダ失禮デゴザイマスガ、今
度初メテ御越シニナリマシタノデアリマス

カラ、從來ノ議院ノ進行ノ模様ヲ御存知ニ
ナラヌガ、此種ノ法案ニ付キマシテハ、從

來ハ一週間、或ハ十日、多クハ二週間モ掛
テ居リマス、現ニ米穀法ニ付キマシテモ、

續イテヤッテ居リマス、同ジコトデヤナイ、
各々相當ナ意見ヲ持ッテ居リマス者ハ、各方

面カラ一ツノ議案ニ對シマシテ探究スルト
云フコトガ、委員會構成ノ必要ナル所以デ

ゴザイマシテ、委員ノ當然ノ職責ナノデア
リマス、之ヲ多少同ジコトガ繰返サレルヤ

ウニナリマシテモ、之ヲ捉ヘテ直チニ牛ノ
涎ノヤウダトカ何トカ仰シヤルコトハ御憤

ミ願ヒタイと思ヒマス、吾々ハ此議案ニ對
シマシテ、決シテ之ヲ引延サウトカ、何ト

カ云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、從來
ノ例カラ見マスレバ、是程進ンデ居ル議會

ト云フモノハ、吾々全ク承知致シマセヌ、
ドウカ此點ニ付キマシテハ、十分ニ委員長

御自身ヲ初メ考慮サレマシテ、然ルベク議
事ヲ御進行下サレンコトヲ希望致シマス、

繰返シテ申シマスガ、吾々ハ決シテ議事ヲ
引延サウト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマセ

ヌ

○飯塚委員 私人質問ガ非常ニ何カ牛ノ涎

ノヤウダトカ云フコトデアリマスガ、一體
此案ト云フモノハ勞働運動ヲナサル所ノ方

方ノ主張カラ來テ、政府モソコニ考ガ進
ンダノダラウト思ヒマス、併シ私共ハ勞働

ニ此案ヲ見マスルト、小サイ機業家ノ勞働者ト云フ如キモノハ、少シモ考慮シナイヤウナ案ニナッテ居ルコトハ甚ダ遺憾デアル、アナタ方ノ議論ノ精神カラ言ヒマスナラバ、アナタ方ハ私ノ議論ニ滿腹ノ賛同ヲ爲サレナケレバナラヌ筈デアル（「簡單」ト呼フ者アリ）如何ニ簡單デモ、ソシナコトヲ言ハレルコトハ、勞働運動ニ從事シテ居ル者ノ最モ採ラザル所デアラウト思フ、況ヤ資本家ノ走狗ダトアナタ方言ハレル者ノ中ニ、私ガ言フタ位穩健ナ考ヲ有ッタ者ハナイ、ソレヲ走狗ダト云フヤウニ考ヘテ居ルコトハ勞働運動ノ爲ニ非常ニ惜ム（「ヒヤ／＼」）

第三條ヲ此案ノ中心ニシテ居リマスカラ今ノヤウナ問題ガ起ル、私ハ勞働運動バカリデハナイ、此案ニ付テ質問ヲシテ居ル、ソコデ政府委員ニ質問致シマスガ、ソレデハ「主務大臣ハ事業ノ種類又ハ云々」ト云フノデ、種類ニ依ッテ範圍ヲ決メルトカ何トカ云フヤウナモノハナイ、同ジ之ヲ適用スル工場デモ、今言フ通り負擔力ニ依ッテ、此工場デハ是ハ範圍ヲ五十人ト云フコトデ決メルト云フコトナラバ、マダ分ルノデアリマスガ、種類ト云フモノデ適用スルトカ、適用シナイトカト云フ御積リハナイノデスカ、今申ス通り普通ノ鐵工場ト纖維工場トデハ

職工ノ種類ガ違ヒマス、「ポケット・マネー」ヲ得ヨウトシテ居ル所ノ者ト、終身働カウト云フ者トハ違ッテ居マセウ、ソレヲ同一ニスル考デスカ、或ハソレヲ區別スルノデ此種類ト云フヤウナコトヲ入レタノカト云フコトヲ御聞キ申スノデス、ソレデナト云フナラバナイデ宜シイノデス

○赤松政府委員 只今モ繰返シ御答ヲ致シマシタヤウニ、事業ノ種類ヲ考ヘマシテ、製絲業デアリマスツカ、織物業デアリマストカ云フ種類ノ事業ハ、ソレ／＼勞働者ノ狀態ヲモ考慮シテ負擔能力ト申シマスカ、規模ヲ十分考慮致シマシテ除外スルトニ致シタノデアリマス

○飯塚委員 尙ホ伺ヒマス、ソレデハ昨日御話ニナッタ五十人ト云フモノヲ、ドウシテ五十人トスルカト云フコトハ、種類ヲ考ヘタリ、負擔能力ヲ考ヘタリト云フコトガ非常ニ私ハ誤ダト思フ、負擔能力ガナイナラバナイデ宜シイガ、ドウシテ女ヲ使フモノハ負擔能力ガナイト御決定ナサルノカ、「オミット」サレタ小サイ工場ト云フモノハ甚ダ侮辱サレタコトニナリハシナイカ、全ク三十人ヲ五十人ニシテモ、ソレガ爲ニ恩惠ニ浴スルト云フコトハナイノデアリマス、然ニル綿織業ニ從事シテ居ル者ガ、是ハ負擔

能力ガナイカラ五十人ニシテヤルト云ッタ、テ決シテ欣バナイ、私ハ種類ニ依ッテ範圍ヲ廣メタツカ、或ハ範圍ヲ小クシタト云フコトナラバ宜シイケレドモ、一般ニ種類ヲ限ルト云フヤウナ御説明デハ甚ダ當ヲ得ナイト思フ、斯ウ云フ種類ニ依ッテ適用ヲドウスルト云フノナラバ、其種類ト云フモノノ原則的ノ御説明ヲ願ハナケレバナリマセヌ、範圍ト云フノハ三十人ニスベキダケレドモ、目下ノ此業態ト云フモノハ非常ニ困難ヲシテ居ルヤウダカラ、今ノ所五十人ニスル、斯ウ云フノナラバ筋ガ通ル

○赤松政府委員 只今ノ所種類ダケヲ除ク考ヲ持ッテ居リマセヌ、兩方併セテ除外スルト云フコトニシテ居リマス

○飯塚委員 ソレナラバ「主務大臣ハ事業ノ種類又ハ」ナント云フコトハ要ラヌデセウ、主務大臣ハ此範圍ヲ收縮スルコトアルベシ、斯ウ書イタラ宜シイ、種類其他トスルヤウナコトハ曖昧ダト思フ、種類ト云フコトデナイナラバ、種類ト云フコトハ必要ガナイ、今ノ所種類ト云フモノハ全部之ヲ適用スル積ナラバ「種類」ヲ拔ケバ宜イ、女ヲ使ッテモ何デモ仕方ガナイ、恰モ種類ト云フモノニ於テ、區別サレルヤウニ考ヘテ居ル人ガ幾ラモアル、現ニ委員ノ中デモ織物

ヤ製絲業ハ脱ケチヤッタノダサウダト云フヤウナコトヲ言フタ人モアル、ダカラ此範圍ヲ廣メルト云フ立法ノ趣意カラ言ヘバ、負擔力ガナイカラ三十人デヤイケナイ、五十人ナラバ負擔力ガ出來ルト見テ宜イ、斯ウ見テ差支アリマセヌカ、種類ニ依ッテスルト云フノナラバ女ヲ主トシテ使フ所ノモノ、而モ結婚前ノ處女ナドハ生活ノ安定ノ爲ニ退職資金ヲヤルト云フヤウナコトハナイカラ、斯ウ云フ種類ノモノハヤメル、斯ウ言ヘバサウ云フ種類ノモノハ當然脱ケテ來ル、唯アナタガ何々業、何々業ト言フト、アナタモ仰シヤツタ通り皆誤解スル人ガアル、ダカラサウ云フ風ニシナイデ、種類ハナイ、唯範圍ヲ決メルト云フナラバ種類ト云フ字ハ脱カシタ方ガ宜イ、唯種類ニ依ッテ此範圍ヲ縮小スルト云フノナラバ範圍デ宜シイノデアリマス

○赤松政府委員 種類ヲ擧ゲマシテ、同時ニ其規模ヲ決メマセヌト、ドノ種類ノ事業ガ除外ニナツタカト云フコトガハッキリ分リマセヌ、隨テ例ヘバ製絲業ナラバ製絲業ノ五十人以下ノモノヲ除クトカ云フ風ニ書キマセヌト、其範圍ガハッキリ致シマセヌ爲ニ、又負擔能力ヲ考ヘマシテ、是ハ三十人ダケデハ無理ダ、五十人位マデニ上ゲナケ

レバナラヌ、ソコデドウ云フ種類ニスルカ
ト云フコトヲ考ヘテ兩方ヲ舉ゲル積リデ居
ルノデス

○飯塚委員 サウ云フ御話ナラバソレデ宜

シイ、併シ此本文デハサウハ見エマセヌ、
「種類又ハ」トアリマセウ、女バカリ使フ所
ノモノト男バカリ使フ所ノモノトハ違フ、
又終身職エヲ以テ生活ノ安定ヲ得ルト云フ
者ト、片ッ方ハ一寸働イテ羽織ヲ買フト云フ
ヤウナ者ヤ、又一寸働イテ嫁入りノ費用ヲ
稼イデ居ルト云フヤウナ者トハ是ハ又違ヒ
マス、ソコデ此立法ハ如何ニモ種類ニ依
テドウスルト云フヤウニ見エマスケレド
モ、ソレガ果シテ政府委員ノ言フ通りサウ
デナイトスルナラバ、私ハサウ解釋シテ居
リマスカラ結構デスガ、是ハ曖昧デス、誰デ
モサウ考ヘテ誤解スルダラウト思ヒマス
ガ、併シソレデ宜シウゴザイマス

○齋藤委員長代理 モウ質問ハ終ッタノデ

スカ

○飯塚委員 イヤマダアリマス

○齋藤委員長代理 ソレデハドウゾ

○飯塚委員 私ハ前ノ諸君ノ質問ヲ繰返ス
積リハナイノデスカラ、若シ繰返サウナ
コトガアリマシタラ、御知セ下サイ、自分
ニ於テ意ノ合ハヌ所ヲ御伺スルノデス、三

十人デ以テ企業者ガ満足スルト云フヤウナ
コトヲ考ヘテナイト云フコトノ議論ハ餘リ
ナカッタヤウニ聴キマスカラ、一寸質問ヲ
シマス、労働ノ方ニハ遺憾ダト云フコトダ
ガ、遺憾ダッタラ遺憾デナイヤウニ代表者
ガ大イニ辯論ヲスルノガ當リ前ダ、ソレヲ
唯大キイ風呂敷包ミヘ包ンデシマッテ、此方
ヘ取ッテシマッテ、自分デ宜イヤウニショ
ウト云フヤウナコトハ、大變間違ッテ居ル
コトダ、法案ヲ皆此風呂敷ヘ包ンデシマッ
テ居ル、内容ガイカンナライカント云フコ
トヲ議論スルコトハ宜イ、言論ハ宜イ、私
ハサウ思フ、私ハ本案ノ十七條ニ付テ御伺
シマス、先キ申ス通り私ハ小サイ、主トシ
テ小サイ所ノ商工業者ヲ代表シテ私等ハ申
スノデアリマス、十七條ノマア法人ノ場合
ノ利益配當金ヲ決メルヤウナコトハ是ハ別
ト致シマシテ、其次ノ第二ノ個人ノ場合ノ
コトデ質問致シタイト思ヒマス、個人ノ場
合ニ其事業ノ一年ノ總純益金額ノ百分ノ六
十、十分ノ六ヨリ五千圓ヲ差引イタ所ノ
額、詰リ純益金ノ十分ノ六ガ五千圓ヲ超過
シタトスレバ、其額ノ十分ノ一ヲ積立テ
ル、斯ウアリマス、是ハ法ノ善イカ悪イカ
ハ別問題ニシテモ、斯ウ云フヤウナコトガ、
實際ニ於テ出來得ルカ否ヤト云フコトヲ私

ハ考ヘテ居ル、純益金ノ調ベト云フモノガ
今日税務署ニ於テ實際少シモ行ハレテ居ナ
イトハ言ヒマセヌ、少シモ調ベテナケレバ、
ソレハ徴税ガ出來マセヌカラ、ソナナコト
ハナイト思ヒマス、併シ事業主ノ純益金
ガ幾ラアルカト云フコトガ、今日ハハッ
キリシテ居リマスカ、サウ云フヤウニ
税務署ハ純益金ヲ見テ収益トシテ居ル
ガ、兩毛ノ如キ小サイ工場ノアル所デ
ハ、利益ヲ出スト云フコトハ實際ニヤッ
テ居ラス、又アレナイ、例ヘバ工場法ノ色
色ノ書付ニシテモ、個々別々デハ出スコト
ガ出來ナイ、ダカラ或者ガ組合ヲ成シテ、
十人デモ二十人デモ組合ヲ作ッテ、サウシテ
書記ヲ一人雇ッテ、工場法ニ付テノ調ベヤ何
カハソレニ一任シテ居ルノガ普通デ、何處
デモサウヤッテ居ル、ソレハ大キイ工場デハ
人ヲ頼ンデヤッテ居リマスガ、工場法ノ調ベ
ヲ人ヲ頼ンデヤラセルト云フコトハ、小サ
イ工場デハ出來ナイ實情デアリマス、日本
ニ今サウ云フコトガアルト云フコトハ恥カ
シイカモ知レマセスケレドモ、兩毛地方ノ
如キ工場デハ皆ヤッテ居リマス、ソレハ何故
カト云フト、煩瑣ニ堪ヘヌカラヤッテ居ル、
三十人ヤ五十人ノ所デモ、工場法ノ調ベヲ
スルニ付テハ人ヲ一人置カナケレバナラ

ヌ、ダカラサウ云フコトヲヤッテ居ルノガ
實情デアリマス、サウシテ今度ハ収益税ヲ
納メル時ニハドウヤッテ居ルカト云フト、收
益税ト云フモノハ收入カラ總テノ費用ヲ差
引イテ、サウシテ純益金ト云フモノヲ出ス、
純益金ト云フモノガ決マラナケレバ此法案
ノ適用モ決マラナイノデアアル、小工業ノア
ル所デハドウスルカト云フト、共同申告ヲ
ヤル、共同申告ト云フモノハドウカト云フ
ト、或ル組合ナラ組合ノ者ガ申告ヲ致シマ
ス場合ハ、自分デハ嘘偽リナク申告ヲ致シ
テ居リマス、サウシテアトハ税金ハ然ルベク
課ケテ貰ヒタイト云フヤウナ譯デアアル、サ
ウスルト税務署ハ、サウ云フ譯デアリマス
カラ、帳面ガ不都合ダト云フ譯ニハ行キマ
セヌ、ダカラ申告ヲスル際ハ委員ヲ舉ゲテ
税務署ト相談シテ議論ヲスルダケノ人ヲ
委員トシテ五人ナリ、十人ナリ選ンデ、其
人ト税務署ト折衝ヲサセル、ソレガ個人ニ
ナリマスト税務署デハ帳面ヲ見テ、其純益
金ヲ見ヨウトスル、ソコデ苛酷ニ失スルコ
トガアル、取ル方ハドウシテモ是レダケハ
アルダラウト云フ、併シソレヲサウデナイ
ト言ッテ反抗シ、辯明スルダケノ用意モナイ
ノデアアル、サウ云フ譯デスカラ、共同申告ヲ
シテ委員ヲ選ンデ、其委員ト云フモノト税務

署ト折衝サセテ、去年ハ是ダケ儲カッタ、ダカラ是ダケ收益ガアルト云フノデ三分ト云フモノヲ利益ト見ル、ドウダト言ヘバ、ソレナラ仕方ガナイト云フコトニナル、又去年ハ不景氣ダツタカラ是ダケシカ純益ガナイト言ヘバ、仕方ガナイト云フコトデ、其人ノ利益ヲ決メテ、サウシテ收益トシテ居ル、斯ウ云フ實情デアリマス、私ハ總テ立法ヲスルノニ、何ノ立法デモ實情ニ適セナイ所ノ立法ト云フモノハ、是ハ宜シクナイと思フ、實際ノ實情ニ適セナイコトヲ規定スルト云フコトハ、其立法ガ假令善イ法律デモ人ガ納得シナイト云フコトガアルデセウ、桐生トカ兩毛バカリデハナイ、何處デモ共同申告ト云フモノヲ致シテ稅務署ト折衝シテ申告ヲ致シテ居ル、ダカラ收益ノ如キモ一人ノ人ナラバ不都合ナコトモアリマセウケレドモ、共同デアリマスカラ、不公平ナコトモヤラレナクテ、サウシテ目的ヲ達シテ居ル、併シ其實際ヲ見ルト云フト個人個人カラ言フナラバ、同ジ仕事ヲシテモ、儲カラナイ人モアリマセウ、又儲カル人モアリマセウ、何トナレバ金ヲ借りテ商賣ヲシテ居ルカラ、支拂利息ハドウシテモ是ハ工場費ニ入ル、其他片方ノ人ガ經營ガ惡ケレバ其人ハ損ヲシマス、經營ノ良イ人ハド

ンドン儲カル、金ヲ借りテ居ナイ人ハ儲カルガ、儲カッタ者デモ儲カラナイ者デモ、同ジク御召ナラ御召ヲ百反織ッタ、千反織ッタ、人造絹絲ヲ百反織ッタ、千反織ッタト云フコトデ、共同申告ヲシマスカラ、儲カッタ人デモ、儲カラナイ人デモソレニ構ハズ純利益ト致シマス、ダカラ純利益ニ反スル所ノ者デモソレヲ承認シテ居ル、又多クノ場合自分ガ損ヲシタト肚デハ思ッテ居リマシデモ、ドウモ人ガ儲カッタト言ッテ居ルノダカラ、自分ダケ損ヲシタト言フコトハ非常ニ恥カシイ、實際ハ損ヲシテ居ッテモ、皆ガ利益ガアレバ、自分モ同ジク利益ガアッタト言ッテ申告ヲ承認スルノガ事實デアリマス、斯ウ云フ事實デアリマス、ソレデアリマスカラ、折衝スル場合ニ、稅務署ト當業者ノ折衝ニ於テハ、ソレ等ヲ平均シテ利益ガアッタ根コソギ其利益ヲ取ルト云フコトモシマスマイ、稅務署ノ方ハ桐生ナラ桐生デ幾ラ、少クトモ足利デハ幾ラト大抵豫測ヲ立テ、ソレニ達スレバソコデ我慢ヲスルト云フヤウナ實情ナンデアリマス、サウシナケレバ出來ナイノデス、サウ云フヤウナコトハ大工場ノ如キニ至ッテ初メテ出來ルコトデアリマスガ、事實小工業ヲヤッテ居ル地方デハ、サウ云フコトガ出來ナイ事

情デアアルノデアリマス、然ルニ今度ハ純益金ノ六分ト云フコトニナルト、其純益金ノ六分ト云フモノヲ決メルニハ、今サウ云フ事情デアアルナラバ、此純益金ノ六分ト云フモノハドウシテ決メル御考デアリマスカ、ソレヲ承リタイ、其實情ハ私ノ言フコトガ嘘カ本當カ、其點ハドウ云フ風ニ御考ニセラルカ、ソレモ承リタイ

○赤松政府委員 營業收益稅ノ査定ニ付キマシテ、小サイ所ニ於キマシテ共同申告等ノ方法ヲ探ッテ居ルト云フコトモ私共承知致シテ居リマス、本案ノ第十七條ノ二號ニ依リマシテ個人ノ超過金額ノ場合ハ、純益トシテ約八千五百圓ノ收益ガアリマシタ場合ニ、第二號ノ問題ガ起ッテ參リマスカ、是ハ原則トシマシテ事業主ノ計算ニ依リマシテ事業主ガ自分デ計算シタ純益ヲ基トシテ、其計算ヲヤルヤウニシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、事業主ヲ信賴致シマシテ、事業主ガ申告致シマシタ純益ガ一應其事業主ノ純益ナリト行政官廳ハ之ヲ認メテ參ルノデアリマス

○飯塚委員 今ノ御答辯デアリマスカ、若シサウ云フコトガアルナラバ、稅務署ト當業者側ガ協定シテ、ソレガ誰ツレノ收益ダト言ヘバ、ソレヲ基礎トシテ、詰リ協定シタ所ノモノヲ申告スレバ同ジコトデアル、ソレハ分ッテ居リマス、サウナスッテ下サレバ私ハ今ノ實情ニハ合フト思ヒマス、合ヒマスカ、併シ其中ニハ實際ニ於テハ利益ト云フモノヲ標準ニ致シマスカラ、利益ガナイモノヲアルトシテ、私カラ言ヒマス、桐生ナラ桐生、足利ナラ足利ト云フ所ハ、今年ハ百分ノ二積ムトカ、今年ハ一分五厘積ムトカ、今年ハ三分積ムトカ、一律一體ニナル、サウナルノハ宜シイガ、先刻申ス通り利益ト云フモノガナクテモ、餘所ハ利益ガアッタガ、俺ノ所ハ利益ガナイト云フノハ恥カシイノデ、破産スルヤウナ目ニ遭フ迄モ我慢スルト云フ無理ガアリマス、本當ノ收益ガアルナラバ出スノハ當リ前ダガ、收益ガナイノニ出スト云フ所ニ無理ガアリマス、デアリマスカラ其無理ヲ兩毛ニ於テハ共同申告デヤッテ居リマスカラ、是ハ何時カ改メナケレバナラヌモノデアリマス、併シ其改メナケレバフモノヲ決メルト云フコトハ非常ニ小工業者ニ無理ガ出來ル、小工業者ト云フモノヲ保護スル點ガ行届カナイ、此法律ガ出來タ爲ニ小工業者ノ無理ノアル所ノモノニ、尙ホ負擔ヲ重カラシメルト云フ結果ニナル譯デアリマス、サウ云フコトハ當然御認メニ

ナラナケレバナラヌト思フ、今一ツハサウ
云フヤウニ協定シタルト云フコトハ、現
在デハ組合員ダケハ全部ヤッテ居リマスガ、
中ニハサウデナイモノモアル、法人ノヤウ
ナモノハドノ税務署モ許シマセヌガ、税務署
ニ依ッテハヤッテ居リマス、是ハ共同申告
云フヤウナモノハソレコソ過渡期デ已ムラ
得ヌカラヤッテ居リマスガ、是ハドウシテ
モ銘々ノ収益ト云フモノヲ計算シテ、収益
ニ依ッテ取ルト云フ程度ニ達シナケレバナ
ラヌ、又ソコマデ持ッテ行キタイト云フコト
ヲ土地ノ有力者ハ考ヘテ居ル、若シサウナ
ルト甲ノ工場デハ百分ノ三積立テラレ、乙
ノ工場デハ百分ノ三ハ積立テラレナイ、斯
ウ云フコトガ當然起ルデアラウト思フ、サ
ウシマストドウ云フ結果ヲ生ズルカト云フ
ト、職工ハ工場主ニハ濟マナイト思フガ、其
土地、其家ニ働イテ居ルコトガ嫌ニナル、
何時デモ百分ノ三ヲ積立テ工場ニ行キタ
ガル、積立テナイ所ニハ、居ラナクナルト云
フノハ當然デアリマス、サウ云フコトニナ
ルト、此案ハ當然利益ノ分配ヲ受ケルト云
フ案デアリマセウガ、此利益ノ分配ヲシナ
クチャイカヌト云フヤウナ御議論、法理上
ノ理窟ト云フモノヲ先程ドナタカカラ承リ
マシタガ、是ハ善イカ悪イカハ私ハ知りマ

セヌガ、其善イ惡イハ別トシマシテ、此法
ニ依ッテ利益ノ分配ノアル所ニハ喜ンデ行
クガ、ナイ所ニハ無論行キタクナイト云フ
コトガ起ルト思ヒマス、サウスルト其小工
業ト云フヤウナモノハ、桐生トカ足利トカ
前橋ト云フ所々ニ依ッテ、小工業御互ニ盡
力、協力シテ、ソレデ助合ッテヤッテ居リマ
ス、獨リデ小工業ガ發達スルモノデヤアリ
マセヌ、ソコデ組合ナラ組合ヲ組織シテ、
御互ニ資力ノ弱イモノモ、アルモノモ、ソ
レコソボロヲ出サナイヤウニシテ御互ニ扶
ケ合ッテ、一團トナッテ小工業ガ發達シテ居
ル、今ノ組合法ノ理窟モサウデアル、又土
地ノ組合ヲ經營スル者モサウ考ヘテ居ル、
ソレデ御互ニ協力シ、團體的ニ小工業ト云
フモノガ成立ッテ居ルノデアリマス、然
ルニ是ガ出來ルト彼處ハ利益ガナカッタ、此
處ハ利益ガナカッタト云フヤウナ所ニハ職
工ガ居付カナクナル、其處ノ工場デ不平ヲ
持ッテ居ル職工ガ半分、満足シテ居ル者ガ
半分ト云フナラバ、先刻申ス通り職工ガ不
滿ヲ起スト云フコトハ必ず其業務ガ宜クナ
イカラデアル、ダカラ其土地ノ小工業ト云
フモノモ半分ハ衰微シテ來ル斯ウ言ハナケ
レバナラヌ、現在ノ小工業ハサウ云フヤウ
ニ團結的ニ、集團的ニ相寄ッテ扶ケテ居ル、

サウシテ御互ニ力ヲ協セテヤッテ居ル、ソレ
デアルカラ今申ス通り共同申告ト云フヤウ
ナモノガ起ッテ居ルノデアル、アル者カラ
取ッテ、ナイ者カラ取ラナイト云フノハ公平
デアルガ、彼處デハ税金ガ拂ヘナイト云フ
コトニナルト潰レテシマフコトニナル、デ
アルカラ共同申告ト云フモノハ一面其處カ
ラ出テ居ルト云フノガ實情デアル、今一ツ
ニハ十七條ノ如キハ、一個人ノ場合デモ不
平不滿ノヤウナコトガアルナラバ、必ズ職
工ハ何カノ時ニ勃發シテ、若シ勞働組合ガ
出來ルナラバ爭議ガ起ル、爭議ヲ起ス所ノ
者ハ誰デアルカト云フト、不平不滿ヲ持ッ
テ居ル所ノ職工ガソレニ一番先ニ加擔ス
ル、サウスルト其小工業ハ半分ニナッテ、遂
ニ其繁榮ヲ來スコトガ出來ナイ結果ニナ
ル、即チ不平不滿カラ爭議ノ火ガ付キ易ク
ナルト云フコトニナル、又第一條ノ如キ、
私モ株式會社施設ノヤウナモノニモ關係シ
テ居リマスガ、昨日是ガ爭議ノ端ニナラナ
イト仰セシナリマシタケレドモ、是ハ爭議
ノ端ニナルト私共ハ考ヘテ居ル、併シ是ハ
意見ノ相違デアルカラ、深クハ申上デマセ
ヌガ、是ガ例ヘバ準備金ト云フモノハ配當
率ニ依ルト云フコトニナッテ居ルガ、其會
社ヲ實際ヤッテ行クノニハ、配當ハ今ヤッテ

居ルケレドモ、社内保留ト云フモノヲシテ
行クコトガ會社ノ永遠ノ利益ニナル、株主
ハソレデ納得スルガ、職工ハ株主デハナイ
カラ、サウ何時マデモ社内保留ヲセラレテ
ハ、利益ニ廻ッテ來ナイカラ、少クトモ自
分ガ退職スルマデニ退職資金ヲ餘計積立テ
タイト云フコトニナルノハ當リ前デアル、
故ニ配當率ヲ餘計ニシタイト云フコトハ、
勿論彼等ノ眞情ヲ察スルト當然デアル
〔齋藤委員長代理退席、委員長著席〕
株主ノ中ニハ社内保留ヲシテ貰ハナクテハ
困ル、サウ云フコトノ出來ルノハ當然ノコ
トデアル、併シ職工ハ後ニナッテ自分ガ居
ナクナッテカラ、社内保留ガ出來ルヨリハ、
自分ガ居ル中ニ欲シイト云フノハ當リ前デ
アル、ソコデ利益ノ配當率ヲモット好クシ
テ呉レ、モット配當ヲシロト云フコトニナ
ルノハ明カダ、又配當率ガ好クナイナラバ、
職工勞働者ガ言フヤウニ、アレハ一體重役
ガ金ヲ取り過ギルカラダ、或ハ經營ガ惡イ
カラダ、職工ノ立場ニナッテ見レバ、ア、云
フザマラシテ居ルカラ利益ガナイノダ、ア
ンナコトヲシテハ利益ガナイノダト云フノ
デ、ドウシテモ重役、經營者ニ對シテ不平
不滿ガ起ルデアラウ、其處ニドウシテモ會
社ノ重役ト勞働者ノ意見ノ相違ガアルト思

フ、利害ノ相違ガアルカラ茲ニ爭議ガ起ルデアラウ、ソレヲ起ラナイト御斷定デアルガ、ソレハ意見ノ違ヒトシテ是カラ先ハ申上デマセスガ、私ハ爭議ガ起ルモノト信ジマス、起ルトシタナラバ是ハドウナルカ、勞働者ノ武器ハ爭議デアル、頑冥ナル資本家ニ對シテ其頑冥ヲ是正サセルニハ、爭議ヲ以テ之ニ當ラナケレバ、ドウシテモ其頑冥ナルモノハ直ラナイト思ヒマス、擧取サレルコトヲ考ヘテ見レバ爭議ハ必要デアル、故ニ「ストライキ」ト云フモノハ、今日日本ニ於テ勞働組合法ハアリマセヌガ、何處デモ公然之ヲ是認シテ居ル、權利トシテアルカナイカハ分ラヌケレドモ、勞働者ハ爭議ヲスルノニ何モ恥カシイコトハナイ、權利デヤデ居ル、是ハ私ハ認メテ居ル、サウデナケレバナラナイト私ハ思フ、サウ云フ場合ニナレバ必ズ爭議ガ起ル、若シ爭議ガ起レバ勞働運動ハ擴大シマスケレドモ、其事業ハ必ズ衰微シテシマフ、大キイ所ノ工業ニ付テハソレニ對抗スルダケノ準備モアル、又勞働爭議ガ起ラナイヤウナ所モアリマセウ、ケレドモ若シ何分以テ上何分ヨリ幾ラト云フヤウナコトデ、運動ニ依ッテ利益ガ擴大スルト云フ餘地ヲ殘シテ置ケバ、勞働者ハ自分ノ利益ヲ得タイト

云ッテ必ズ談判ヲスル、爭議ヲスレバ少クモ小工業ト云フモノハ衰微シテシマフ、先刻アナタモ仰シヤッタヤウニ、小工業ハ負擔力ガ少イ、其負擔力ノ少イ所ノモノハ三十人ダカラ負擔力ガ少イ、三十一人ニナッタカラ負擔力ガアルト云フコトハ私ハ言ヘナイト思フ、五十人デアラウガ、三十人デアラウガ、負擔力ハ同ジコトデアリマス、ソコニ爭議ガ起レバ皆潰レテシマフ、産業ガ潰レテシマッテ宜イト仰シヤレバソレ迄デアルガ、若シ産業ガ潰レ、バ企業家モ洵ニ困ッテシマフ、併シ勞働者モ爭議ヲ起シテ其結果ドウナルカト云フト、結局失業スルデアリマセウ、勞働者モ損デアル、故ニ爭議ヲ起サセナイヤウニ、爭議ヲ起ス所ノ原因ヲ除去スルヤウニスルノガ私ハ立法ノ趣意デアラウト思フ、然ルニ何分カラ何分マデシロト云フヤウナコトハ、謂ハゞ火ヲ付ケル木屑ヲ置クヤウナモノデアアル、火ガ付キ易イ立法ガ丁度此十七條ダト私ハ考ヘル、此爭議ヲ起サセルヤウナ立法ハ勞働者ニモ不利益デアル、而モ企業家ニモ不利益デアル、双方當然國家ノ産業ノ不振ヲ來ス原因デアリマス、大キイ工業家ハ別トシテモ、中小工業ノ如キハソレガ爲ニ潰レテシマフ、其時ニハ勞働者モソレデ失業シテシマフ、中

小工業ト云フモノハ現在ニ於テハ日本國家ニ於テ必要ナル産業デアアル、ソレヲ潰シテ宜イト云フコトハナイ、ドッチモ必要デアルト私ハ考ヘテ居ル、前ニ申ス通り第一條モ其通りデアリマス、誰モ喜ブ者ハナイノデアアル、十七條モ資本家モ勞働者モ喜ブ條項デナイト私ハ考ヘル、併シ之ヲ要ラスカラ皆削ッテシマヘト云フノデハナイ、此案ハ第一條モ缺點ガアリ、第十七條モ缺點ガアルト思フ、此缺點ヲ御認メニナラナイデ此案ヲ何處マデモ主張スルナラバ、是ハ議論ハナイ、併シ吾々小工業者ノ意ノ在ル所、企業者ノ在ル所、又小工業ニ使ハレテ居ル勞働者ノ意ノ在ル所ハ、所謂民意ヲ暢達シタイト私ハ考ヘテ居ル、ソレヲ頭カラサウ云フコトハイカヌト云フコトナラ別ダガ、眞ニ意ノ在ル所ヲ考ヘルト云フ御意見ナラバ、私ハドウシテモ之ニ對スル所ノ案ガアナタ方ニナケレバナラヌト思フ、其案ハ今此案デハ示シテナイケレドモ、他ニ腹案ガアル、或ハ此處ニハナイケレドモ、後日其點ハ補ッテモ宜イ、實情ガサウダカラソレヲ調和スル所ノ案ヲ拵ヘテ提出スル積リデアアル、斯ウ云フヤウナ御話ヲ承ルコトガ出來ルナラバ私ハ満足デス、御答辯ヲ願ヒタイ

種中小工業者ノ場合ニ付テノ御心配ガアリマシタガ、私共考ヘテ見マスノニ、事業會社デアリマスレバ、配當金ヲ上ゲロ、而モ其配當金ノ極ク一小部分ガ積立金ニナルノデアリマスカラ、ソコ迄勞働者ガ干涉致スト云フコトニ付キマシテハ、果シテソレガ勞働者自身ト雖モ、事業ノ繁榮ヲ妨ゲルト云フコトノ不利益デアルコトハ十分ニ承知致シテ居ル筈デアリマス、又段々サウ云フ傾向ニモ相成ッテ居ルノデアリマス、尙ホ一層産業協力ノ精神ヲ十分ニ伸張致シマシテ、サウ云フ無法ナ行動ノ誤レルコトヲ十分ニ自戒モサセマスルシ、又官ト致シマシテモ、若シ萬一サウ云フコトガアリマスナラバ、斷乎トシテ之ヲ取締ルニ吝デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、又個人ノ場合ニ於キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、純益ノ算定ハ事業主自身ノ計算ニ依リマシテ、官ガ之ヲ認メテ參ルノデアリマス、之ニ勞働者ヲシテ容喙セシムル餘地ハナイト信ジテ居リマスシ、又個人事業ノ場合ニ於キマシテハ、此十七條ノ適用サレマスノハ相當大キナ事業デ純益ノアリマシタ場合デアアルノデアリマスカラ、比較的數モ少イコトデアラウカト考ヘルノデアリマス、ソレ等ニ付テモ十分ニ注意ヲ致シテ參リマスレ

○赤松政府委員 第十七條ノ問題ニ付テ種

バ、今日ノ勞働界ノ實情カラ申シマシテモ、十分ニサウ云フ御心配ニナリマスルヤウナ點ハ是正シ、サウ云フコトヲ未然ニ防止シテ行クコトハ出來ルト考ヘテ居リマス、十分ニソレニ努力致シテ行キタイと思ヒマス

○飯塚委員 私ハ是デ質問ヲ打切りマス

ガ、最後ニ今ノ御答辯ノ申ニ——是ハ第一條ノ如キハ企業者モ勞働者モ喜バナイコトデアルカラ、之ヲ雙方ノ間ニ不平ガアルト云フコトハ能ク分ルノデアリマス、ソレヲ何トカ方法ヲ立テ、之ヲ是正スル御考ガアルカナイカ、又十七條ハ昨日來松村サンカラ利益ノ分配ト云フコトハ、何カ理論上之ヲ分配スルコトハ宜クナイト云フヤウナ御話ガアリマシタ、私ハ理論ノコトハチットモ分リマセヌガ、ソレハ別問題トシテ、是ガ爲ニ利益ノ分配ト云フヤウナコトハ、如何ニモ公平ニナッテ居ルヤウニ見エマスケレドモ、斯ウ云フ爭議ノ原因、衝突ノ本ニナルヤウナコトヲ置クト云フト、折角成立チマシタ所ノ勞資間ノ協調ニ、ソレガ原因トナッテ利害ノ衝突スルヤウナコトガアッテハイケナイカラ、私ハサウデナイヤウニ致シタイト云フ考カラ、若シ之ヲ存置シマスナラバ小工業ガ一番先ニ潰レテシマフ、サ

ウシテ斯ウ云フコトニシマスト、産業ヲ保護スル所ノ趣意ニ副ハナイ、斯ウ云フ意味デ質問致シタノデアリマスカラ、其點ヲ簡單ニ承リタイ

○熊谷委員長 モウ宜シイデスカ

○飯塚委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○熊谷委員長 ソレデハ渡邊君……

「今渡邊君ハ居リマシタガ……」ト呼フ者アリ

「中村委員」今丁度二三分空イタヤウデゴザイマスガ、私ハ此場合……ト呼フ

○熊谷委員長 暫時御待ヲ願ヒマス

「中村委員」來ル迄ヲ條件トシテ……」ト呼フ

○熊谷委員長 渡邊君ガ來ル迄デ宜イデスカ——中村君

「慣例ハドウナッテ居ルノダ」「吾々ハ十分位デ引上ガテ居ルンダ、故意ノ引延シハ怪シカラヌ」ト呼ビ、其他發言スル者多シ

○中村委員 ドウモ……

「議席ニ居ラナケレバ渡邊君ハ發言權排棄ダ」ト呼フ者アリ

○熊谷委員長 中村君ハドウ云フコトヲ聽キタイノデスカ

○中村委員 兎ニ角……

○熊谷委員長 言ッテ下サイ

「議事進行ニ兎ニ角ト云フコトガアルカ」ト呼ビ、其他發言スル者多シ

○熊谷委員長 私語ヲ禁ジマス

○中村委員 兎ニ角發言ヲ許サレテ居ル……

「大義委員」議事進行ニ兎ニ角ナント云フ發言ガアリマスガ、サウ云フコトヲ許サレルナラミンナ兎ニ角デヤリマス」ト呼フ

「塚本委員」渡邊鐵藏君ハ順番ガ廻ッテ來テモ居ラヌノデスカラ棄權ト認メテ下サイ」ト呼フ

○熊谷委員長 中村君、極ク簡單ニ——議事進行ニ付テ中村君ノ發言ヲ許シマス

○中村委員 今朝ノ質問ニ對シマシテ、委員長ハ成ベク重複ヲ避ケロト仰シヤッタノデアリマス、ソレデ私モ成ベク簡單ニト云フ所デ質疑ヲ續ケタノデアリマシタガ、其後質疑ノ狀態ヲ見テ見マスルト、何ダカー年生ニハ聊サカ質疑ヲ簡略ニ制限ナサルヤウナ氣ガシテナラナカッタノデアリマス、ソコデ私ハ極ク簡單ニ、今二三點質疑ガ殘ッテ居ッタト云フヤウナ積リデアリマスガ、其質疑ノ御許シヲ……

○熊谷委員長 中村君ノ發言ハ渡邊君ガ來

ル迄ト云フコトデアリマス、此場合渡邊君ニ發言ヲ許シマス——渡邊君、ドウカ簡單ニオヤリヲ願ヒマス、アナタニ御許シスルノニ付テ異議ガアリマスカラ、簡單ニ願ヒマス

○渡邊鐵藏委員 至極簡單ニ——簡單ナ問題デアリマスカラ、政府委員ニ御伺シマス、二十七條ニアリマス特別手當積立金ノ限度、之ヲ定メタ時ハ云々トアリマスケレドモ、其官廳デ許可ヲ與ヘラレル限度ハ、何カ御内定デモアリマスガ

○赤松政府委員 特別手當積立金ノ限度ヲ定メマスニ當リマシテハ、完全ニ申シマスレバ、其事業ニ從事シテ居リマス所ノ勞働者全部ガ解雇サレマシタ場合ニ、三十五日分ヲ支給シ得ルダケアリマスレバ、是ハ一番完全ナ譯デアリマス、併ナガラ事業ノ種類ニ依リマシテハ、必シモ常ニソレダケノ準備ヲ致シテ置カナイデモ、殆ド必要ガナイヤウナ場合モアリマス、從來ノ解雇ノ狀況、又或ハ其事業ノ基礎ノ狀況如何ト云フヤウナ、特殊ノ狀況ヲ考慮致シマシテ、先ヅ是ガ普通ノ狀態ニ於テ參ルナラバ、大體三十五日分ハ十分ニ拂ヘルト云フ點ヲ考ヘマシテ、之ヲ確保スルニ足ルダケノ準備金ヲ設ケサセルヤウニ致シタイ、個々ノ事業

狀況ニ依リマシテ考慮シテ行キタイト思ヒマス

○渡邊(鏡)委員 次ニ御詳致シタイ、三十

條、事業主退職手當及之方支給ニ充ツル爲ノ準備積立金ニ關スル規程ヲ定メ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル時ハ、十六、十七條ノ積立ヲシナクテモ宜イト云フ、此規定ノ標準ニ付テハ何カ御考ニナッテ居リマスカ

○廣瀬政府委員 三十條ノ十二日分ヲ支給

スル、其外一年以上三年未滿ノ者ニ付テハ二十日分、其以上ノ者ニ付テハ三十五日分ヲ拂ハナケレバナラヌコトニナッテ居リマスガ、之ニ對スル準備積立金ハ、ヤハリ是ダケノ支拂ニ付テ大體困ラナイヤウニシナケレバナラヌト思ッテ居リマス、ソレデ此場合一年ニ付テ十二日分ト云フコトハ、之ヲ百分率

デ申シマス、賃銀ノ百分ノ三・三ニ當リマスガ、大體其位ノ所ハ準備トシテ持タナケレバナラヌト云フ工合ニ考ヘテ居リマス

○渡邊(鏡)委員 次ニ御詳致シタイ、第十一

條ノ退職積立金ハ、唯「積立ツベシ」トアルダケデアリマシテ、ドウ云フ方面ヘ積立テルカト云フコトハ、勅令事項ニナッテ居ルヤウデアリマシテ、郵便貯金トカ、貯蓄銀行預金其他ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、退職手當ノ方ハ法律ノ中ニ斯様ニ列記サレ

テ居リマスガ、一方勞働者ノ方ノモノヲ特ニ勅令ニ御書キニナッタノハ何カ理由ガアリマスカ

○赤松政府委員 勞働者ノ退職積立金ニ付

キマシテハ、其積立ノ方法ニ付テハ、全部勅令ニ譲リマシタノハ、一々ノ方法ニ付テ許可ヲ與ヘマシテ、郵便貯金ナラ郵便貯金、或ハ貯蓄銀行預金ナラ貯蓄銀行預金ト云フ、一々ニ付テ許可ヲ其場合々々ニ依ッテ與ヘマス、隨テソレニハ色々ノ方法ガアリ得ルノデアリマス、稍手續規定ニモ類シマスノデ、之ヲ勅令ニ譲リマシタノデアリマス

○渡邊(鏡)委員 勞働者ノ積立テマスル資

金ト、事業主ノ方面デ手當トシテ積立マサル金額、何レモ相當ノ金額ニ上ルヤウニ思フノデアリマス、或ハ十三條ニ定メテアリマス運用以外ニ、勞働者ノ利益ノ爲ニ運用スル方途モ、或ハ此部分ニ付テハ考ヘ得ラレナイノデヤナイカ知ラスト思フノデアリマスガ、要スルニ是等ノ資金ヲ合ハセル精密ナ計算ハ立テラレマセヌケレドモ、双方合セテ或ハ年ニ一千五六百萬圓位殘シ得ルヤウナコトニナルノデハナイカ、ソレガ十年モ經ツト相當ナ金額ニナル、サウ云フ場合ニハ積立率ニ付テノ變更ト云フ御考モ

起ルカモ知レマセヌガ、假ニサウ云フ風ナ相當ノ數千萬圓トカ、一億トカ云フ金ノ出來ル見込ガ出來マシタナラバ、之ヲ寧ロー緒ニ集メテ、一ツノ金庫ノヤウナモノヲ設ケルト云フコトニシテ、勞働者竝ニ事業主ノ爲ニ、有用ナル運用方法ニナリ得ル方策ヲ考ヘルト云フコトモ亦一途カト考ヘル、健康保險ノ方ハ是ハ皆大體使ヒ切リニナルヤウデアリマスガ、此方ハ左様ナ餘裕ガ出來ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ事柄ニ付テ、御研究ニナッタコトガアリマスカ

○赤松政府委員 洵ニ御尤ナ御意見デアリ

マシテ、私共ニ於キマシテモ、本案作成ノ當時相當考慮シタノデアリマスガ、只今ソレヲ一箇所ニ集中スベク法律命令ヲ以チマシテ決メマスコトハ穩カデアリマセヌ、サウカト申シテ任意ニ任セマシタ場合ニ於テ、是ガ果シテドノ位集マルカ、今直チニ見込モ付キマセヌシ、最初ノ中ハソレ程澤山ノ金ガ積立テラレル譯デモアリマセヌノデ、今少シク情勢ヲ見マシテ將來ノ問題トシテ十分研究致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○渡邊(鏡)委員 次ニ第一條ノ二項ニ關係

スル問題デアリマス、製絲工場、即チ生絲

工場ノコトデアリマス、其方面デ大分動搖ヲ感ジテ居ルヤウニ聞キマス、或ハ製絲工場ハ業法ニ依ッテ百五十釜以下ハ新ニ出來

ナクナルノデ、聽テソレ以下ノモノハ無クナルカラ、サウ云フ限度ノ適用ニシテ吳レト云フ聲モアリマスケレドモ、必シモ一舉ニサウ云フ風ニハ、或ハ參ラヌカモ知レマセヌガ、其他ニモ斯様ナ特殊ノ事業ニ依ッテノ區別ト云フコトモ、必要ニナルカモ知レヌ、併シソレヲ餘リオヤリニナラウトスルト、實施上ニ困難ガアルドラウトモ思ヒマスガ、ソコデ要スルニ此三十人以上ノ勞働者ヲ使用スルモノニ付テ、一條ノ二項デハ除外例ヲ設ケル、五十人ト云フコトニナッテ居リマスルガ、之ヲ此事業ノ種類ニ依テ、更ニ特例ノ五十人ト云フ人數ニ例外ヲ設ケルトカ、或ハ多少ノ特例ヲ更ニ設ケルト云フ風ナ、サウ云フ伸縮ノ御考ガアリマスルカ

○赤松政府委員 目下ノ所ハ第一條第二項

デ除外致シマス事業ニ付キマシテノ規模ハ、五十人ヲ以テ限度ト致シタイ考ヲ持ッテ居リマス

○渡邊(鏡)委員 意見ハ申述ベマセヌ、次

ニ組合製絲ハ特殊ノ性質ヲ持ッテ居ルヤウデアリマシテ、是等ニモ適用サレルモノデ

アリマスカドウカ

○赤松政府委員 組合製絲ノ方ニ於キマシ
テモ、若モソレガ工場法ノ職工デアリマシ
タ場合ニ於キマシテハ、本法ノ適用ヲ受ケ
マスガ、組合員ガ集リマシテ、共同ニ製絲
致シテ居リマスルヤウナ場合ニ於テハ、是
ハ恐ラク職工デナイダラウト思ヒマス、サ
ウシマスレバ、本法ノ適用ヲ受ケマセヌ

○渡邊(鑛)委員 少シ條文ヲ離レタ問題ニ
付テ御伺ヒシタイノデアリマス、先程飯塚
委員ノ御質問ノ中ニモチヨイ、現レテ
居ッタノデアリマスルガ、大體此退職積立法
ヲ御作りニナリマシタ時ニ、之ニ依ッテ退
職ノ際ニ手當ヲ受ケル者、ソレハ通常吾々
ノ觀念カラ申シマスルト、退職後相當ノ收
入ヲ以テ、或ハ資金ヲ以テ、自身若クハ家
族ヲ維持スル必要ノ立場ニアル人ニ、先ヅ
第一ニイケバ宜イ、ソレガ少クモ中心ニナ
ルヤウニ考ヘルノデアリマシテ、幼年工デ
以テ一二年働イテ辭メテモ、其時ダケ手當
ガアレバ宜イノデ、退職手當マデハ必要ガ
ナイ、或ハ婦人ノ勞働デ製絲工女、先程飯
塚サンカラ御話ガアッタと思ヒマスガ、サウ
云フ者デアレバ、所謂俗ニ言フ「ポケットマ
ネー」、小遣トカ嫁入仕度ト云フコトデ、特
ニ退職手當ヲ法律デ強制シテマデモ與ヘル

必要ガナイデハナイカト、吾々ノ考ヘラレ
ル部分モアルト思フノデアリマスルガ、是
等ノ點ニ付テハ婦女トカ幼年者ニ對シテ、
一律ニ青年男工ト同ジヤウニ退職手當ヲ支
給スルト云フコトニ付テハ、多少疑義ガア
ルヤウニモ思ハレルノデアリマスルガ、ソ
レ等ノ點ニ付テ御考ヘニナッタコトガアリ
マスカ

○赤松政府委員 退職手當ヲ支給致シマス
場合ハ、ソレニハ勤續ノ獎勵ト云フ意味モ、
從來カラ含シデ居リマスカラ、隨ヒマシテ
女子デアリマシテモ、子供デアリマセウト
モ、勤續ニ對シマスル給與ト致シマシテ、
或ル程度ノ手當ヲ與ヘマスコトハ、本法ノ
本旨ニ反シナイト考ヘテ居リマス、隨ヒマ
シテ唯餘リニ短期デアリマス者ニ付キマシ
テハ、之ヲ除外致シマスコトモ出來マスヤ
ウニ、二十四條ニ依リマシテ勅令ヲ規定致
シマス豫定ニナッテ居リマス

○渡邊(鑛)委員 實ハ自分トシマシテハ、
若イ者ニ付テハ多少ノ年齢ノ制限トカ、或
ハ女工ニ付テハ自己ノ賃銀積立率トカ、其
他男工ト區別ヲ設ケル必要ガアルヤウニ感
ジマスケレドモ、ソレハ意見ニ互リマスカ
ラ申上ゲマセヌ、尙ホ第十六條ニ依ッテ、退
職手當トシテ百分ノ二カ積立テラレルヤウ

ニナリマスガ、サウシテ十七條ニ於テ、尙
ホ更ニ先日來議論ニナッテ居リマスル利益
ノ一部ガ追加サレルモノト云フコトニナッ
テ居リマス、是ハ成程御立案ノ趣旨ハ非常
ニ親切デ、負擔力ニ應ジテト云フコトハ、
御尤モト思フノデアリマス、併シドウモ斯
様ナ規定ガアリマスルコトハ、是ハ理論上
カラ申シマシテハ松村委員ノ先日申サレタ
通り、又實際上ノ問題トシテハ、先日來加

藤委員竝ニ今日少シシカ聽取レマセヌデシ
タガ、飯塚委員カラ御舉ゲニナッタ思フ
ノデアリマスガ、サウ云フ點カラ妥當デナ
イヤウニ思フノデアリマシテ、利潤分配ヲ
退職手當ノ財源ニ迄使フ標準ト致サレマシ
タガ、事實利潤ガ財源ニナルノデアリマス
ガ、ソコ迄使フト云フコトニナッテ、之ヲ法
律デ強制スルト云フコトハ、賃銀支拂制度
ニ——追加支拂トシテ利潤分配ニ種々ノ制
度ガ行ハレテ居リマスルケレドモ、サウ云
フモノマデ法律デ強制スルコトハ、如何カ
ト思フノデアリマスルカラ、此十七條ノ精
神、又實行上ノ支障等ヲ考ヘマスルト、此
規定ハ私共ノ考方トシテハ、ドウモ此遺方
ハナイ方ガ宜イト、斯ウ思フノデアリ
マスルガ、諸君之ヲ除イテ見マスルト、
職工自身ノ賃銀カラ積立テマスルノガ

百分ノ二、ソレカラ事業主ノ積立テマスル
ノガ、此規定ニ依リマス少クトモ百分ノ
二トアリマス、勞働者側ノ賃金カラハ「少ク
トモ」ノ文字ガアリマセヌ、百分ノ二トハ、
キリシテ居リマス、一方ハ少クトモトナッ
テ居リマスカラ、百分ノ二以上、此少クトモ
ノ爲ニ多少疑義ヲ生ジ、運動ヲ生ジ爭議ノ
種ヲ起シハシナイカト云フ心配モアッタヤ
ウデアリマスガ、私ノ特ニ此際考ヘテ見タ
イト思ヒマスルコトハ、此退職積立金及ビ
退職手當法案、是ノ内容ニ類似シタヤウナ
法則ハ、餘リ外國ニモ見掛ケナイヤウデア
リマス、勿論失業保險ガナイカラ、何力之
ニ似タヤウナモノハ欲シイトモ思ヒマスル
ガ、併シ一般業界デハ慣例的ニ是ガ行ハレ
テ居ルト云フコトデアリマスルガ、併シ假
之ヲ法制トシテ一般的ニ施行シマス場合ニ
於テモ、成ベク實際ニ適合スルモノガ好マ
シイト思フノデアリマス、此程度ノ斯ウ云
フ立前ノモノハ、恐ラク外國ニモナイト思
ヒマスルガ、殊ニ退職手當ノ諸國ニ比シテ
日本ノ國ガ一番行届イテ居ルコトハ、御承
知ノ通りデアリマスガ、ソコデ外國ノ眞似
ヲシナクテモ——勿論スル必要ハアリマセ
ヌガ、多少理論ノ根據トカ、或ハ勞働者ニ
對スル厚薄ノ標準ヲ取ル上ニ於テハ、ソレ

等ノコトヲ比較スルノモ意義ガ無イコトハ
ナイト思ヒマス、英吉利ノ失業保險デアル
トカ、或ハ養老保險デアルトカ、或ハ獨逸
ノ失業保險トカ養老保險トカ云フヤウナモ
ノハ、御承知ノヤウニ國家ノ支給ニ依ッテ
援助ガアリマスルガ、事業主側ト労働者側
トノ出資負擔ト云フモノハ、何レノ國ノ保
險ニ於テモ同一ト云フ率ニナッテ居ルヤウ
デアリマス、勞資トモ十仙宛ツ、或ハ勞資ト
モ二箇二分ノ一宛ツトカ、サウ云フ風ニ同
一率ニナッテ居ルヤウニ思ヒマス、日本ノ健
康保險モ大體多少ノ例外ハアッテモ、サウ云
フ精神デ行ッテ居ルヤウニ思フノデアリマ
スガ、サウ致シマス、此法案ヲ初メテ實
施スルノデアリマスガ、此程度ノ勞資同ジ
ヤウナ程度ノ積立金ヲサセ、殊ニ事業主側
ハ在來收益ガ決ッテ居ルノデアリマスカラ、
突然特別ニ賃金ノ追加支拂ヲ、法ニ依ッテ命
ゼラレルノデアリマスカラ、此同等程度ノ
モノデ先ヅ試ミテ、ソレデハ足りナイ、不
足デアル、ドウモモウ少シ事業主側カラ出
サセナイト十分デナイト云フ風ニ御考ニナ
ルヤウナ特ニ根據デモゴザイマスカ
○廣瀨政府委員 十七條ノ問題ニ付キマシ
テハ、昨日來色々御議論モアリマシタガ、
私共ハヤハリ是ハ負擔ノ能力ノアル場合ニ

於キマシテ、負擔ヲシテ貰フト云フ趣旨ノ
規定デアリマシテ、若シ此條文ガアリマセ
スト、十六條一條デハ千遍一律ニナリマシ
テ、畫一ノ弊害ガアリマスルノデ、此十七
條ガアルコトニ依ッテ、初メテ能ク負擔ノ能
力ニ應ジ得ルモノト思ッテ居リマス、隨テ是
ハヤハリ至極適當ナ案デアルト考ヘテ居ル
ノデアリマス、尙ホ又先程御話ノ外國ノ失
業保險等ノ場合ニ、勞資雙方ノ出ス率ニ付
テノ御話ガアリ、本法ニ於テモ退職手當積
立金ノ十六條ト、退職積立金ノ十一條トガ
百分ノ二ニナッテ居ルガ、是ハ何處マデモ同
率デ行クノカドウカト云フ御話ガアリマシ
タガ、私共ノ考ヘテ居ル所ハ、十六條ト十
一條トハ今同率デアリマスケレドモ、ヤハ
リ本法ハ退職手當積立金ガ中心デアリマシ
テ、退職手當ハ前々カラ御話申上ゲタヤウ
ニ、之ヲ失業保險トハ又別ニ考ヘテ居ルノ
デアリマシテ、退職手當ハ我國ニ於テ發達
シタ實情ガ、既ニ御承知ノ通り事業主ガ出
シテ、相當ニ大キナ金ガ出テ居ルノデアリ
マス、ソレデアリマスカラ、退職手當トシテ
ノ積立金ハ、私ハ退職積立金十一條ノ積立
金ト同率デアルベキモノトハ決シテ考ヘテ
居リマセス、退職手當金コソ大キク致シマ
シテ積立テ、行ッテ貰ハナケレバナラスト

思ッテ居リマス、サウシテ退職積立金ノ十一
條ノ方ハ、事業主ガ相當ニ勞働者ノ爲ニ退
職手當積立金ヲシテ呉レル、其有難イ所ニ
對シテ、勞働者モ德義的ニヤハリドウシテ
モ積立テサセテ行カナケレバナラスト云フ
教育的ノ意味ヲ以テマシテ、特ニ此退職積
立金ノ制度ヲ設ケタノデアリマス、兩者ノ
率ハ同ジデアルベキダト云フヤウナコトハ
考ヘテ居リマセス、退職手當積立金ノ方ハ
出來ルダケ餘計ニ出シテ貰ラウト云フノデ
アリマセウガ、是亦產業ノ負擔ノ關係カラ、
自ラ限度ガアラウト思ヒマス、先ヅ十六條
デ百分ノ二ノ一率トシテ、ソレカラ十七條
デ利益ノアツタ場合ニハ、又百分ノ三ヲ積立
テ、貰ラウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、
尙又三十條ニ於テハ特別ノ準備積立金ニ於
キマシテモ、百分ノ三・三ト云フ率ヲ考ヘテ
居ルノデアリマシテ、手當積立金ト勞働者
側ノ積立金トハ、決シテ同率デアルト云フ
コトヲ吾々ハ望ンデ居ラヌノデアリマシ
テ退職手當積立金ヲ産業ノ許ス範圍内ニ置
キタイコトヲ希望致シテ居ルノデアリマ
ス
○渡邊(鑛)委員 内務大臣ニ少シ御尋致シ
マス、斯様ナ事業主ニ負擔ノ一齊ニ參リマ
ス法律ヲ御作りニナル場合ニハ、今日ノ場

合ニハ勿論範圍ガ狭イノデアリマスガ、尙ホ
第一條第三項ニ於キマシテ擴マル場合モ、
御考ニナッテ居ルヤウニ思フノデアリマス
ガ、相當廣汎ナモノニナレバ、國ガ相當之
ニ對シテヤハリ負擔ヲスルノガ當然ト思フ
ノデアリマスガ、併シ左様ナコトヲ國トシ
テ必要ヲ感ゼラレルヤウニナリマスレバ、
モット廣イ社會保險或ハ失業保險ト云フ制
度ニ著眼スルコトニナルノデハナイカト思
ヒマス、併シ現在此法案ヲ立法セラレル場
合ニ於テハ、私ノ村度ガ當ッテ居ナイカモ
知レマセヌガ、失業保險、左様ナモノハヤ
ル御考ハナイカ、寧ろ日本ノ國情ニ即シ
テ失業保險ハヤラヌカ、此退職手當積立
金、之ヲ以テ今日ノ國情ニ合フヤウナ、一
部ニ行ハレテ居ルヤウナモノト同種ノ社會
立法ヲシヨウ、斯ウ云フ御考デハナイカト
村度スルノデアリマスガ併シ或ハ時勢ノ變
遷ニ依ッテ、將來社會保險デモオヤリニナル
場合ハ、是ハ國家ガ負擔シナケレバナラス
ノデアリマスカラ、其場合ニハ此法律ハ私
ハ勿論此立前ノモノハ廢止サレルト思フノ
デアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ御同致シ
タイト思ヒマス
○潮國務大臣 只今御述ニナリマシタ所デ
本法案ヲ出ス際ニコチラデ考ヘマシタノ

ハ兎ニ角從來慣行トシテ特殊ノ發達ヲ遂ゲテ居ル、此制度ヲ法制化シテ普及モ圖リ、合理化モシヨウト云フ趣意デ、此法案ガ生レタノデアリマス、其際ニモ色々研究ハ致シマシタケレドモ、唯社會保險ハヤラス代リニ、之ヲヤラウト云フヤウナコトデハナイノデ、社會保險ニ付テハ又別個ニ調査モ致シテ居リマスルシ、進ンデ又研究ヲスベキダト思フノデアリマス、若シ立法スルトナリマスレバ、餘程ハ一層深ク考ヘナケレバナラヌ問題デアリマシテ、將來ドウ斯ウト云フコトヲ今申上ゲ兼ネマスケレドモ、失業保險トハ是ハ別個ニ考ヘテ出發シタモノデアリマス

○渡邊(鐵)委員 種々御伺シタイコトモアリマスルガ、大體一昨日來伺ヒマシタコトデ要點ハ盡キテ居ル、ソレ以上私ガ申述べマスルト、議論、意見ニ互リマスルカラ、此程度ニ致シテ置キマスルガ、尙ホ施行後ノ些細ノ點ハ、後ニ何時デモ機會ガアルト思ヒマスルガ、此際一寸内務大臣ニ御伺致シテ置キタイト思フ、ソレハ先程モ此席カラ、如何ニモ此一二日來ノ議事ニ對シテ、引延シ的ノヤリ方ダト云フヤウナ聲ガ掛リマスルシ私ハ先日三分間程關聯質問ヲ致シタダケデ

アリマスルガ、此點ニ付テハ只今勝田君カラ此誤マレル事、議事ノ慎重ニ行ハレナケレバナラヌコトヲ申シマシタカラ、十分御諒承ト存ジマスルガ、併シ新聞記事等ノ模様ヲ見マスルト、或ハ官廳側カラ此法案ヲ否デモ應デモ早ク通シタイト云フノデ、斯様ナ批評デモ若シ出シテ居ルトスレバ、私共遺憾デアルト思ヒマスルカラ、サウ云フ點ニ付テハ、私共ハ御留意願ヒタイト思フ

ノデアリマス、申ス迄モナク此種勞資關係ノ立法ハ、中々微妙ナ問題デアッテ、中々重要性ヲ帶ビテ居ルト思フノデアリマシテ、恐ラク通常ノ一週間、二週間ト云フ委員會ノ審議デハ困難デ、或ハ二ツノ議會ニ跨ッテヤルト云フ風ナ例モ、各國ニアルヤウニ認メル、慎重ノ審議ヲ實ハシテ戴キタイト思フデ居ッタノデス、然ルニ此法案ガ此短期ノ議會ニ出テ、而モ遅クナッテ委員會ニ掛ッタコトヲ、實ハ残念ニ思フデ居ルノデアリマシテ、勞資何レノ方面ノ立場ヲモ特ニ研究ヲ致シテ居ル人、何レニモ偏シテ居ルトハ思ヒマセヌガ、一方ノ研究ノ深イ人モアリマセウ、議ヲ盡シテ此案ヲ完全ナモノニシタイト云フ考ハ、何レモ同ジコトダラウト思フノデアリマス、然ルニ現ニ此法案ガ、不穩文書及ビ總動員其他ノ法案ト、三ツ一括

シテ此委員會デ審議ヲ進メラレナケレバナラヌヤウナ情勢ノ下ニ、此重要法案ガ審議サレ、又世間ノ輿論

勞働者ノ幸福ニナル法律、ソレハ誰人モ望ム事デアリマスケレドモ、其内容ヲ完全ニスル爲ニハ、總テ議會トシテハ協力ヲシナケレバナラヌト存ズルノデアリマスルカラ、ドウカ内務大臣ニ於キマシテモ、勿論完全ト信ジテ御提案ニナッタト思ヒマスルケレドモ、ドウカ十分ノ審議ノ盡サレルヤウニ、御考慮御配慮ヲ御願致シタイト思ヒマス、決シテ誰モ議事ノ阻止ヲシテ居ル者ハナイト思ヒマスガ、此數日來ノ論議ハ大體御承知ノ通りデアリマシテ、此法案ニ對スル或ハ修正ノ希望、色々ノ理想ト云フモノガ感得出來タコト、思フノデアリマス、ソコデ此法律ヲ今日此儘議會通過ヲ御希望ニナリマスルカ、ソレトモ尙ホ完全ナモノニスル爲ニ繼續シテ、朝野力ヲ協セテ完全ナモノニ盛立テルカ、或ハ此世間ノ情勢トカ、何デモ社會立法ダカラ早クヤレトカ、ソレヲ阻止スル者ハ、是ハ資本家ノ爲ヲ謀ル者ダトカ、或ハ種々ノ誤解モアルヤウデアリマスルカラ、左様ナ社會上、政治上ノ情勢ヲ見テ、ドウモ多少ノ修正ヲシテナリトモ、政府ニ於テ適當

ト認メラレル限度ニ於テ、修正ヲシテナリトモ、此法案ヲ此議會ニ是非共通過サセタイト云フ御考デアリマスルカ、甚ダ露骨ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスケレドモ、一寸御伺致シマス

○潮國務大臣 御斷リヲ致シテ置キマスルガ、政府又ハ政府部内ノ者ガ、本委員會ノ御審議ニ對シマシテ、誤解ナドハ一切持ッテ居ラヌト云フコトヲ言明申上ゲマス、慎重ニ御審議下サルコトヲ感謝致シテ居リマス、唯成ベク早く通過ヲ望ムト云フコトハ申ス迄モナク、大イニ希望スル所デアリマスコトダケハ御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラ本案ノ取扱ニ付キマシテ、政府ニハ或ハ今少シク研究ヲ遂ゲテ、他ノ機會ニト云フヤウナ御話モアリマスケレドモ、ソレニ對シテドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカト云フコトデアリマスルガ、兎ニ角一年内外モ世間デ相當ニ論議サレ、又本會議デモ委員會ニ於キマシテモ、斯程熱誠ナ御審査ヲ願ヒマシタ以上ハ、最早此儘デ進ンデ戴キタイト思フ外ハアリマセヌ、修正シテモドウカト云フ御話デアリマスガ、ドウモ修正ト云フコトハ今カラ見レバ先ノ話デ、何等分ッテ居リマセヌ、ソレニ對シテ御答ヲ申上ゲル時デモナカラウト存ジテ居リマス、唯十分ニ御

審議ノ上デ、原案ノ御協賛ヲ願フト云フノ
ガ、政府ノ誠意デアリマス

○渡邊(鏡)委員 尙ホ私ハ今後質問致スコ
トガアルカモ知レマセスガ、今日ハ是デ質
問ヲ打切ッテ置キマス

○鵜澤委員 議事進行ニ付テ——本案ノ意
見ヲ纏メル爲ニ、今代議士會ヲ開會中デア
リマス、ソレガ爲ニ此中カラ四五人ノ人ガ
代議會ニ出テ居ルヤウナ譯デアリマス、政
友會デハ大分考モ決マッタヤウナ御話デア
リマスガ、私共ノ態度ヲ決メルニ於テ、
此程度ニ於テ本日ハ散會ヲシテ戴キタイト
思ヒマス

〔賛成「ト呼ブ者アリ」〕

○熊谷委員長 併シドウデスカ、代議士會
ノ模様ニ依ッテハ、更ニ續ケテヤッテモ宜イ
デアアリマセスカ——ソレデハ一時間ダケ
休憩致シマシテ、其間ニ夕食ヲ御食ベ下サ
イマシテ、更ニ繼續スルコトニ致シマス、
一時間ダケ休憩致シマス

午後五時三十分休憩

午後六時四十六分開議

○熊谷委員長 ソレデハ是ヨリ開會シマ
ス、退職積立金及退職手當法案ニ付テノ質
問ハ之ヲ以テ一應打切りマシテ、更ニ只今

ヨリ不穩文書等取締法案ニ付テノ審議ヲ開
キマス

○岡本委員 質問打切デスカ、ソナナ答ハ
ナイガ、絶對ニ質問ハ出來ナイデスカ

○塚本委員 委員長ノ御言葉デハ何デモ退
職積立金ニ付テハ一應質問ヲ打切ッテ、次ノ
不穩文書ニ御移リニナルヤウナコトデアリ
マスガ、私ハ質問ヲ打切ッテ直チニ討論ヲ
續行サレンコトヲ望ミマス

○熊谷委員長 塚本君ニ御答致シマスガ、
退職積立金及退職手當法案ニ付キマシテ、
繼續シテ討論ニ移リタイトハ思ヒマスケレ
ドモ、政友會デモ民政黨デモソコマデ運シ
デ居リマセスカラ、幹部會ノ協議、政務調
査會ノ相談及代議士會ノ決定ヲシテ臨ミタ
イト思ヒマスカラ、先ヅ此貴重ナル時間ヲ
必要ト致シマシテ不穩文書ニ移ッタノデア
リマス、左様御心得ヲ願ヒマス

○塚本委員 委員長ノサウ言フ御言葉ハ承
服致シマスガ、ソレデハ政友會民政黨ノ態
度ガ決定シマシタラ此不穩文書ノ審議中ト
雖モ直チニ退職手當ノ方ニ移ラレンコトヲ
望ミマス

○熊谷委員長 左様致シタク考ヘテ居リマ
ス

○岡本委員 議事進行ニ付テデアリマス

ガ、一應質問ノ打切ト云フコトハ諒承致シ
マスガ、併シ討論ニ入ル前ニ尙ホ牽聯事項
其他ニ付キマシテ多少ノ質問ヲ御許シ下サ
ルコトハ……

○熊谷委員長 是ハ岡本君御承知ノ通り、
慣例ニ依リマシテ討論前ニ於テ討論ニ必要
ナル簡單ナル質問ハ許スコトニナッテ居リ
マス、左様御承知ヲ願ヒマス

○岡本委員 宜シウゴザイマス

○熊谷委員長 ソレデハ勝田永吉君ノ質問
ヲ許シマス

○勝田委員 此度當議會ニ提案致サレマシ
タ不穩文書等取締法案之ニ付キマシテハ、
御承知ノ通りニ今日マデ此法案ヲ繞リマシ
テ、世上幾多ノ批判ガ既ニ行ハレテ居ルノ
デアリマス、御承知ノ通りニ所謂五・一五
事件以來吾々ノ乏シキ知識ヲ以テ致シマス
ルモ、所謂怪文書ナルモノガ段々横行シテ
參リマシテ、其害ガ相當深刻デアルト云フ
コトハ、顯著ナル事實デアッタノデアリマ
ス、隨ッテ齋藤内閣ノ當時ニ於キマシテモ、
是等ノ點ニ付キマシテハ相當心配ヲ致シマ
シテ、内務大臣御承知ノ通りニ其當時
出版物ノ納付法ヲ議會ニ提案サレタコ
トガアルノデアリマス、右法案ハ不幸
ニシテ成立ヲ見ナカッタノデアリマス、

若シ其當時該法案ガ法律トナッテ居リ
マスレバ、同法案ノ第十八條ニハ、相當嚴
密ナ規定ガアッタノデアリマスカラ、今日ノ
所謂怪文書ニ依リマスル所ノ社會ノ蒙リマ
シタル損害ハ、相當緩和サレタノデアラウ
ト考ヘマスル時、私ハアノ法案ガ流産致シ
マシタコトニ付キマシテ、今尙ホ遺憾ニ感
ジテ居ル者デアリマス、次ニ岡田内閣ニ於
キマシテモ亦此點ニ付キマシテ、相當御心
配デアッタヤウナコトヲ漏レ承ッタノデア
リマスガ、是亦何カノ御都合デ法文化スル
ニ至ラズ、愈々現内閣ニナリマシテ、穩健
著實トシテ世間ニ知ラレテ居リマスル潮内
務大臣ノ手ニ依リマシテ、此法案ガ議會ニ
提案セラレマシタコトハ、所謂御時勢ノ然
ラシムル所ト考ヘマシテ、吾々ハ一應ハ諒
承シタノデアリマス、併ナガラ愈々吾々ガ
此法案ヲ手ニ致シマシテ、各條ヲ檢討致シ
マスル時ニ、此字句ノ頗ル強大、強烈デア
ルコトニ驚イタノデアリマス、更ニ昨年以
來檢察權ノ運用ニ付キマシテノ實績ニ徴シ
マスル時ニ、此法案トアノ檢察權ノ運用ノ
實績トヲ綜合致シマスル時ニ、吾々ハ洵ニ
不安ニ堪ヘナイモノガアルノデアリマス、
此意味ニ於キマシテ、私ハ二三ノ質問ヲ致
シタイノデアリマスガ、先ヅ質問ニ入ルニ

先チマシテ、私ノ質問ノ便宜ノ爲ニ、本案ノ内容ニ付キマシテ、極ク大難把ナ質問ヲ致シタイト考ヘマス、隨テ之ニ對スル御答ハ、極ク簡單明瞭デ結構デアリマス、勿論更ニ法案ノ逐條的ノ研究ニ至リマスレバ、色々議論モゴザイマセウガ、私ガ只今御同致シタイノハ、私ノ質問ノ便宜ノ爲ニ、前提トシテ御伺スルノデアリマスルカラ、極ク簡單デ結構デゴザイマスカラ、二三ノ點ニ付キマシテ御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

先ヅ本法ノ適用ヲ受ケマスル文書トハ、新聞、雜誌等ノ定期刊行物ヲ包含スルモノト信ズルノデゴザイマスガ、是ハ如何デゴザイマスカ、固ヨリ私ハ左様ニ確信スルノデアリマス、此點ニ付キマシテ念ノ爲ニ御伺スルノデアリマス、ソレカラ官廳發行ノ刊行物ニモ適用ガアルカドウカ、此點ヲ先ヅ御同致シマス

○潮國務大臣 勝田君ノ御質問ノ第一點ハ、此法律ハ定期ノ刊行物ニモ適用ヲサレルモノデアリカト云フ御趣意デアリマスガ、第一條ノ第一項カラ見マスレバ、定期刊行物モ含ムコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ官廳發行ノモノトシマスレバ、斯様ナ第一條トカ第二條トカト云フヤウナ目的

デ、治安ヲ妨害スルガ如キ文書ハアルマイ、隨テ適用サレルモノハナカラウト存ジテ居リマス

○勝田委員 新聞雜誌ニ付キマシテノ御答辯ハ拜承致シマシタ、私ガ官廳ノ刊行物ト申シマシタノハ、其内容ニ付テ御同致スノデゴザイマセヌ、其形ニ於キマシテ、如何ナル出版物、官廳ノ出版物ト雖モ只今内務大臣ノ御答辯ニ依リマスレバ、サウ云フモノハナイ筈デアルト仰シヤッタ、吾々モ必ズサウデアルト思ヒマスルガ、假ニサウ云フモノガアリマスレバ、サウ云フヤウナ刊行物モ、此法ノ適用ヲ受クベキモノナリヤ否ヤ、斯ウ云フコトヲ御伺スルノデアリマス

○潮國務大臣 若シアッタ適用ヲ受ケルカト云フ御尋デアリマスガ、ドウモ私共ハソレガ想像出來ナイノデアリマス、官廳ノ刊行物デアリマシテ、治安ヲ妨害シ、而モ其目的是々ト云フヤウナ種類ノモノハナイ筈ト思ヒマス、其意味ニ於キマシテ適用ガナイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○勝田委員 此點ニ付キマシテハ多少申上ゲタイコトモゴザイマスルガ、私ノ質問ノ趣旨ニ反シマスカラ、此際申上ゲマセヌ次ニ御同致シマスノハ、本法ニ依リマシテ取締處罰ヲ受ケマスル人間ハ、文官デア

ルト、武官デアルト、通常人デアルトコトヲ問ハズ、此適用ヲ受ケルモノト信ズルノデアリマスガ如何デアリマスカ

○潮國務大臣 本法ヲ適用サレマスルモノハ、其人ノ身分デアルトカ、職業ト云フモノハ問ハナイ積リデゴザイマス

○勝田委員 條文ノ第一條ノ「人心ヲ惑亂シ、軍秩ヲ紊亂シ又ハ財界ヲ攪亂スル」此三ツノコトガ條件ニナッテ居ルノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテ、大體ノ觀念ヲ御示シ願ヒタイ

○潮國務大臣 是ハ私カラデナケレバイケマセヌカ

○勝田委員 責任サヘ持テバドナタデモ構ヒマセヌ

○潮國務大臣 デハ政府委員カラ……
○宣場政府委員 人心ヲ惑亂シト云フコトハ、廣ク一般民心ヲ惑シ、之ニ依ッテ衝動ヲ與ヘ、以テ公共ノ不安ヲ醸成スルト云フ意味デアリマス、デアリマスルカラシテ、單ニ局部的ニ少數特定範圍ノ人ヲ惑亂スルニ過ギナイモノハ、未ダ人心惑亂ト云フコトニ入ラナイ積リデアリマス、次ニ軍秩ヲ紊亂スルト云フ意味ニ付キマシテハ、統帥ニ關スル事項デアリマス場合、或ハ軍行政ニ關スル場合ト問ハズ、軍ノ秩序ヲ阻碍

スルコトヲ指示シテ居ルノデアリマス、或ハ軍ノ紀律ヲ紊サントシマス時、或ハ軍ノ統制ヲ害セントスルト云フヤウナコトヲ以テマシテ、國軍ノ存立ノ基礎ヲ動搖セシメルガ如キ目的ヲ持ッテ居リマスル場合ハ、軍秩ヲ紊亂スル目的ヲ以テト云フ意味デ、此言葉ヲ入レタノデゴザイマス、次ニ財界ヲ攪亂スルト云フ此用語ニ付キマシテハ、財界ヲ不當ニ混亂ニ陥ラシムルコトヲ意味シテ居ルノデアリマス、全國的ニ財界ヲ攪亂スル場合モアリマセウシ、又地方的ニ財界ヲ攪亂スル場合モアリマセウト思フノデアリマス、只今ノ金融ノ情勢カラ致シマスレバ、地方的ニ攪亂サレタ其事ガ、全國ニ波及サレル場合ガアリ得ルノデハナイカト云フ關係カラシテ、此言葉ヲ使ッタノデアリマス、唯單ニ小部分ノ極部的ノ取引ニ、動搖ヲ生ズルト云フヤウナコトニ過ギナイモノハ、此財界ヲ攪亂スルト云フ意味ニ入ラナイモノトシテ、此文字ヲ使ッタ次第デアリマス

○勝田委員 一寸此際軍秩ヲ紊亂スル意義ニ付テ御同致シマスルガ、先般陸軍大臣ハ當議會ニ於キマシテ、現役軍人ノ政治ニ關スル意見ハ陸軍大臣ヲ通シテ發表スルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ御述ニナリマシ

タ、洵ニ私等ハ結構ナコト思ウテ喜ンデ居ルノデアリマスガ、假ニ——サウ云フ事ハ今後斷ジテ私ハ無イト確信致シマスルガ、假ニ大臣ノ御意思ニ副ハナイヤウナ人ガゴザイマシテ、大臣ヲ通ゼズシテ直接民衆ニ政治論ヲ述ベ、又政治ニ關スル意見ヲ文書トシテ發表セラレル、斯ウ云フ場合ハ、所謂軍秩ヲ紊亂シタ、斯ウ云フ中ニ包含セラレルモノデゴザイマスカ、目的云々ハ別デゴザイマスガ、軍秩紊亂ノ意味ニ付キマシテ、此事ヲ御伺シタイノデゴザイマス

○寺内國務大臣 其事ガ軍秩ヲ紊亂スル目的デアッタナラバ、或ハ本法ニ牴觸スルカト思ヒマスルガ、唯單ニ政治上ノ意見ヲ發表スルトカ云フヤウナコトハ、是ハ陸軍刑法ナリ其他ノ法令ニ依テ取締ラレルコトト思ヒマス

○勝田委員 勿論サウダト思ヒマスガ、是ハ事實ノ有無ヲ問ハズ、所謂人心ヲ惑亂スル、軍秩ヲ紊亂スルト云フ目的ヲ以テ、文書圖畫ヲ發行シタ場合ニハ、事實ノ有無ヲ問ハズシテ此法ノ適用ヲ受ケルモノト思ヒマスガ、是ハ如何デスカ

○當場政府委員 左様デゴザイマス

○勝田委員 是ハ潮内務大臣ニ御伺スルノデゴザイマスルガ、先般ノ本議會ニ於キマ

シテ、潮内務大臣ハ、安寧秩序ヲ害スル、治安ヲ妨害スルト云フコトノ中カラ、此人心ノ惑亂、財界ノ攪亂、軍秩ノ紊亂、斯ウ云フ三ツヲ拾ヒ出シテ特ニ規定ヲ設ケタノデアル、斯ウ云フコトヲ御説明ニナッテ居ルノデアリマス、安寧秩序ヲ妨害ト云フ中カラ此三ツヲ御拾ヒニナリマシテ、何ガ殘リマスルカ、二三御教示ヲ願ヒタイノデアリマス

○潮國務大臣 明瞭ニ殘ルデアラウト思ヒマスルモノハ、例ヘバ國交ニ關スル問題デアリマス、ソレカラ廣ク安寧秩序ト日本デ申シマスレバ、ソレハ文字ハ皇室ノ尊嚴ト云フヤウナ文字モゴザイマスケレドモ、廣イ意味ナラバ、是ハ安寧秩序ヲ當然紊亂コトニナリマス、サウ云フコトデ廣イ意味ノ安寧秩序ト申ス中カラ、此三ツノ目的ヲ拾ヒ出シタ、斯様ニ申上ゲタノデアリマス、或ハ朝憲紊亂デゴザイマストカ、御承知ノ通り色々ナ文字ガ使ッテゴザイマス、廣義ニ於ケル安寧秩序ト云フ意味カラ拔出シタノデゴザイマス

○勝田委員 此點ニ付キマシテハ吾々相當意見ト疑問ヲ持ッテ居リマスガ、是ハ他ノ機會ニ於キマシテ申上ゲタイト思ヒマス、次ニ司法大臣ニ御伺致シタイノデアリマスル

ガ、第一條ニ「人心ヲ惑亂シ、軍秩ヲ紊亂シ、又ハ財界ヲ攪亂スル目的ヲ以テ」云々トアリマス、此目的ノ意義デアリマスルガ、目的ト云フノハ斯ウ云フコトヲ策謀スル——斯ウ云フコトヲ動機トシテ是々ノ事ヲヤッタ場合、斯ウ云フ意味デアリマスルカ、斯ウ云フ事ガ起ルデアラウト云フコトヲ認識シテヤッタ場合モ包含スルモノデゴザイマスカ、此點ヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○林國務大臣 只今ノ御尋ニ對シテ御答致シマス、第一條ニ特ニ目的ヲ以テト云フコトヲ加ヘマシタノハ、普通ノ認識デハ犯罪ガ成立シナイト云フコトヲ明ニ致シマシタノデ、要スルニ特ニ人心ヲ惑亂スルトカ、軍秩ヲ紊亂スルトカ、財界ヲ攪亂スル考ヲ以テ治安ヲ害スル事項ヲ掲載スル、斯ウ云フ場合ニ罰スルト云フ趣旨デゴザイマス

○勝田委員 是ハ相當本法ノ運用ニ付キマシテ重大ナル點デアリマス、例ノ、御承知ノ通り選舉法ニ於キマシテ、當選ヲ得シムル目的ヲ以テ「トアル此目的ノ字ノ解釋ニ依リマシテ、非常ニ選舉法ノ運用ガ吾々ノ期待ニ反シテ居ル結果ニナッテ居ルノデアリマスルカラ、重ネテ御伺致シマスルガ、左様ニ致シマスレバ、サウ云フ動機デト、

斯ウ云フヤウナ風ニ考ヘテ宜シイノデゴザイマスカ

○林國務大臣 要スルニ、唯普通ニ治安ヲ害スル事柄デアルト云フコトヲ知ッテ、之ヲ發行シマシテモ、犯罪ニハナラヌノデアリマス、茲ニ掲ゲテアル三ツノ考デヤリマシタ場合デアリマスカラ、御尋ノ動機ト云フコトモ色々ニ解釋サレルト思ヒマスガ、大體サウ云フコトニ御解釋ニナッテ差支ナイト思ヒマス、サウ云フ特別ノ考ガアッタ場合ノミヲ罰スル精神デアリマス

○勝田委員 是ハ法律ノ運用ニ關スルコトデアリマスカラ、勿論司法大臣ガ只今御言明ガアリマシタカラ間違ナイト思ヒマスガ、内務省ニ於キマシテモ大體サウ云フ御考デアラウト信ジマスガ、左様承知致シテ宜シウゴザイマスカ

○潮國務大臣 左様デゴザイマス

○勝田委員 最後ニ御伺致シタイノデアリマスガ、本會議ニ於キマスル内務大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、又總理大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、斯ウ云フ法律ヲ作ラナケレバナラスト云フコトハ洵ニ遺憾デアル、併ナガラ現在ノ時勢已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ事ヲ理由ニ致シテ居ラレルノデアリマス、吾々モ固ヨリ左様ニ感ジテ居ルノデゴ

ザイマスガ、然ラバ此法律ハ所謂非常立法ト申シマスカ、斯ウ云フ非常時ニシテ初メテ吾々ガ存在ヲ許シテ宜イヤウナ法律デア、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、大體サウ云フ非常立法ノ性質ニ屬スルモノデアルト考ヘテ宜シイノデゴザイマスガ

○潮國務大臣 只今デモ私ハ洵ニ斯様な法律ノ要ル時勢ヲ遺憾ニ思ッテ居ルノデゴザイマス、デアリマスカラ非常立法ト云フ御言葉デモ宜シイト思ヒマスガ、兎ニ角ヤハリ特別法ナドニ致シタノモ、一ツハ左様な趣旨ヲ持ッテ居ルノデアリマス、斯様な法律ノ要ラナクナリマス時期ノ早ク來ルコトヲ、希ッテ居ル次第デゴザイマス

○勝田委員 大體法案ノ御趣旨ニ付キマシテ、政府ノ御意思ノアル所ヲ大體私ハ拜承スルコトガ出來タノデアリマス、詳シイ字句ニ關スル疑問ナドニ付キマシテハ、他ノ機會ニ或ハ他ノ委員カラ御質問セラレルトト信ジマス、ソコデ私、内務大臣ニ御伺スルノデゴザイマスガ、内務大臣ガ此法案ヲ制定セラレルニ至リマシタノハ、無論先程申シマシタヤウナ現在ノ時勢ノ要求デアリマスケレドモ、是ト同時ニ一面ニ於キマシテハ、言論界ヲ明朗ニスル、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレルノデアリマス、或ハ内務

大臣御自身ガ仰シヤツカドウカ知リマセヌガ、吾々新聞或ハ其他ノ報道ニ依リマシテ、内務大臣竝ニ内務省首脳部ノ御意嚮ハ此法律ニ依ッテ世ノ中ヲ暗クスルト云フヤウナ考ハ毛頭持ッテ居ラヌ、寧ロ世ノ中ヲ明るクスル、斯ウ云フ考デ此法律ヲ作ッタノデア、斯様ニ言ッテ居ラレルノデアリマスガ、本會議ニ於キマスル吾々同僚ノ質問ニモゴザイマシタル通りニ、此不穩文書ハ所謂時代ノ產物デゴザイマシテ、古今東西ノ歴史ニ鑑ミマシテモ、不穩文書ノナイ時代ハ殆ドナイノデアリマス、而シテ此不穩文書ト申シマスルカ、怪文書ト申シマスルカ、是等ノ吾々ガ排斥セナケレバナラヌ文書ノ横行ノ状態ヲ吾々ガ洞察致シマスル時ニ、國家ガ非常ナル力ヲ以テ民衆ノ言論ヲ壓迫致シマシタ時代ニ於キマシテ、其力ニ比例致シテ所謂怪文書ガ横行致シテ居ルノデアリマス、是ハ何故サウ云フコトニナルカト申シマスルト、申ス迄モナク人間ハ何ト云ッテモ言論ノ自由ト云フコトヲ本能的ニ要求致シテ居ル者デゴザイマスガ、片ッ方デ力ヲ抑ヘスレバ片ッ方ガ膨レル、丁度空氣枕ノ一端ニ頭ヲ載セマスルト他ノ一方ガ膨レルト同ジデアリマスルカラ、正當ナ適法ノ言論文章ニ對シテ力

ガ加ヘラレマスルニ隨ヒマシテ、不法ナル所謂怪文書ガソレト正比例シテ横行スルノデアリマス、此事ハ私ガ申ス迄モナク、先般ノ本會議場ニ於キマシテ、吾々ノ同僚カラ悉ク此點ニ付キマシテ、御述ニナッテ居リマスカラ私ハ是レ以上申上ゲマセヌ、ソコデ私ハ御伺スルノデアリマスルガ、之ヲ具體的ニ申上ゲマスレバ、記事差止ノ事項ガ多クナリ、記事差止解除ノ手續ガ緩漫ニナル、之ニ隨ッテ所謂怪文書ガ勢ヒヲ増シマス、露骨ニ申シマスルト、極端ナ例デアリマスルカラ誤解ノナイヤウニ願ヒタイノデアリマスルガ、一切ノ言論文章ニ對シマシテ、國家ガ何等ノ取締モセナイト云フコトヲ假定致シマスレバ、所謂怪文書ト云フモノハナット思フ、或ル程度ノコトハ書イテイカヌ、或ル程度ノコトハ言ッチャイカヌ、斯ウ云フコトニナリマスルト、書イテハイケナイト云フコトハ人ガ知リタイノデアリマス、言ッテイケナイト云フコトハ人ガ聞キタイノデアリマス、斯ウ云フ所カラ怪文書ト云フモノガ出テ來ル、無論他ノ理由カラモ出ルノデアリマシテ、近時ノ所謂怪文書ト云フモノハ、モット深刻ナモノデアリマスガ、大體怪文書ト云フモノハ、サウ云フ傾向ヲ持ッテ居ル、斯ウ云フ法律ヲ御出

シニナッテ、而モ言論界ヲ明朗ニスルノダト云フコトデアリマスルガ、何カ法律ヲ御出シニナル動機トシテ、言論界ヲ明朗ニスル爲ノ具體的方策ヲ御講ジニナッテ居リマスカドウデアリマスカ、御講ジニナッテ居ラヌトスレバ、近クソレ等ニ付キマシテ何カ御心配ガアルノデアリマスカドウデアリマスガ、此點ニ付キマシテ御伺スルノデアリマス

○潮國務大臣 勝田君ノ御説ノ言論抑壓ガ加ハラナケレバ——普通言論ノ方ヲムツカシク取締レバ兎角怪文書ガ殖エルヂヤナйкаト云フ御話ハ、私本會議デモ御答申シテ置キマシタヤウニ、其傾向ハ確ニアリマセウト思フ、唯言論ノ絕對自由ト云フコトハ、何レノ時代ニ於テモ、是ハ考ヘ得ラレナイ、多少時勢々々ニ依ッテ緩急ハ無論ナクチャナリマセヌ、言論ノ自由ガ相當尊重サレテモ、色々社會ガ複雑ニナッテ參リマシタカラ、所謂怪文書ト云フモノガ飛ブコトガ全然止マルモノデハナイト思フ、併ナガラ怪文書ノ取締ト云フコトト、一般言論ニ對スル尊重ト云フコトトヲ混同シテハナリマセヌノデ、私共其惡性ノモノハ此法律デ取締リマスケレドモ、新聞雜誌普通ノ言論界ニ對スル、或ハ差止デゴザイマスツカ、注意

ト云フヤウナモノハ、成ルベク之ヲ寛ニシテ行カナケレバナラス、又寛ニスルヤウニ此時勢ヲ運シ行カナケレバナリマセヌガ、左様ニ致シマスルナラバ、一方ニ惡イモノノ横行ヲ防ギ、善イモノガ伸ビテ行ク、斯様ニナルノデアリマス、又サウ云フヤウニ努力シナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○勝田委員 潮内務大臣ノ御答、私同意スルノデアリマスガ、私ノ御伺致シマシタノハ、内務大臣御就任ニナリマシテ、何カ正當ナル言論文章ニ對シマシテ、從來以上ニ之ヲ明朗化セシムル爲ニ具體的ノ御處置ヲ御執リニナツタカドウカ、御執リニナリマスカドウカ、又御執リニナルト云フコトデアリマスレバ、其計畫ヲ御伺シタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、抽象的ノ議論トシマシテハ、私内務大臣ト少シモ意見ガ違フノデハゴザイマセヌ、唯實際ドウ云フ點ニ付テ明朗ニスルト云フ御處置ガアツタノデアリマスガ、之ヲ御伺シタイノデアリマス

○潮國務大臣 申上ゲマス迄モナク、東京市内ノコトニ付キマシテハ、私就任致シテ以來ズツト戒嚴ノ方デヤツテ居リマス、其他ノ部分ニ付キマシテハ、私ノ權限デアリマ

スノデ、其方面ニ付キマシテノ事例トシテ申上ゲマスレバ、随分他ノ地方ニ於キマシテ、斯様ナコトハ新聞ノ方ニ向ッテモ差止事項ニナルノデヤナイカと思ハレル節モアツタ事例ガアルノデアリマスケレドモ、私ハ左様ナ手段ヲ抑ヘテサウ云フコトニサセナカッタ事例ハアルノデアリマス、ソレハ極ク少數デアリ、或ハ微々タルモノト御考ニナルカモ知レマセヌガ、私ノ考ハソレデ現レテ行クノダト存ジマス

○勝田委員 此際其點ニ對シマシテ一言希望ヲ申上ゲマス、私等ノ承知致シテ居リマスル範圍ニ於キマシテハ、從來記事ノ差止ニ於キマシテハ、時トシテ非常ナ矛盾ガアルノデアリマス、即チ之ヲ具體的ニ申上ゲレバ當然記事ヲ差止メテモ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ御放任ニナツテ置イテハ所謂人心ヲ惑亂スルデアラウ、斯ウ考ヘマスル記事ニ對シテ差止ガナイ、然ルニコンナ事位ハサウヤカマシク仰シヤラズニ放任セラレテ宜カラウ、斯ウ思ヒマスルヤウナ事ガ記事差止ニナツテ居ル、是ハ私實例ヲ申上ゲマスルコトハ時間モ取りマスルシ憚リマスカラ申上ゲマセヌガ、賢明ナル内務大臣ニ於キマシテハ、私ガ是ダケ申上ダレバ、大體御諒承下サルコトデアラウト信ジマ

ス、ドウカ此點ヲ成ベク吾々ノ常識ニ合致シマスヤウニ御取扱ヲ願ヒタイ、是ガ言論界ヲ明ルク致シマス第一ノ條件デアルト信ジマス、第二ハ兎角記事ノ差止ニ對シマシテハ、中々敏捷勇敢ニオヤリニナル、時トシテ手拔カリハゴザイマスガ、中々敏捷勇敢デゴザイマス、然ルニ此差止ヲ解除スル點ニナルト案外怠慢デアリマス、是ハ内務大臣竝ニ警保局長ニ於カセラレマシテモ、時々御監督ニナツテ居ルコトト信ジマスガ、成ベク斯ウ云フコトハ、民意ニ副フヤウニ、即チ差止ノ勇敢ナルコトハ結構デアリマスカ、差止ノ解除、是ハ必要ガナクナツタナラバ遲滯ナク御實行願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ希望スルノデアリマス、ソレカラ第三ハ差止命令ノ範圍デゴザイマスガ、之ヲ出來ルダケ縮小シテ戴キタイ、サウシテ出來ルダケ範圍ヲ明確ニ願ヒタイ、斯ウ云フコトガ言論界ヲ明朗ニスルコトデハナカラウカと思フ、餘リニ範圍ガ茫漠ト致シテ不明確デアリマスル結果、何處マデガ書イテ惡イノカ、何處マデ書イテ宜イノカ、判斷ニ迷フノデアリマス、要ラザル遠慮ヲ致スト云フノガ今日ノ實際デアリマス、言論ノ自由ヲ尊重シテ世ノ中ヲ明朗ニセシムル、斯ウ云フ御意思デゴザイマスレバ此點ハ

特ニ御考ヲ願ヒタイト考ヘマス、ソレカラ尙ホ特ニ御願スルノデゴザイマスガ、所謂言論ノ壓迫、世ノ中ガ何ダカ暗クナルト云フ點ニ付テハ、是ハ單ニ私ガ先般來申上ゲマシタ官廳ノ合法的ノ處置ダケデハゴザイマセヌ、露骨ニ申上ゲマスレバ、非合法的ノ言論ノ壓迫ト云フコトガ、最モ言論ノ自由ヲ束縛スルノニ今日マデ大ナル力ヲ持ッテ居ッタノデハナカラウカト考ヘマス、ソコデ内務大臣ハ此點ニ關シテ、此席ニ於テ明白ニ、國家ガ國家ノ力ヲ十二分ニ發揮シテ、正當ナル言論ハ之ヲ保護シ、若シ之ニ對シテ非合法ノ手段ニ依リ言論壓迫ヲ致ス者ガアレバ、斷乎トシテ之ヲ排撃スルコトニ躊躇スルモノデナイト云フコトヲ、此不穩文書取締法案ノ委員會ニ於テ明瞭ニ御言明ヲ願ヒ、且ツ御實行願ヒタイモノデゴザイマス、此點ニ付テ何カ御感想デモ承ルコトガ出來マスレバ洵ニ仕合セデアリマス

○潮國務大臣 種々新聞記事差止等ニ付テ御注意下サイマシタ點ハ、何レモ私ハ御同感デアリ、又適切ナル御注意デアルト拜聴致シマシタ、更ニ最後ニ御述ニナリマシタ非合法ノ言論ニ對シテ、合法ナラザル手段ヲ以テ濫リニ壓迫ヲ加ヘルト云フコトハ甚ダ

宜シクナイ、取締ヲ十分ニシテ斯ウ云フ方面ニハ嚴重ニヤッテ參ル積リデゴザイマス

○勝田委員 ソコデ私伺フノデアリマスルガ、劈頭ニ伺ヒマシタ所謂新聞雜誌ニ本法ノ適用ガアルカナイカ、無論ハハ申スマデモナク第一條第一項ニ依リマスルト、適用ガアルノデアリマスルガ、從來新聞雜誌等其責任者ガ明白ニナッテ居リマスル文書ヲ御調ニナリマシテ、此法律ノ規定ノ適用ヲ受ケベキモノデアルト御認定ニナリマシタモノガゴザイマスカ、無論此點ニ付テ私昨日申上ゲルコトヲ保留致シマシタガ、是ハ率直ニ申シマスレバ、新聞雜誌ノ中デモチッボケナ吾々ノ眼ニ容易ク入ラナイヤウナ新聞雜誌ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナモノモ間々アルデゴザイマセウ、併ナガラ吾々ノ聞カント欲スル所ハ——無論ソレモ伺ッテ結構デアリマスガ、主トシテ聞カント欲スル所ハ、吾々ガ常識的ニ所謂新聞雜誌トシテ取扱ッテ居リマス文書ニ於テ、此法律ノ適用ヲ受ケルヤウナ記事ノアツタ事實ガアリマスカドウカ御伺シタイト思ヒマス

○潮國務大臣 御同様ガ日常敬意ヲ拂ッテ居リヤウナ新聞雜誌等ニ於テハ、左様ナモノハゴザイマセヌ、唯極メテ少數ナモノニ付テ實例ノアルコトハアリマス、併シハ

極メテ少數デ小サイモノデアルト思ヒマス

○勝田委員 私ハ内務大臣ニ御答辯ヲ承リマシテ洵ニ安心シタノデアリマス、又サモアルベキコトデアリマス、ソコデハ警保局長デ結構デゴザイマスガ、序デデアリマスカラ伺ヒマス、吾々ノ眼ニ容易ニ入ラナイ所ノ、何ト申シマスカ、言葉ガ惡イカラ申上ゲマセヌガ、小サイ新聞デ此法ノ適用ヲ受ケルヤウナモノガ、從來ドレ程ゴザイマシタカ、多少アルト信ジマスガ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○賣場政府委員 今直チニ正確ナ數字ヲ申上兼ネルノデアリマス、非常ニ遺憾デアリマスガ、最近ノ事例ヲ申上ゲマスナラバ、此法律ガ施行サレタナラバ、適用ヲ受ケルダラウト思ハレル所謂新聞紙法ノ新聞紙ガ私ノ手許ニ一紙ダケアリマス、尙ホ雜誌ニ付キマシテハ一誌ゴザイマス

○勝田委員 ソコデ私ハ伺フノデアリマスガ、是ハ或ハ議論ニナリ、見解ノ相違ニナルカモ知レマセヌガ、所謂吾々ガ稱シテ新聞雜誌トシテ取扱ッテ居リマスモノニハ、未ダ曾ツテ此法律ノ適用ヲ受ケルヤウナモノハナカッタ、今後ノコトハ別デアリマス、サウシテ吾々ノ目ニ觸レナイデ、新聞紙法ノ適用ヲ受クル新聞雜誌ガ僅ニ各、一ツアル、

斯ウ云フ事實ハ是ハ動カヌノデアリマス

ガ、唯斯ウ云フ事實ニ即シテ此第一條第一項ヲ制定セラル、ト云フコトハ、餘程私ハ考物デハナイカト思フ、此第一條第一項ハ御承知ノ通りニ新聞雜誌、今申シマシタヤウナモノヲモ包含シテ、是ガ適用ヲ受ケルノデアリマス、然ルニ今承ッタヤウナ小新聞ニ唯一ツシカナイヤウナ、出版界ニマデ此法律ヲ適用シテ、是ガ爲ニ吾々ノ飯トモ言ヒ、生活必需品トモ考ヘラレル所ノ新聞雜誌ニ對シマシテ、此法律ヲ以テ臨ムト云フガ如キコトハ、私ハ何ト致シマシテモ、少常識ガ外レテハ居ラナイカト云フヤウナ感ジガスルノデアリマス(「ヒヤ」)「ヒ」サウ云フ點ニ付キマシテ、何カ特別ノ御考慮ガナカッタノデアアルカドウカ、何故サウ云フモノマデ包含スルヤウナ法律ヲ此際御作リニナリマシタカ、從來ノ實例ニ依ッテハ無イガ、今後ハ吾々ノ所謂新聞雜誌ト稱スルモノニ於テモ、サウ云フ危險ガアル、斯ウ云フヤウナ御心配カラ出タノデアリマスカ、又サウ云フ御心配ハ只今デモシテ居ラナイカ、何カ他ニ理由ガアルト云フノデアリマスカ、此點ニ付キマシテ、是ハ相當重大ナル點デゴザイマスカラ、明確ニ御答辯ヲ願ヒタイト考ヘマス

○賣場政府委員 洵ニ御尤ナ御疑問デアリマス、此一條ノ第一項ヲ置キマシタ私共ノ心持ハ、祕密文書ヲ防遏スルコトニ依ッテ、合法的ニ或ハ人心ヲ惑亂スル目的ヲ以テ、或ハ軍秩ヲ紊亂スル目的ヲ以テ、治安妨害ノ記事ヲ掲ゲル、何ト申シマスカ、非常ニ言惡イ言葉デアリマスガ、勝田サンノ御言葉ヲ以テスレバ、小サイ新聞雜誌、際物のナモノ、ソレガ此方ノ方ヘ流レテ來ルンデヤナイカ、之ヲ此規定デ防止シタイト云フ意味デゴザイマシテ、所謂一般ノ新聞雜誌ニ付テ豫想シタ條文デゴザイマセヌ

○勝田委員 ソコデアリマス、ソコガ吾々ト非常ニ見方ノ違フ所デアリマシテ、斯ウ云フ小サイ、殆ドアルカナイカ分ラナイヤウナ新聞、僅ニ一紙シカナカッタヤウナ新聞ヲ取締リマス爲ニ、總テノ出版界ガ大恐慌ヲ起サヤウナ法律ヲ作ルト云フコトハ、先程伺ヒマシタ時ニ潮内務大臣ガ此法律ニ依ッテ言論界ヲ明朗ニスル、斯ウ言ハレルノハ其趣旨ト非常ニ遠イ所ガアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、所謂祕密出版、只今警保局長ガ御述ベニナリマシタガ、私等ガ常識的ニ祕密出版ト稱シ、且ツ考ヘテ居リマスル文書ハ、第一條第一項ノ文書デハゴ

ザイマセヌ、ソコデ私伺フノデアリマスガ、假ニ所謂新聞デモサウ云フモノガアッデハナラヌ——ナラヌノハ私同意致シマスルガ、サウ云フヤウナ一ツカニツシカナイモノヲ捕ヘマシテ、斯ウ云フ法律ガ出來ルト云フコトハ非常ニ遺憾デアリ、不幸デアリマスルガ、一體第一條第一項ハ祕密文書デナクテ、私ハハッキリシタ明朗文書デアルト思フ、内容ハ別ト致シマシテ、形式ハ明朗ニナッテ居リマス、隨テ斯ウ云フモノガ出版セラレルト云フ場合ニ於キマシテハ、納本ヲセラレルノデアリマス、納本ヲセナイ場合ニ於キマシテハ、別ニ規定ガアルノデアリマスカラ、第一條第一項ニ付キマシテハ納本スルノデアリマス、雜誌デゴザイマスレバ御承知ノ通り三日前ニ納本スル、新聞デゴザイマシテモ納本ハスル、是ハ誰デモ常識デ分ッテ居ルノデアリマスカラ、斯ノ如キモノニ對シテ豫防警察ノ力ニ依リマシテ此弊害ヲ防止スルコトハ私相當樂デアラウ、其基礎位ノコトハ警察當局ニ於キマシテ私達ハ御勉強ニナルノガ當然デアラウト思フ、サウ云フ勉強ヲシナクテ、面倒臭イカラサウ云フモノガ出來タラ十把一括デニヤッデシマヘト云フヤリ方、考ヘ方ハ、私ハ庶政一新ノ政府ト致シマシテハドウカト

思フ、惡用セラレタカドウカハ、ハッキリ分ル、僅ニ一二ノ新聞ニ對シマシテナラバ相當方策ヲ講ジテ、之ヲ未然ニ防グコトガ出來ル、又納本ニ關スル取締規定ヲ改正致シマスレバ、ソレダケデモ出來ルノデアリマス、之ヲヤラナイデ、私ハ斯ウ云フヤウナ大キナ刑罰ヲ科スルコトニシテ、言論界ニ臨マレルト云フコトハ、甚ダ不穩當ナヤウニ考ヘルノデアリマス、尙ホ定期刊行物ニ付キマシテハ、私ガ申上ゲル迄モナク、大體ニ於テ責任者ガ分ッテ居ルノデアリマスカラ、責任者ノ自省ニ依リマシテ大多數ハ解決スルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ定期刊行物ニ付キマシテ吾々ガ思フ致シマスル時ニ、何トシテモ此法律ニ依ッテ定期刊行物ニ臨ムト云フコトハ、如何ニモ私等ハ解セマセヌ、或ハ當局者ハ仰シヤルデゴザイマセウ、サウ云フモノハ此第一條ノ目的ヲ治安維持ニ反スル記事ヲ書カナイニ違ヒナイ、違ヒナイノデアリマスカラ、御心配御無用ダ、堂々トオヤリナサイ、是モ確ニ一議論デアリマス、理窟ト致シマシテハ其通りデゴザイマスガ、中々實際ハサウハ行キマセヌ、斯ウ云フ規定ガゴザイマスト、隨分言論界ハ後退スル、何處マデ行ッたら此第一條ノ規定ニ掛ルカ、何處マデ行ッたら掛

ラナイカト云フ限界ハ誰ガ認定スルカト言ヘバ、今日ニ於キマシテハ警察デアリ、司法官デアル、認定セラレレバ最後デアルト考ヘマスル時ニ、言論界ハ後退セザルヲ得マセヌ、是ハ常識デ御分リニナルト思フ、ダカラ斯ウ云フコトヲ引掛ラナイヤウニ書ケバ宜イデヤナイカト云フ抽象論デ、私ノ申上ゲル所ヲ排斥サレテハ困ルノデアリマス、私ハ實際ニ即シテ申上ゲテ居ル、一小新聞ヲ取締ル爲ニ是ダケノ大キナ言論界ノ犠牲ヲ要求スル方ガ正シイノデアリマスカ、此價值効用カラ此條文ヲ考ヘマス時ニ、ドウ云フ感じガ致シマスカ、吾々ガ此法文ヲ見マシテ第一條第一項ニ對シテ、劈頭閃イタ感想ハ只今私ガ申上ゲマシタソレデアリマス、ソレニ對シマシテ、率直ナル御感想ヲ承リタイ、御意見ガアレバ拜聴致シマス

○**萱場政府委員** 第一條第一項ヲ設ケマシタ趣旨ハ先程申シマシタ通りデアリマシテ、此不穩文書等取締法案ニ依リマシテ、所謂怪文書トシテ流布サレテ居リマス部分ノモノヲ一條ノ二項或ハ第二條ノ規定ニ依ッテ取締ルコトニナリマスレバ、自然所謂合法ノ假面ヲ被ッテ、不正ノ目的ヲ以テ治安ヲ攪亂スルモノガ現ハレテ來ルダラウ、サウスレバ自然其結果ト致シマシテ、治安確保ノ上ニ於テ不安デアルト云フ考カラ此規定ヲ置イタノデアリマス

○**勝田委員** 其處ガ吾々ト非常ニ當局ノ意見トノ違フ所デアリマス、現在ナイ、現ハレテ來ルカモ知レヌカラト云フヤウナコトデ、國民ノ言論ノ自由ヲ制限スル、分ラナイ將來ヲ捕ヘテサウシテ斯ウ云フヤウナ法律ヲ拵ヘルト云フコトガ、善イカ惡イカト云フコトヲ率直ニ承リタイ、統計ガ明ニ吾吾ニ示シテ居ル、明朗ナル形式ニ於ケル文書ニハ所謂不穩文書ナシト云フコトヲ明瞭ニ統計ガ示シテ居リマス、此統計ヲ無視シテ——ト申セバ或ハ失禮カモ知レマセヌガ、所謂サウ云フヤウナ態度デ御ヤリニナルト云フコトハ、ソレハヤッタ宜イデアリマセウ、取締ル方カラ云ヘバ便宜デセウ、併ナガラ取締ラレル方カラ申セバ何モサウ云フコトハシテ居ナイノニ、ボカッテ持ッテ來ラレルカラ是程迷惑ナコトハナイ、自分等ノ仲間ガサウ云フコトヲシテ居ッたら云フノデ、サウ云フ規定ガ作ラレルノナラバ已ムヲ得ヌデセウガ、何モナイ、何モナイガ隣リデ變ナコトヲスル奴ガアルカラト云フノデ——コッチヲ取締ラナケレバコッチガ膨レテ來ルデアラウト云フノデ、明朗ナル言論文書ニ對シテ、斯ウ云フ規定ヲ置クコト

が善イカ悪イカ此點ニ付テモウ一度伺ヒタイ

○潮國務大臣 警保局長カラ御答シタ通りデアリマシテ、一般正常ナル新聞紙ナドニアラウトハ考ヘモ致シマセヌ、併シ事實ハ少數トハ言ヒナガラアルノデアリマス、アッタノデアリマス、左様ナモノガ又將來第二項デアルトカ第二條トカデ色々取締ラレマスト、名義ナドヲチャント現ハシテ、一項ノ中ニ流レテ來ルモノナドガアッテモ困ルシ、ソレカラ又はハ新聞紙バカリデナク、苟モ出版物トナリマスレバ廣ク一條ノ一項ニ入ルノデアリマス、左様ナ意味ヲ以テ第一條ニ規定シタノデアリマス

○勝田委員 是ハ是以上色々申上ゲマスレバ全ク議論ニナル、見解ノ相違ニナリマスカラ私ハ申上ゲマセヌ、此點ハ篤ト御考慮ヲ願ヒタイ、一體法律サヘ拵ヘレバ世ノ中ガ取締レルト云フヤウナコトヲ考ヘマスルノガ惡イコトハ勿論デアリマシテ、取締ル必要ノナイ社會マデ國家ノ權力、殊ニ強制力ヲ及ボス、是ハ私ハ一ツノ罪惡デアルト考ヘテ居ル、先程私ガ劈頭ニ御伺シマシタ此法律ハ非常立法デアルカドウカト云フコトハ其點デゴザイマシテ、若シ非常立法デアル、止ムニ止マレヌデ此法律ヲ作ルノデ

アルト云フ、斯ウ云フ御信念ガアッテ、ソレカラ出發シテ涙ヲ揮ッテ馬謖ヲ斬ルト云フヤウナ考デ此法律ヲ御作りニナッタノデアレバ、ココマデ行クト云フコトハ、行過ギデヤナイカ、内務大臣ノ立法ノ當初ニ持ッテ居ラレタ所ノ考ト、現レタ法律トハ餘程矛盾シタ結果ガ現レテ居ルノデヤナカラウカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、是以上ハ私ハ御答辯ヲ要求致シマセヌ、是ハ全ク意見ノ相違デアルト考ヘマス、私ハ左様ニ堅ク信ジテ居ルノデアリマス、ドウカ此點ニ付キマシテ篤ト御再考ヲ煩ハシタイ、斯様ニ思フノデアリマス

○齋藤委員 一寸關聯シテ質問シタイ、簡單デス

○熊谷委員長 簡單ナラ許シマス

○齋藤委員 只今勝田君ノ質問ハ、主ニ定期刊行物ニ付テ御質問ガアッタヤウデスガ、不定期ノ刊行物デ、文書圖書ニ付テ第一條第一項ニ該當スルヤウナ事犯ガアッタノデスカ、其統計ヲ示シテ戴キタイ

○萱場政府委員 今計數ヲ正確ニ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、實物ヲ持ッテ來テ居リマスカラ、適當ノ機會ニ御覽願ヒタイト思ヒマス

○齋藤委員 ヤハリ一箇年ニ何件アッタ

云フヤウナ數ガ吾々必要ナンデシテ、ソレハ大概御調査ガアラウト思フノデス、是程ノ法案ヲ出サレルノデアリマスカラ、ソレ程ノ御準備ガアルヤウニ思フノデスガ……

○萱場政府委員 此第一條第一項ニビッタリ當嵌マル件數デアルカドウカハハッキリ申上ゲ兼ねマスガ、安寧秩序紊亂ノ條項ニ依リマシテ、出版法ニ依ッテ禁止サレタ件數ガ、昭和十一年ノ一月カラ四月迄既ニ三百五十三件ゴザイマス

○齋藤委員 ソレハ既ニ出版法ニ依ッテ處罰サレタノデアリマスカラ、吾々ハ第一條第一項ヲ審議スルニ必要ハナイノデアリマス、第一條第一項ニ該當スル事犯ヲ伺ッテ居ルノデアリマス

○萱場政府委員 只今手許ニ參リマシタ、十三件トナッテ居リマス

○齋藤委員 分リマシタ

○勝田委員 次ニ此法律ノ實際上ノ運用ニ付キマシテ二三御同致シタイノデアリマス、實ハ此法律ノ内容ニ付キマシテ、剪頭ニ御伺ヲ致シマシタ中ニ付テ多少意見モアリ、御伺シタイコトモアリマスガ、餘リ私ガ長イ時間ヲ頂戴致シマスコトハ、ドウカト考ヘマスカラ、ソレ等ハ他ノ委員ニ御譲リ致シマシテ、此法律ガ制定セラレマシタ

曉ニ於ケル運用ニ付キマシテ二三御同致シタイノデアリマス、先ヅ第一ニ御同致シタイノハ、先般秘密會ニ於テ伺ッタコトデゴザイマスルガ、此法律ガ出來マスル迄ニ第一條第二項若クハ第二條ノヤウナ怪文書ガ出タ、是ハ無論怪シカラヌモノデゴザイマスルカラ、警察ハ全力ヲ擧ゲテ是ガ處置ニ奔走セラレタコトト信ジマスルガ、之ニ依ッテ御發覺ニナリマシタノハ——得タト思料セラル、モノデ、ドウ云フヤウナ「パーセントー」ニナリマスルカ、是ハ詳シイコトハ要リマセヌ、大體皆掴マルモノデアルカ、掴マラヌモノデアルカ、斯ウ云フコトニ付テ御同致シタイ、簡單デ宜シウゴザイマス

○萱場政府委員 是ハ甚ダ遺憾ナコトデアリマスガ、全部其出版或ハ頒布ヲ防止シ得ルト云フ成績ニハナッテ居リマセヌデ、寧ロ率直ニ申上ゲマス、從來非常ニ成績ガ惡イヤウナコトニ相成ッテ居リマス

○勝田委員 ソレハ一面ニ於キマシテハ、洵ニ残念ナコトデゴザイマス、又一面之ヲ搜查セラレル側カラ見マスレバ、一片同情スベキ點ガアルノデアリマス、即チ何故是ガ掴ラヌカト申シマスレバ、刑罰ガ殆ド成ッテ居ナイ、大體ノ者ハ五十圓以下ノ罰金ニ

ナッテ居ル、是ガ怪文書ヲ撰ヘルコトガ出來ナイ大キナ理由デアルト思フ、何故カト申シマスト、甚ダ失禮ナ言分デゴザイマスガ、今日ノ警察官ハ悉ク神様ノヤウナ立派ナ人バカリデゴザイマセヌ、寧ロ吾々ガ率直ニ申上レバ、ソレト反對ノヤウナ事實モ相當アルノデアリマス、先般ノ選舉ニ於キマシテハ、懸賞ヲ付ケラレテ働イタヤウナ警官ガ、日本全國津々浦々ニ居ル、五十圓ノ罰金デハ懸賞ニナリマセヌ、露骨ニ申シマスト、ヤハリ二年トカ三年トカ云フヤウナ刑罰ガ、其犯罪ニ對シテ科セラレテ居ルト云フコトニナリマスト、之ヲ撰ヘデ手柄ヲシテト、斯ウ云フ感じニナリマスノデ、相當ヤルデセウカ、何ダ撰ヘテ見テモ五十圓ノ罰金デヤナイカ、サウ云フコトガ私ハ相當アルト思フ、私ハ是ハ警保局長ヲ辯護スルノデハゴザイマセヌガ、率直ニ申シマスト、必ズサウ云フコトガアルト思フ、ソコデ今度此法律ガ出來マスレバ、サウ云フコトハナクナルデアリマセウガ、併ナガラソレ以外ニ此法律ヲ運用スルコトニ付キマシテ、何カ特別ノ具體的ナ方法ニ付テ御考デゴザイマスカ、例ヘバ之ニ付テ特別ノ機關ヲ設ケルトカ、ソレニ必要ナル豫算ガドレ位デアルトカ、何カアルノデアレバ御

示シテ願ヒタイ、現在ノ機構ノ儘デ刑罰ダケ上ゲテ取締ニ當ラレル御考デアルカ、此點ニ付キマシテ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○萱場政府委員 只今マデ是ガ頒布ノ防止ニ付キマシテ、豫期通りノ成績ガ行カナカッタコトニ付キマシテハ、色々御話ガアッタノデアリマスガ、今後此實績ヲ舉ゲル爲ニ、私只今考ヘテ居リマスコトハ——ソレヲ實行ニ移シタイト思フノデアリマスガ、實際運動ノ取締ト、此出版ノ方ノ取締ト、檢閲ノ方ノ取締ト、緊密ナ連絡ヲ取リタイト思ッテ居ルノデアリマス、實際運動ノ取締ト致シマシテ、殊ニ最近此怪文書ノ大部分ヲ占メマスノハ、所謂右翼運動、或ハ右翼ノ急激ナル思想ヲ内容トスル出版物デゴザイマス、今日ノ議會デ衆議院ノ御協賛ヲ願ヒマシテ豫算ノ中ニ、特別施設費トシテ御要求ヲ申上ゲテ居ルノデゴザイマスガ、此費用ハ主ニ此右翼運動ノ取締査察内偵ニ充テタイト思フノデアリマス、内容ヲ申上ゲマシナラバ、警部三十四名、警部補百二十一名、之ヲ新ニ從來ノ取締勢力ニ更ニ加ヘマシテ、右翼ノ方ノ取締ノ徹底ヲ期シタイ、之ニ依ッテ實際運動ノ取締ガ相當出來ルコトト思フノデアリマス、前ニモ申上ゲマシタガ、此怪文書ノ主ニ出ルノガ

東京デアリマシテ今回豫算ノ成立ヲ見マシタ曉ニハ、警視廳ニ特ニ右翼ヲ専門トスル取締ノ一課ヲ特高部内ニ置キタイト思ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、今回檢閱警察ノ充實ト致シマシテ御要求申上ゲテ居リマス警察官ノ増員デアリマスガ、是ヲ警部十名、警部補五十三名ト云フ風ニナッテ居リマス、此檢閱警察ト實際ノ運動ノ取締ニ當ル者ト緊密ナ連絡ヲ取リマシテ、取締ニ當リマシタナラバ、怪文書頒布防止ト云フコトニ十分ノ徹底シテ取締ガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○勝田委員 只今警保局長カラ承リマシテ、相當ナル人員ヲ増加シテ是ガ取締ニ當ル、結構デアリマス、犯人ノ搜查ト致シマシテハ……ソコデ唯私ハ恐レルノデゴザイマスガ、斯ウ云フ法律ガ出來テ人ガ殖エルト云フコトニナリマスルト、三段論法的ニ考ヘマスレバ、新シク殖エタ人ハ此法律ノ結果デ殖エタ、斯ウ云フコトニナル、勿論此法律運用以外ニモ其人ハ使ハレルノデアリマスガ、此法律ヲ運用ニ相當主力ヲ注ガナケレバナライ立場ニ置カレル人達デア、所ガ一向斯ウ云フ法律ガ出來タノニ怪文書ガ殖エテ來ナイ、仕事ガナクナッテ甚ダ困ルト云フヤウナ所デ、是ハモウ私露骨

ニ申上ゲテ御意見ヲ伺フノデアリマスガ、ヤハリ勉強ガ過ギルヤウナコトガアッテハ困ルノデアリマス、勿論第一條ノ第二項ト第二條、是ハ御承知ノ通り形式ガ不備ナンデアリマスルカラ、是ハイ、ノデアリマスガ、此第一條ノ第一項ト云フコトニナリマスルト、是ハ形式ハ整ウテ居リマスルガ、所謂目的罪デア、目的ガナケレバ罰セラレナイ、目的ガアレバ罰セラレル、目的ガアルカナイカト云フコトハ色々ノ物の證據ニモ依リマセウガ、主トシテ本人ノ心情ガ重大ナル斷罪ノ資料ニ供セラレルコトハ御承知ノ通りデア、ソコデ私ハ現在ノ警察官ノ手腕ト能力ト考ヘ方トラ以テスレバ、人ヲ殖ヤシテソレデ捕ヘナケレバナラス、吾々ノ使命ハ怪文書發行人逮捕ニアルノデアル、斯ウ云フヤウナコトヲ強ク認識致シマスルト、ソコニ無理ガ起リハセヌカ、斯ウ云フ心配ヲスル、私ハ率直ニ申上ゲマスガ、通例デゴザイマスレバ此處マデ神經過敏ニナラスノデゴザイマス、併ナガラ度々御聞キノ通りニ、今度ノ議會ニ於キマシテ、警察官ノ行動ニ付キマシテハ随分常識、非常識ノコトガアルノデアリマスルカラ、私ハ斯ウ云フ風ニシテ、此法律ノ制定ニ伴ッテ増員セラレタル警察官ノ使命、斯ウ云フ

コトヲ考ヘル時ニ警察官ノ行動ニ付テ相當

慎重ナル御注意ヲ願ヒタイ、私ハ昨年竝ニ

本年行ハレマシタ選舉取締ニ關スル警察官

ノ行動ニ對シマシテハ、吾々ノ同僚カラ縷々

御懇ヘ致シテ居リマスカラ、此機會ニハ

申上ゲマセヌ、併ナガラ抽象的ニ申シマス

レバ懸賞金ヲ付ケテ犯罪ヲ捜査サスト云フ

コトハ以テノ外デアリマス、犯人ガ分ッテ

居ッテ、一三日前ノ新聞ニ出テ居ルヤウナ

女ガ居ッテ、サウシテ何處ニ行ッタカ分ラヌ

ト云フ場合ニ、懸賞金ヲ付ケテ捜シマシテ

モ是ハ大シタ弊害ハ起リマスマイ、犯人ガ

分ッテ居ルノデアルカラ是ハ弊害ガ起ラナ

イ、併ナガラ犯人ハ分ラヌ、犯罪ハアルガ

犯人ハ誰デアアルカ分ラナイト云フ場合ニ懸

賞金ヲ付ケマスト——懸賞金ト云フト甚

ダ汚クナリマスルカラ、ソレヲ捕ヘルコト

ニ依ッテ地位ガ向上スルトカ、恩賞ニ與ルト

云フヤウナコトニナリマスト、ツイ迷惑

ヲ蒙ル人ガ澤山出テ來ル、一人ノ犯人ヲ捕

ヘル爲ニ幾人カノ犠牲者ガ出テ來ル、斯ウ

云フ結果ガアルコトハ御承知ノ通りデア

ル、更ニ犯人モ犯罪モ何ニモナイ、隨テ犯

罪ガアルカナイカ分ラナイノニ、此邊ニハ

犯人ガアルカモ分ラヌカラ捕ヘロ、斯ウ云

フヤウナ號令ヲ掛ケル場合ニ於キマシテノ

此恩賞ノ弊害ト云フモノハ、極度ニ達スル、

最近二回ノ選舉ニ於キマスル警察官ニ對ス

ル賞金制度ハ、正ニ是ナンデアル、選舉違反

ガアルカナイカ分ラナイ、誰ガ選舉違反ヲ

ヤッテ居ルカ分ラナイ、選舉違反ガ舉ッテ居

テ犯人ガ逃ゲタカラ捕ヘロ、斯ウ云フ場合

ニ恩賞金ヲ出サレル、又選舉違反ガアルガ

誰ガヤッタカ分ラヌカラ捕ヘロ、斯ウ云フコ

トデアアルナラバマダ宜シイ、併ナガラ此第

二段ノ場合ニナッタナラバ弊害モアリマス、

選舉違反ガアッタカナイカ分ラヌノニ、ウ

ント舉ゲルト云フヤウナ所ヘヤッテ參リマ

シタカラ、非常ナ無理ヲ生ジテ來タ、是ハ

選舉違反ノ例デゴザイマスルガ、是デモ同

様デアリマス、一體私ハ總テノ犯罪ニ付キ

マシテ、サウ云フヤウナ方法ハ犯罪ノ捜査

ニ付キマシテ、最モ弊害ノ多イ方法デアル

ト考ヘテ居リマス、全般的ニ此點ニ付キマ

シテ、警保局長ノ御考ヲ承ハリタイ

○警場政府委員 司法警察ガ其捜査ニ當リ

マシテ行過ギタト云フコトヲ聞キマスル

ガ、色々此議會ニ於テ承ッタノデアリマス、

之ニ付テノ私共ノ考モ率直ニ申上ゲテ、將

來斷ジテ斯様ナ行過ギハサセナイト云フコ

トヲ内務大臣カラモ御言明ニナリ、又私共

モ其志ヲ以テ處シタイト思フ次第デアリマ

ス

○渡邊(泰)委員 委員長關聯事項デ一言

……

○熊谷委員長 簡單ナラ許シマス

○渡邊(泰)委員 警保局長ノ御説明ノ中ニ

右翼々々ト云フ言葉ガアリマスルガ、右翼

ト云フモノハドウ云フモノヲ指スノデス

カ、例ヲ舉ゲテ御説明願ヒタイ

○警場政府委員 速記録ニドウナッテ居リ

マスカ、所謂右翼ト云フ言葉ヲ使ッタ譯デゴ

ザイマシテ、之ニ對スル嚴格ナル定義ト申

シマス、非常ニ困難ナコトニ相成ルノデ

アリマシテ、大體私共今日手ニ致シマス怪

文書ト申スノハ——一時ハ是モ所謂左翼ト

云フ言葉ガアッタノデアリマス、其色彩ガ所

謂左翼ノモノデナイト云フ意味デ漠然トシ

タモノデアリマス

○渡邊(泰)委員 右翼團體ト云フ言葉ガア

リマスガ、例ヘバドウ云フモノヲ指スノデ

ス、現在アル例ヘバドウ云フモノヲ右翼團

體ト指スノデスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○熊谷委員長 イ、デヤナイデスカ、サウ

云フコトハ……

○渡邊(泰)委員 是ハ大事ナコトデス

○警場政府委員 是ハ取締上ノ内容ノコト

ニナリマスカラ、一寸申上ゲ兼マス

○勝田委員 最後ニ一點陸軍大臣ニ御同致

シタイノデアリマスガ、是ハ言論ノ自由ニ

相當關係ガアルト信ジマスルノデ御同致シ

マス、ソレハ軍警察權ノ活動ニ付テデゴザ

イマスルガ、無論軍警察即チ憲兵ハ軍内部

ノ檢察權ノ補佐官トシテ行動サル、モノデ

アル、是ガ本則ニナッテ居ルト私ハ承知致シ

テ居リマス、勿論法規ノ命ズル所ニ依リマ

スレバ部外、即チ常人ニ對シマシテモ

御活動ニナルコトハ固ヨリ妨ゲマセヌ、

是ハ法律上當然左様ナ場合ガアルノデ

アリマスルガ、本來ノ目的ハ常識的ニ

考ヘマシテ何トシテモ軍警察ハ軍ニ關

係アル方面ニ於ケル御活動ガアルノデア

ル、斯様ニ承知致シテ居ルノデアリマス、

是ガ間違ッテ居レバ私ノ質問ヲ訂正スルノ

デゴザイマス、私ハ大體左様ナ解釋ノ下ニ

此質問ヲスル、ソコデ世上從來——戒嚴ノ

場合ハ勿論是ハ別デゴザイマスルガ、軍警

察ガ常人ニ對シマシテ、若シ警察官ガ行ッ

タラバ、警察官ガ行ッテモ宜イヤウナ部面

ニ御活動ニナッタトカ、ナルトカ云フヤウナ

風評ヲ聞イタコトガアルノデアリマス、又

サウ云フコトヲ承知モ致シテ居ルノデゴサ

イマスルガ、私ノ希望デゴザイマスルガ、ド

ウカ普通ノ警察權ニ依ッテ取締ルベキ事項

ニ付キマシテハ十分ニ普通警察ト御協調ヲ願ヒマシテ、普通警察ノ手ニ依リマシテ普通人ノ取締ハ願ヒタイ、是ガヤハリ軍自身ノ爲ニハ非常ニ宜イコトデアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、ト申シマスルノハ警察官ト云フノハ兎角或ル意味カラ申シマスレバ憎マレ役デアリマス、吾々ノ同僚ノ武官君ガ始終申ス言葉デゴザイマシテ、恐ラク豫算總會ノ席上デモ申シタデアリマセウガ、日本ノ警察官ハ世界ニ冠タル警察官デアル、然ルニ此警察官ガ民衆カラ兎角嫌ハレテ、何カ騒動ガアレバ焼打ハ必ズ交番ダト云フヤウナコトニナル原因ハ何處ニアルカト云フト、民衆ニ對シマシテ兎角厭ナコトヲ言ハナケレバナラヌヤウナ立場ニ置カレテ居ルカラ警察官ガ恨マレルンダ、斯ウ云フコトニナリマス、私ハ理窟ハ別デアリマスルガ、常識的ニハ左様ニ考ヘラレル、願クバ軍警察官ノ諸君ハ本來ノ使命ヲ恪守セラレマシテ、部外ノ者ニ對スル接觸ハ普通警察官ニ御委任ニナツテ、サウシテソレニ依ッテ爲スベキコトヲ爲シ、スルベキコトハスル、斯ウ云フヤウニセラルコトガ、軍ト人民トノ間ノ感情ヲ非常ニ融和セラルル一ツノ手段デハナイカト思フ、此點ニ付キマシテ陸軍大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○寺内國務大臣 憲兵ノ重要ナル所以ハ只今御述ベニナツタ通りデアリマスルガ、司法、行政ノ兩警察ニモ是ハ關與致シテ居リマシテ、各々主務大臣ノ指揮ヲ受ケテヤッテ居リマス、而シテ普通警察トノ關係其他ニ於キマシテハ、極メテ警察ト密接ナル連繫ヲ取ッテ、極メテ圓滿ニヤセルヤウニ指導シテ居リマシテ、又現在ニ於テハソレガ圓滿ニ實施サレテ居ルト思ッテ居リマス

○勝田委員 私ノ申上ゲマシタコトヲ寺内大藏大臣(笑聲)陸軍大臣ハ大體ニ於テ御承認下サツタコトト、斯様ニ思ヒマシテ喜ンデ居リマス、ドウカ今後モ警察官ト密接ナル御連絡ヲ御取リニナリマシテ、人民ヲシテ苟モ軍警察——アナタ方ガ非難、ト申シマスルト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、怨嗟ノ聲ヲ放タシムルヤウナ機會ヲ少クセラレンコトヲ切ニ御願致スノデアリマス、私ハ大體之ヲ以テ質問ヲ終リマス

○渡邊(鏡)委員 議事進行ニ付テ一言——先刻本委員會ノ席上新聞ノ報道ヲ誹謗シタ言辭ハ全部之ヲ取消シマス

○犬養委員 勝田君ノ質問ト重複セザルヤウ簡單明瞭ニ質問致シタイト思ヒマス、若モ御答辯ノ如何ニ依リマシテ時間ガ延ビルヤウデアリマシタラ、私ノ質問ハ又明朝ヤ

ラセテ戴キタイト思ヒマスガ、出來得レバ簡單明瞭ナ御答辯ニ依ッテ私ノ質疑ガ短時間ニ終ルコトヲ希望致シマス、ソコデ第一ニ伺ヒタイノハ不穩文書取締法案、之ヲ碎イテ言ヒマスナラバ穩ヤカナラス文書ガ橫行スルコトヲ嘆イテ御取締ニナルノデアリマスルガ、吾々ノ常識カラ見レバ穩ヤカナラス文書ガ橫行スルヤウナ世ノ中ヲ取り去リタイ、穩ヤカナ文書ダケガ橫行スルヤウナ世ノ中ニシタイ、ソコデ此立法ハ出來得ル限り御心持ノ上ニ於テハ臨時的ノモノデアル、斯様ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○潮國務大臣 大體御述べノヤウナモノデ、臨時的デアッテ欲シイト思ヒマス

○犬養委員 臨時的デアッテ欲シイ、之ヲ言ヒ換ヘマスナラバ出來得ル限り斯ウ云フ法案ノ無クナル世ノ中ヲ希望シテ居ル、斯様ニ解釋致シマス、ソコデ一步進ミマシテ第一條、第二條、第三條、第四條、第五條、是ダケノ法文デアリマスガ、事情許スナラバ出來得ル限り此條項ヲ狹メタイト云フ御心持ガ只今ノ御答辯カラ演繹シテ御アリニナルモノト解釋シテ宜シウゴザイマスガ、事情許スナラバコンナ箇條ヲ澤山付ケナクテ濟ムヤウナ世ノ中デアリタイ、斯様ニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○潮國務大臣 私ト致シマシテハ成ベク法文ノ少キコトヲ希望致スノデアリマス

○犬養委員 私ハ今ノ主務大臣タル内務大臣ノ御言明トシテ出來得ル限り此條文ハ少キコトヲ希望スルト云フ言明ヲ喜ンデ拜聽致シマス、是ハ十分記憶ニ殘シタイト思ヒマス、次ニ第一條ノコトデゴザイマスガ、第一條第一項ノ「文書圖書」ト云フノハ、先程ノ御質問モアリマシタガ今一應御同致シマスケレドモ、吾々ガ普通日常生活ニ於テ讀ンデ居リマス所ノ新聞雜誌其他ノ著書等モ含ンデ居ルト解釋シテ宜シウゴザイマスガ、「人心ヲ惑亂シ、軍秩ヲ紊亂シ又ハ財界ヲ攪亂スル」ト云フ形容詞拔デ——サウ云フ一種ノ條件ナシデ、サウ云フ文書ハ吾々ガ日常生活ニ於テ讀ンデ居ル新聞、雜誌、圖書等ヲ含ンデ居ルト解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○潮國務大臣 其ヤウニ考ヘマス、一寸御斷リヲシテ置キマス——後デ言葉ノ喰違ガ出來テハイケマセヌカラ、條文ガ少イコトヲ希望スルト云フノハ、少クシタイト云フノデ立法シタノダト云フノデ、モット——少イコトヲ希望スルト云フ意味デハナイノデアリマス

○犬養委員 ソレモ誤解ガアルトイケマセ

ヌカラ、御心持ノ上デ現在ノ日本ノ狀態ガ、

コンナ五箇條モアルヤウナ條文デナシニ、
モット少イ條文デ済ムヤウナ世ノ中ニシタ
イト云フ御希望ヲ持ッテ居リマスカ

○潮國務大臣 其精神ハ仰シヤル通りデア
リマス、少クテ済ミマスモノナラバ最モソ
レハ希望スル所デアリマス

○犬養委員 只今ノ御訂正ニナリマシタ御
言明デモ私ハ満足シテ記憶ニ殘シマス、ソ
レカラ此法文ノ文書圖畫ト云フノハ、吾々
ガ日常生活デ讀ンデ居ル新聞、雜誌、著書、
斯ウ云フモノヲ含ムト吾々ハ解釋シテ居リ
マスガ、是ハ普通ノ狀態デハ穩カデアル、
或ル場合ニ於テノミ不穩ニナル、所ガ第一
條第二項ノ「發行ノ責任者ノ氏名及住所ノ
記載ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ記載ヲ爲シ又ハ出
版法若ハ新聞紙法ニ依ル納本ヲ爲サザルモ
ノ」ハ普通ノ狀態デモ穩カデナイ、此差異
ハ御認識ニナリマセウカ

○潮國務大臣 大體御話ノ通りデゴザイマ
ス、第一條ノ第一項ト第二項トハ大觀スレバ
性質ガ違フト思ヒマス、二項ノ方ハ全然
ト申シテハ良クナイト思ヒマスガ、不
法ナノデアリマス、一項ノ方ハ先刻カラ申
シマシタヤウニ適法デ、何等障リノナイモ
ノモ文字トシテハ入ッテ居ルト云フコトニ

御承知ヲ願ヒマス

○犬養委員 第一條第一項ノ吾々日常生活
デ讀ンデ居リマス所ノ新聞、雜誌、著書等
ハ普通ノ場合ニ於テハ出來ルダケ取締リタ
クナイ、第一項ノ場合ハ普通ノ場合ニ於テ
モ是ハ出來ルダケ取締リタイ、此差異ハ御
認メニナリマスカ

○潮國務大臣 其差異ハ私モ認メル所デア
リマス

○犬養委員 此御答辯モ満足致シテ記憶致
シテ置キマス、ソコデソレデハ普通ノ場合
デハ第一條第一項ノ新聞、雜誌、著書等ハ
取締リタクナイ、穩カナモノデアル、或ル
瞬間ニ於テ是ハ穩カデナクナル、不穩文書
ニナリ得ル、其認定ハドウスルカト言ヘバ、
人心ヲ惑亂シ軍秩ヲ紊亂シ又ハ財界ヲ攪
亂スル目的ヲ以テ居ルト認識ヲ當局ガセラ
レタ瞬間ニ、穩カナ文書デモ、穩カナ文書
デナクナル、斯ウ云フ變化モアルコトニナ
ル、デスカラ第一條第一項ノ文書ト第一條
第二項ノ文書トハ本質的ニ違フ、ソコデ此
目的ヲ以テ第一條第一項ノ人心ヲ惑亂シ軍
秩ヲ紊亂シ又ハ財界ヲ攪亂スル目的ヲ以テ
ト云フ事ニ對スル認識ハドウスルカト云フ
ト、其發行者ガ普通ノ事デナク、特ニ考ヲ
以テヤッタト認メタ場合ニ、此不穩文書等取

縮法ノ適用ガ發動セラル、斯ウ云フ御話
デアリマスカ、其特ニ考ヲ以テ、特ニ穩カ
ナラザル、特ニ不埒ナ考ヲ以テシタト云フ
御認定ハ當局ノドウ云フ程度ノ方々ガ爲サ
ルノデアリマスカ、之ヲ一應御伺ヒ致シマ
ス、誰方カラデモ結構デアリマス

○林國務大臣 今ノ御尋ニ付テハ私カラ御
答致シマス、「目的ヲ以テ」ト云フコトハ此
法案ノミデハアリマセス、刑罰法ニハ相當
使ッテアルノデアリマシテ、先ヅ學問的ニ申
シマスト、普通ノ故意デハイカス、特別ノ
故意ヲ要スルト云フコトヲ申シテ居リマ
ス、サウ云フ特別ノ故意ガアルカドウカト
云フコトハ、ヤハリ刑事手續ニ於テ、證據
ニ依ッテ認定致スコトニナリマス、有ユル方
面カラ證據ヲ集メマシテ、之ヲ綜合シテ、
結局ハ此刑ヲ適用スル場合ニハ、裁判所ニ
於テ證據十分ノ場合ニ於テ初メテ有罪ノ判
決ガ下ル、斯ウ云フ關係デアリマス

○犬養委員 只今ノ御答辯ニ付テマダ質問
申上ゲタイ事モアリマスガ、是ハ細カクナ
リマスカラ他ノ委員ニ私ハ譲リタイト思ヒ
マス、又私自身ガ質問致シマスニシテモ、
明朝ニ譲リタイト思ヒマス、私ノ判斷致シ
得タノハ、特別ノ故意ニ依ラザレバ第一條
第一項ニ付テハ適用シナイト云フ御心持カ

ラ言ヘバ、第一條第一項ノ文書ト、第一條
第二項ノ文書トガ愈々以テ種類ガ違フト云
フコトガハッキリ分リマシタ、是デ私ハ宜
シイノデス

其次ハ陸軍大臣ニ御伺致シタイノデゴザ
イマスガ、先程ノ御答辯ニ依リマシテ、軍
人ガ軍務以外ノ一般政治經濟社會ニ對スル
批評ヲシタ場合デモ、唯ソレヲ批評シタト
云フ程度デハ此法案ノ適用ハ發動サレナ
イ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、ソレハ
洵ニ結構ナコトデアリマス、ソコデ軍人ガ
軍務以外ノ一般ノ政治經濟社會ノ美點モ、
又不始末ナ點モ唯批判ヲサレタダケデハ本
法ノ適用ハ勿論受ケナイモノト思ヒマス
ガ、左様ニ解釋シテ宜シイノデアリマス

○寺內國務大臣 此法案ノ解釋ニナリマス
ト、私モ能ク分リマセスガ、要スルニ此目
的ノ爲ニ——軍秩ヲ紊亂スル目的ノ爲ニ、斯ウ
云フ行爲ヲシタ者ハ此ノ適用ヲ受ケルモノ
デゴザイマシテ、其他軍人ガ政治ニ係ルト
云フコトニ付キマシテ、法令ヲ以テ禁止サ
レテ居ル事ヲ犯ス者ハ、其法令ニ依ッテ處罰
サルベキモノト思ヒマス、其他ノ禁令ニ觸
ラナイ者ハ是ハ處罰サレル限リデナイト存
ジマス

○犬養委員 只今ノ御答辯デ私ハ満足致シ

テ居ルノデゴザイマス、私ガ伺ヒタイノハ、

今度ハ逆ノ場合デアリマス、一方ノ御話ハ

能ク分リマシタ、其反對ニ軍人以外ノ、例ヘ

バ政治家デアルトカ、實業家デアルトカ、

色々ノ階級、職業ノ人達ガ、其職業以外ノ、

例ヘバ軍人社會ノ善キ點モ、不始末ノ點モ、

唯軍秩ヲ素ス目的デナケレバ、唯批評シタ

場合ニハ、此法案ノ適用ハ勿論行ハレナイ

ト思ヒマス、念ノ爲ニ伺ヒマス、左様デ宜

シウゴザイマセウカ

○寺内國務大臣 軍ノ秩序ヲ素亂シ、又軍

ノ内部ヲ破壊スルトカ云フヤウナ目的デナ

ク、單ニ或ルコトニ付テ差支ヘナイ所ノ意

見ヲ述ベタモノハ無論之ニ觸レナイモノト

思ヒマス

○犬養委員 是ハ先程ノ軍人ガ軍部以外ノ

政治、經濟、社會ニ對スル善イ點モ、不始

末ナ點モ、批評ニナツタ時ハ、普通ノ場合デ

ハ問題ハナイ——平タイ言葉デ言ヘバ——

難シイ言葉ハ拔キニ致シマシテ、和カニヤッ

テ行キタイト思ヒマスガ、其逆モドウシテ

モナケレバナラスト思ヒマスガ、軍人以外

ノ人達ガ軍人社會ノ善イ點モ、不始末ノ點

ヲ批評シテモ、軍秩ヲ素サナケレバソレデ

宜イノデアリマスカ、平タク言ヘバ左様デ

アリマスカ

○寺内國務大臣 大體左様デアリマス

○犬養委員 大體ト云フコトモ何デアリマ

スガ、サウ云フコトハ明日ニ譲リマセウ、

ソコデ問題ニナツテ參リマスノハ軍秩ヲ素

亂スルト云フコトニ付テ陸軍大臣ニ率直

ニ、極クコダハラナイ、本當ニ明瞭ノ御説

明ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ皆ガ希望

シテ居ルト思ヒマス

○寺内國務大臣 短簡ニ申シマスレバ、即

チ軍ノ秩序ヲ基礎的ニ破壊スル者デゴザイ

マス(笑聲)尙尙政府委員ヲシテ補足致サセ

マセウ

○大山政府委員 只今ノ軍秩ヲ素亂スルト

云フ意義デアリマス、軍ノ所謂秩序ヲ素

亂スルト云フ點デアリマスガ、唯軍ノ

秩序トダケ言ヒマス、ボンヤリ致シマ

スノデ、更ニ分ケテ申シタイト思ヒマス

ガ、軍ト言ヒマス意味ハ、軍ノ部内、軍

部ノ秩序ヲ素亂スル、斯ウ云フ積リデア

リマシテ、軍ニ關係スル有ユル點ニ付テソ

レヲ及ボサウト云フ趣旨デハナイノデアリ

マス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマ

ス

○犬養委員 軍ノ部内ノ秩序ヲ素亂スル

——大體御心持ガ少シ分ッテ來タヤウデア

リマスガ、モウ少シ伺ヒタイ、サウスルト

二様ニ申上ゲテ行ッタ方宜イト思ヒマス、

第一ノ尋ネ方カラ申シマスガ、軍人以外ノ

人達ガ國ヲ思フノ餘リ、又我國ヲ出來ルダ

ケ秩序アリ、正シクサセ、オ互ニ仲良ク、

誤解ノナイヤウニサシテ行キタイト云フ希

望ヲ以テ、軍人ガ軍人以外ノ社會ノ批評ヲ

爲サリ、軍人以外ノ社會ガ軍部ノ批評ヲ爲

サル場合ニ、兎角軍民離間ト云フコトガ起

リ易イノデスガ、廣イ意味ニ於テサウ云フ

コトモ入リマセウ、軍部ノ批評ヲ致シマス

ト軍民離間ト云フ聲ガ起リマスガ、是ハ如

何ナル範圍ニ御解釋ナサイマスカ

○寺内國務大臣 只今ノヤウナ行爲ヲ以テ

批判ヲスルモノハ私ハ軍秩ヲ素ス目的デ

ヤツタモノトハ考ヘマセ

○犬養委員 基礎的ナ根本ノ氣持ニ於テ、

好意ヲ以テ批判スル場合ハ勿論サウデアリ

マセウガ、軍ノ良イ美點ノ外ニ、不始末ナ

點ヲモ國ヲ憂フルノ餘リ批評スル場合モア

リマセウガ、是モ國ヲ憂フルノ餘リノ點カ

ラヤルナラ差支ナイト見テ宜シウゴザイマ

スカ、今日之ヲ申上ゲルノハ如何ニモ奥齒

ニ物ノ挾ッ質問デ宜シクナイト思ヒマス

カラ、モット露骨ニ申上ゲマスガ、軍秩ヲ

素亂シト云フコトハ非常ニ廣イ範圍ニ御解

釋ニナツテ色々ナ刊行物ヲビシヤリトヤラ

レルコトガ不評ノニナツテ居ル、サウ云

フコトハ詰ラナイオ互ノ誤解デアラウト思

ヒマスカラ、平タク申上ゲマス、ドウゾ

平タイ御言葉デ御答辯願ヒタイ

○寺内國務大臣 軍秩ノ正シキ事實ヲ捉ヘ

テ言ハレルコトナラバ一向差支ヘナイコト

ダト思ヒマス、所謂無根ノ事實トカ想像シ

タル事實トカ、或ハ何カ特ニ目的ヲ以テ

持ッテ來タ事實等ヲ羅列シテヤラレルヤウ

ナコトハ、甚ダ熾當デナイト思ヒマス、サ

ウ云フモノニ對シテ是等ノ法令ヲ適用サル

ベキモノダトト考ヘテ居リマス

○犬養委員 此處デ第二ノ御尋ネ方ニナル

ノデスガ、軍ノ部内ト云フコトニ付テモウ

一應説明ヲ願ヒタイ、是ハ決シテ他意ノア

ル質問デゴザイマセスカ、出來ルダケ平

明ニ御答願ヘレバ、成タケ斯ウ云フ質問ハ

早ク切上ゲタイト思ヒマス

○大山政府委員 今私ハ軍ノ部内ト云フ言

葉ヲ用ヒマシタガ、餘リ廣ク取リマシテ國

防ト云フヤウナコトニナリマス、色々ナ

廣イ意味ニ軍部ト云フコトヲ用ヒラレルコ

トガアルヤウデアリマス、サウ云フヤウナ

廣イ意味デナク、軍部——部内ト言ヒマス

カ、軍部ノ秩序ヲ素ス、サウ云フヤウナ目

的ノ場合ヲ豫想シテ居リマス

○犬養委員 此質問ハ此程度ニ私ハ致シテ置キタイト思ヒマス

○服部委員 關聯事項デ……軍秩ト云フコトハ要領ヲ得タヤウデ得ナイノデアリマス、斯ウ云フ場合ハドウ云フコトニナリマス、之ヲ二ツニ分ケテ思想上ノ秩序ト、言動上ノ形ニ現ハレタル秩序ト二ツニ分ケテ見テ、文書ヲ以テ紊亂ノ目的ヲ以テ思想上ノ動搖ヲ來サウト云フヤウナ場合ニモ、ヤハリ軍秩ノ中ニ入リマス、言動ヲ紊亂サウト云フ目的ノ文書ヲ發行スレバ、ソレハ勿論此適用ヲ受クルモノデアリマスガ、單ニ思想ヲ惡化セシムル——今直チニ其思想ヲ露骨ニ現ハサシムル目的デハナイガ、總テ思想ヲ惡化セシメテ、言動ノ上ニ生ゼシメヤウ、サウ云フ場合ニハ如何デアリマス、ドナタデモ宜シウゴザイマス、思想惡化ヲ鼓吹スルヤウナモノハドウデアリマセウカ、ヤハリ軍秩ノ中ニ入リマス

○大山政府委員 サウ云フヤウナ惡イ思想デスネ、ソレニ依ッテ軍ノ稀序ヲ紊サヤウナ思想ガアリトスレバ勿論サウ云フモノモ入ル積リデ居リマス、殊ニ軍紀ト云フヤウナモノヲ紊サガ如キ目的デアリマスレバ、正ニソレニ入ラナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○服部委員 宜シウゴザイマス

○犬養委員 ソコデ更ニ質問ヲ進メマシガ、第一條ダケヲ取上ゲテ見マシテモ、第一項ノ文書圖書ハ、通常ノ場合ニ於テハ、不穩文書デナイ、或ル場合ニ不穩文書ニナル、ソレガ一ツノ認識ヲ以テ不穩ニナツタカ、マダ不穩ニナラザルカ、或ハ平生ニ於テ穩ナル文書デアルカラ決メル、斯ウ云フコトニナリマスルト、不穩文書等取締法ト云フ名前ガ、當局ノ立法ヲ偽スツ御趣意ニ副ハナイノデハナイカ、モット平タク言ヘバ、怪文書取締法トカ、祕密文書取締法トカ云フ方ガ適當カトモ考ヘマスガ、其點ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイ、サウ云フ意味デス

○萱場政府委員 第一條ノ文書圖書デゴザイマスガ、是ハ出版法ノ文書圖書ノ意味ガアルト思ヒマス、出版法ニ依ル文書圖書デアリマシテ、治安ヲ妨害スベキ事項ヲ掲載シタル文書圖書デアリマス、サウ云フ治安ヲ妨害スベキ事項ノ内容トスル文書圖書デアリマシテ、内容ノ伴フ文書圖書デス、大體斯ウ云フ意味デ一應不穩文書等取締法ト名ツケタノデアリマス

○犬養委員 御趣意ハ分リマシタ、一應名ツケテ不穩文書等取締法トナスツ以上ハ、

吾々ガ便宜上怪文書取締法トカ、祕密文書取締法トカ名ツケテモ、立法ノ御趣意ハ大シタ懸隔ハアリマセヌカ、ソレデヤ通用シナイト云フモノデアリマセヌカ

○潮國務大臣 警保局長ガ申上ゲマシタヤウニ、第一條第一項ノ文書圖書ハ三ツノ目的ヲ以テ治安妨害事項ヲ記載シタル事項デスカラ、生レナガラノ内容ガ良クナイ文書、穩當ノ文書デナイ——之ヲ作りマシタ時ニ色々研究致シマシタ、世間デハ能ク怪文書——私モ努メテ所謂怪文書ト申シテ居リマスガ、私ニモ怪文書ト云フコトハ分ラナイ、怪文書トハ何カト云フト、ドウモ迷フ、サウ云フ意味デ不穩文書ト言ヘバ、第一條第二項ト第二條ハ怪文書トハ言ヘマス、マイガ、一項ノ方ハ不穩文書デアルニ違ヒナイ、サウ云フ意味合ヲ以チマシテ不穩文書等トシタノデアリマス、祕密文書トシヨウカトモ考ヘマシタガ、二條トカ一條ノ二項ハ祕密文書ト言ヒ得ルカモ知レマセヌガ、一項ニナルト祕密ト云フ文字モ穩カデナイノデアリマス

○犬養委員 只今ノ御答辯デ不穩文書等ト一應御名ツケニナツタガ、其前ニ怪文書トカ、祕密文書トカ名ツケテ見ヤウカナト御思ヒナツタコトガ明瞭ニナツタ點ヲ私ハ満足

シテ後日ニ保留シテ置キマス、今夜是非聽カナケレバナナイト云フ點ダケ質問致シマス、第三條ハ是ハドウモ甚ダ以テ是コソ穩カデナイ箇條ノヤウニ思フノデアリマスガ、所謂流言蜚語ト言ヒマス、從來是ガ横行致シテ非常ニ御困リニナツタ場合ガアルノデセウカ、ソレトモ將來、流言蜚語ガ起ルト困ルト云フコトデナスツタノデセウカ、ソレヲ明瞭ニ仰シヤッテ下サイ

○萱場政府委員 流言浮説ノ横行ニ依ッテ非常ニ困ツタコトハ、アノ關東ノ大震災ノ場合ノ實例ガゴザイマス

○犬養委員 ソレダケデスカ

○萱場政府委員 ソレカラ第三條ヲ設ケタ趣旨ヲ申上ゲマスルト、現在ノ狀態ニ於キマシテ、戒嚴令ノ關係モアリマスノデ、一般ノ文書取締ガ自然強化サレテ居リマス、サウ云フ關係カラ致シマシテ、文書圖書ニ依ラズシテ、口カラ口ヘ虚偽ノ事實ヲ或ル不正ノ目的ヲ以テ流布シテ歩ク者、一種ノ情報屋ガアルヤニ看取サレルノデアリマス、是モ第一條ノ第一項ト關係致シマシテ、第一條第二項、第二條ノ祕密文書ヲ取締ルコトニ相成リマス、自然サウ云フ口カラ口ノ情報屋ト云フモノガ頻發スル虞ガアルト看取致シタ次第デアリマス

○犬養委員 成べく碎イテ意地惡イ質問ハ

避ケタイノデゴザイマスガ、關東ノ大震災ナント云フモノハ、サウ減多ニアルモノデハナイト思フ、從來ノ例ハ何カト云フト、關東ノ大震災一ツダト云フコトニナリマス、隨分日本ハ地震ハ多イ方デアリマスケレドモ(笑聲)斯ウ云フコトヲ豫期シテナサルベキモノデハナイ、又私ノ質問モサウ云フ趣意デハナイ、例ヘバ政變ノ度毎ニ、或ハ陸軍大臣ノ更迭ノ度ニ色々ナ流言浮説ガ出ル、或ハ總理大臣ニナル人ニ付テノ流言浮説ガ出ル、或ハ非常ニ非合法的ナ倒閣運動ガ、口ツテニ傳ハルナント云フコトヲ豫想シテ、ソシテ御答辯デモアルカト思フ、實ハ伺ツタデスガ、大震災ノ例ト云フコトハ、一寸私ハ念頭ニ置キタクアリマセス、其外ノ場合ヲ考ヘルノデゴザイマスガ、只今ノ第二段ノ御答辯ニ依リマス、從來アツタト云フ方ノ御言葉ハ餘リ強クナイ御言葉ノ裏ヲ考ヘレバ是カラ起ル、詰リ是カラ嚴シクヤルト云フノデスカラ、將來ノコト、考ヘテ宜シイノデスカ、一應之ヲ御同致シマス

○萱場政府委員 大體左様デゴザイマス

○犬養委員 ソコデ私ハ申上ゲタイノデス、一體流言蜚語ナント云フモノハ、ドウ

シテ社會的ニ產物トナッテ現ハレルモノデセウカ、第一條第一項ノヤウナコトヲ拵ヘテ、嚴シクスレバコソ先ヅ第一段ニハ第二

項ノヤウナ怪文書ガ横行スル、又取締ガ非常ニ嚴シクナレバ流言蜚語ノヤウナモノガ起ル、勿論非常ナ惡意ノ流言蜚語モアリマス、併シ物ヲ聞キタイ、聞イタコトハ傳ヘタイト云フコトモ一種ノ流言横行ノ社會狀態ノ原因ニナル、ソコデソレハドウ云フトカラ來ルカト云フト、人間ノ知識慾カラ來ル、人間ノ知識慾ヲウント取締レバ宜イカト云フト、人間ノ知識慾ガアレバコソ產業デモ、政治デモ、軍事デモ發達スル、是ハ一方ニ於テ文明ノ向上ノ華デス、ソコヲ能ク御考ニナラナケレバナラヌ、第一條第一項ヲウント嚴シク取締ル、サウシテソレガ第一條第二項ノ如キ怪文書ノ產ミノ親ニナル、ソレヲ取締ル、サウスルトモノヲ聞イタラ知ラシタイ、モノヲ聞キタイト云フコトガドウヤッテ現レルカト云フト、第三條ニ現レル、結局是ハ此法案ヲズット見テ行キマス、第一條第一項ト云フモノガ餘リニ是ガ變ナ形ニ現レテ居ルカラシテ、仕方ナシニ押サレテ第二項ガ現レ、第三條ガ現レルト云フ風ニ社會的ニ見レバ私ハサウ信ジマス、之ヲ十分當局ガ反省シテ載キ

タイト思フノデアリマス、大分時間ガ遅イカラ委員長トノ約束上此位デ打切りマスケレドモ、只今ノコトヲ本當ニ深ク念頭ニ置

イテ戴キタイ、流言蜚語ニハ勿論非常ニ惡意ナモノガアリマスガ、社會上自然ノ產物的ニ現レルモノサヘモ、法律デ嚴シク取締リ得ルト思フト、私ハ大間違ヒダト思ヒマス、ソコデモウ一ツ念ノ爲ニ申上ゲマス、第一條第一項ノ所謂「文書、圖書」ト、第一條第二項ノ「文書、圖書」トノ本質的ニ違フ、其事ヲモウ一度申上ゲテ置キマス、ソレカラ更ニ流言蜚語ト云フモノハ、物ヲ知リタイ、知ツタラ人ニ傳ヘタイト云フ人間ノ本質、其本質ハ文明ヲ向上サセル本質ト同質ノ本質カラ出ル、之ヲ唯法律デ壓迫シタラ平和ナ正シイ秩序ノアルモノガ發達スル、文明ガ向上スル、力ノアル國民ノ生レル社會狀態ニナルナド、御思ヒニナルト大間違ヒ、私ハ是ダケ申上ゲテ、後ハ明日ニ讓リタイト思ッテ居リマス

○熊谷委員長 次ハ中村君デアリマスガ、

中村君ノ御質疑ハ大分長クアリマス、ドウデアリマス

○中村委員 私ノハ一寸約四五十分位カ、

リマス

○熊谷委員長 ソレデハ本日ハ此程度ニ於

テ散會致シマス

午後八時三十七分散會